OKU

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

大阪教育大学

Guide Book 2024

人にまっすぐ。

\協働的な学び/

\革新的なカリキュラム/

\新設次世代教育専攻/

\令和の日本型学校教育/

\もっと、大教大で進化できる!/

CONTENTS

001 学長挨拶
003 My EVOLUTiON
007 令和6年度 教員養成課程改組
009 改組後の組織
011 数字で分かる大教大
013 学位プログラムと3つのポリシー
015 学校現場での実践
019 就職支援
023 海外留学・国際交流
027 教員養成課程
049 教育協働学科
063 大学院／特別専攻科
065 年間行事
067 クラブ＆サークル
069 学生宿舎
070 アルバイト・ボランティア
071 キャンパスマップ
078 附属学校園
081 就職DATA
084 学生DATA
085 学部入試結果
087 入学料・授業料・奨学金
095 全国から集まる大教大生たち
097 アクセス

人にまっすぐ。

大阪教育大学 学長
岡本 幾子

EVOLUTION

大阪教育大学は、1874年（明治7年）に創設された教員伝習所をその起源とし、歴史と伝統を有する我が国有数の教育大学です。創設からこれまで150年の歴史を通して、日本の教育の根幹を支え、教育の充実と文化の発展に貢献してきました。とりわけ教育界に多くの有為な人材を輩出し、日本の主要な教員養成機関としての役割を果たしています。

知識基盤社会の到来とIoT等の技術革新の進展、グローバル化や、急速な人口の減少など、社会が急激に変化する中で、日本の教育は新たな時代を迎えています。

本学は、令和4年3月に、「令和の日本型学校教育」を担う教員の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくためのけん引役として、文部科学大臣から「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受けました。日本の教育課題が縮図化している大阪において、多様な主体との連携により、教育DXとダイバーシティ教育を重点的に促進し、教員養成フラッグシップ大学構想の実現を通じて日本の未来の教育を創造していきます。

超スマート社会の実現に向けて、これからの教員はデジタルテクノロジーへの理解と活用、イノベーションと創造性の促進が必要となっています。教員養成フラッグシップ大学の特例適用により、協働・省察を促し、教育DXの推進による先導的・革新的な教員養成カリキュラムを開発し、令和6年度から導入します。

本学では、最先端の教育的課題に正面から取り組み、学生に真摯に向き合う優秀な大学教員や、夢を共有し、励まし合いながら切磋琢磨できる多くの仲間達にきっと出会えます。

大阪教育大学で学び、成長し、日本の未来の教育を創る人材になりませんか。

大阪教育大学の沿革

- 明治7年5月 教員伝習所
- 明治8年8月 大阪府師範学校
- 明治19年9月 大阪府尋常師範学校
- 明治31年4月 大阪府師範学校
- 明治33年4月 大阪府女子師範学校
- 明治41年4月 大阪府天王寺師範学校
- 明治41年4月 大阪府池田師範学校
- 昭和18年4月 大阪第一師範学校
- 昭和18年4月 大阪第二師範学校
- 昭和24年6月 大阪学芸大学
- 昭和42年6月 大阪教育大学
- 平成16年4月 国立大学法人大阪教育大学

大阪府師範学校（常安町）
川に面した北側の門柱には
「大阪府師範学校」とある

大阪学芸大学の門標
（天王寺分校正門）

私の進化

OSAKA
KYOIKU
UNIVERSITY

大教大 My Evolution

大阪教育大学には教員免許状取得を
卒業要件とする教員養成課程と、
卒業要件としない教育協働学科があります。
その学びは多種多様な分野を含むため、
キャンパスには実に個性的な学生たちで溢れています。
彼らにとって大教大での学びが、
自分の思い描く未来にどう繋がっているのか、
どんな計画を考えているのかを
それぞれの視点から率直な意見を
語ってもらいました。

My Evolution 01 OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

教育協働学科
健康安全科学専攻
藤澤　丈さん

JYO
FUJISAWA

挑戦し、失敗も成功も
楽しめる人でありたい！

未来までの道

- 高1 八尾高校に合格し、野球と勉強の両立をめざす！
- 大1 大教に合格し、初めての陸上部で活動！
- 大3 進む道に迷いながら就活を開始！

IMA

不動産関係の就職を決め、
宅建士の資格を取るために勉強中！

スポーツを続けていた中で、運動と健康の関わりを学びたくこの大学に入学しました。最初は健康に携わる仕事や養護教諭になりたいと思っていましたが、様々な経験をしていく中で、他のことにも興味を持つようになりました。今まで学んできたことに固執するのではなく、将来どんな自分になっていたいのかを考えるようになり、現在は資格取得をめざし勉強中です。

MIRAI

いろいろなことに興味を持ち、
失敗を恐れず挑戦し、
成長できる人であり続ける！

My Evolution 02 OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

様々な知識を生かし、
たくさんの人を笑顔にしたい

未来までの道

- 小6 人の役に立つ仕事がしたいと思う
- 高3 カウンセリングを通して、心理学に興味を持つ
- 大3 実習に行き、夢を明確にする

IMA

公務員試験に向けて勉強に励む

教育心理科学専攻では、心理学に関する専門的知識だけでなく、教育学や生涯学習、社会教育に関しても深く学ぶことができ、入学してからの選択肢の幅がとても広いように感じます。私はその中で、生涯学習施設への実習を通して社会教育に興味を持ち、自分が住んでいる地域で、その地域のためになる仕事がしたいと考え、現在は公務員試験の勉強に励んでいます。大学で学んだ協働を大切にし、住み続けられる街づくりに貢献したいと考えています。

MIRAI

これまでに身につけた様々な知識を生かし、
地域の活性化に貢献しながら、
自分自身も学び続け、成長し続けたいです。

教育協働学科
教育心理科学専攻
濱﨑 りの愛さん

RINOA
HAMASAKI

My Evolution 03 OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

子どもの笑顔・夢や未来を
大切に支えていきたい

未来までの道

- 中2 生徒の背中を押してくれる恩師と出会う
- 中3 恩師に憧れを抱き、同じ中学校教員をめざす
- 高3 塾に通わず大阪教育大学に合格！

IMA

算数数学の大切さ・苦手をなくす
指導方法について研究中

「学校が楽しく、仲間との出会いや色んなことへの挑戦を通して夢を持つ。未来への活力が湧く」そんな子どもを育てたいと思っています。大阪教育大学だからこそ学校現場を経験している先生がたくさんいるので、子どもへの指導法や学級運営等について学べます。専門の数学においては、日常生活で活かせる数学となるような授業作り・指導法を考えています。残りの大学生活を楽しみ、私が経験し培ってきた「人生の楽しさ」も生徒に伝えていきたいです。

MIRAI

教師になって、子ども達が自分の良さに気づき、
希望に満ちた姿で次のステージに進んでいけるよう
サポートしていきたいです。

学校教育教員養成課程
小中教育専攻
数学教育コース
内 和馬さん

KAZUMA
UCHI

学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻
宮 愛海さん

MANAMI
MIYA

04

子どもたち一人ひとりが
安心できる居場所づくりをめざして

未来までの道

- 小5 病気や障がいのある人が書いた本を読む
- 中3 憧れとなる先生と出会い、教師という職業に興味を持つ
- 高2 障がいのある人と関わることと、教師という仕事が結び付く

IMA 教員採用試験に向け、面接練習に励む！

大阪教育大学の特別支援教育専攻には、6つの障がい種のコース（視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・肢体不自由・病弱・発達障がい）があり、それぞれの専門の先生が揃っていることが魅力的でした。特別支援教育に関する専門的な知識や実践力を身に付けられる環境だと思い、大阪教育大学を選びました。また、学校インターンシップや教育実習など、実際に子どもたちとかかわる機会が豊富です。実習の事前指導や事後指導も充実しており、大学で学んだことと現場での実践とを結びつける中で、教師をめざす気持ちも高まりました。

MIRAI 大学での学びを活かし、
子どもたち一人ひとりが安心できる
居場所づくりができる教師になりたい！

教育協働学科
スポーツ科学専攻
入江 望来さん

MIKU
IRIE

05

部活動を通して、競技力だけでなく
人間性も高めることができる

未来までの道

- 小3 水泳の選手として大会に出場するようになる
- 中2 初めて全国大会に出場する
- 大1 大阪教育大学に合格し、文武両道に励む

IMA 競技を通して得た、これまでの経験や受けてきた
恩を還元することを目標に就活に励む

スポーツ科学専攻は、4 年間を通して実技科目 14 科目が開講されており、幅広くスポーツ実践力を高めることができます。スポーツ活動の魅力は、体力・競技力が向上だけでなく、礼儀や協調性を身に付けられることや、お互いに高め合うことができる仲間に出会えるところです。スポーツ活動で得た経験と大学で得た「教える、伝える、育む」を軸に就職活動に励んでいます。

MIRAI 自分に合った場所で働き、
恩返しに留まらず、恩送りで関わる
全ての人の役に立ちたいです。

私たちは進化し続ける！

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
社会科教育コース
小島 彩愛さん

AYANA
KOJIMA

06

将来につながる
社会科の授業をしたい

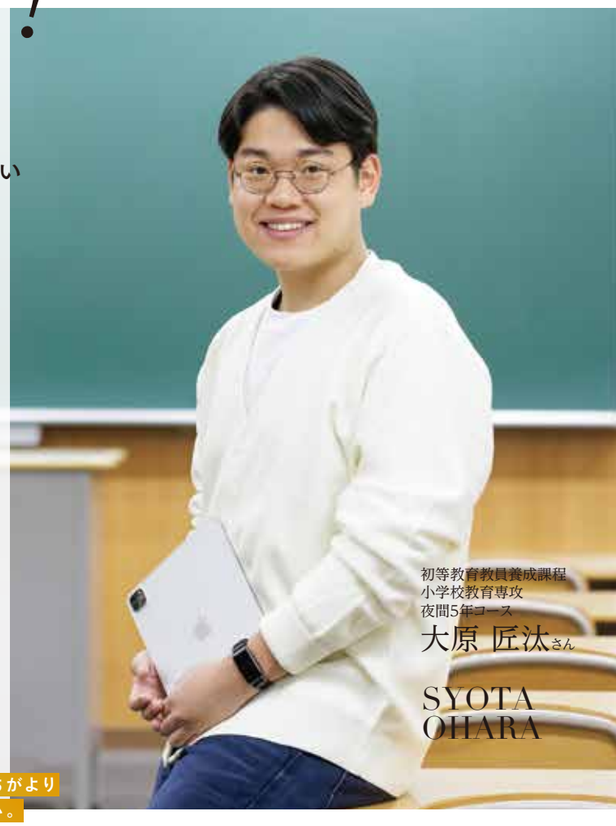
未来までの道

- 小5 社会科の授業が始まり、歴史に興味を持つ
- 高校 日本史の先生が熱心で、尊敬するように。また、
日本史を学ぶことが楽しくて、日本史の教師をめざす
- 大2 公民科の必要性も感じ、「社会科を通して子どもの
未来をつくる」ことを意識するようになる

IMA たくさん本を読んだり、様々な人と
関わることで、私生活を充実させること

私は、高校生で日本史の教師になりたいと考えてから大学を探し、教授の研究内容を見て興味を持ったので、大阪教育大学を第一志望にしました。大学に入ってから、日本史だけではなく公民や地理に関わる様々な授業を受講したことで、社会科全体に魅力を感じています。それらをどのように子どもに教えたら、子どもにとって意味のあるものになるかを考えることが楽しいです。また、今のうちに様々な価値観や考えを知って、「おもしろい先生」になれるように、日々本を読んだり、人と関わったりしています。

MIRAI 大きな夢は、「社会科は暗記科目」と
言われないようにすることです。そのために、
子ども自身が「将来の役に立つ」と
感じられるような授業をする教師になりたいです。



初等教育教員養成課程
小学校教育専攻
夜間5年コース
大原 匠汰さん

SYOTA
OHARA

07

技術的なサポートで、
新しい学校教育を作り出したい

未来までの道

- 小5 あこがれの先生に出会い、教師を志す
- 小5 プログラミングの勉強を始める
- 高3 小学生の頃からの目標である大阪教育大学に合格する

IMA 自分の新しい目標に気づき、
いろいろな勉強に力を入れる

大阪教育大学の夜間5年コースに入ったことで、たくさんの自由な時間が手に入りました。その時間を使って小学校で働いたり、自分の好きなプログラミングや数学の勉強をすることで、先生や小学校の勉強をICTなどの活用でより良くしたいと思うようになりました。そのため、今は小学校現場で経験を積みつつ、競技プログラミングなどでプログラミングの勉強をしています。

MIRAI ICTなどを活用し、小学校の
先生方の負担を軽減し、子どもたちがより
良い教育を受けられるようにしたい。

令和6年度　教員養成課程改組

EVOLUTION 2024

Society5.0時代の到来やグローバル化など、
社会の在り方が劇的に変わる予測困難な時代の中、
教育のデジタル化や新たなニーズへの対応など、
学校教育を取り巻く環境は日々変化しています。

子どもの主体的な学びを支援する伴走者として、
子どもたちの個別最適で協働的な学びを、
もっと、充実させることができる人材を育てたい。
予測困難な変化を前向きに受け止め、
ずっと、自律的に学び続ける人材を育てたい。

多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、
人間ならではの感性を働かせて、豊かな人生を切り拓き、
持続可能な社会の創り手として
「令和の日本型学校教育」を担う教員を養成します。

先導的・革新的な
カリキュラム！

POINT 1

先導的・革新的な教員養成カリキュラムを展開

学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を育成するため、初等教育教員養成課程と学校教育教員養成課程を一本化し、フラッグシップ大学特例を適用した先導的・革新的な教員養成カリキュラムを展開します。

時代と社会の
変化に適応！

POINT 2

「次世代教育専攻」を新設

変化が激しく予測困難な時代に対応するため、学習者を中心とした個別最適な学びを通じて、多様な児童生徒一人一人に寄り添う力やICTを活用した指導力等を身に付け、次世代の学校教育をけん引できる教員を養成する「次世代教育専攻」を新たに設置します。

複数免許を
取得しやすい！

POINT 3

本学ならではの複数免許を取得しやすいカリキュラム

教科の専門や教科横断を見据えた知識・技能を修得できる教員を養成する「教科教育専攻」を新たに設置し、各コースにおいて小学校及び中学校（一部高等学校）免許状の取得を卒業要件とし、中学校他教科・高等学校・特別支援学校の免許状の取得も可能とします。

大阪教育大学はこう育てる！

－令和6年度組織改組に伴う人材育成－

全国で4大学指定

教員養成フラッグシップ大学構想と本学の取り組み

本学は、令和４年３月９日に文部科学大臣から
教員養成フラッグシップ大学の指定を受けました。

大阪教育大学 教員養成フラッグシップ大学構想のテーマ

ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成
－協働・省察を促し、教育DXの推進による先導的・革新的教員養成カリキュラム－

カリキュラムの特色

教員養成フラッグシップ大学に指定

教員養成フラッグシップ大学とは、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくためのけん引役としての役割を果たす大学のことです。教員養成フラッグシップ大学は、教育職員免許法施行規則等に定める一部の科目に代えて新たな科目を開設し、教員免許状を取得することができる特例が適用されます。

特例の適用による先導的・革新的な教員養成カリキュラムの開発と運用

教員養成フラッグシップ大学の特例適用により、本学では、ダイバーシティ教育（「ダイバーシティと教育」「現代社会と子どもの権利」「多様な子どもとインクルーシブ教育」「外国人の子どもの理解と支援」）を基盤とした４つのテーマ領域「教科横断と探究学習」「教育データの活用」「ファシリテーターとしての教員」「学習者中心の授業デザイン」のほか、理論と実践の往還による主体的な学びを実現する、省察科目で構成される先導的・革新的な教員養成カリキュラムの開発を行っています。開発したカリキュラムは、令和6年度入学生から適用する予定です。

フラッグシップ科目による大阪教育大学独自の学び
ダイバーシティ教育を基盤とした４つのテーマ領域や、子どもの多様性理解の下、学習者を中心とした授業実践力に優れ、個に応じた学習指導と一人一人の学びに寄り添うことのできる資質・能力を育成するためのフラッグシップ科目を設定します。

理論と実践を往還する「省察」科目の導入
自ら仮説や見通しをもって学校現場での実践に挑み、その結果を振り返る学びを充実させるため、学校現場における教育実習・インターンシップ活動を通じて自らの実践を振り返り、捉え直しながら、新たな目標の設定、実践、振り返りを繰り返す「省察」科目を設定します。

４年間積み上げ方式の教育実習
教育実習を教員養成課程のコアカリキュラムの中核として位置づけ、教育実習と学校インターンシップを組み合わせた４年間積み上げ方式により実施します。

教職大学院の授業科目の先取り履修

卒業後、教職に就こうとする強い意志を持ち併せて教職大学院への進学を希望する学部３回生を対象に、学部最終学年に教職大学院で開講している授業科目を大学院生と一緒に「先取り」して履修できる制度を新設します。
先取り履修を許可された学生は、教職大学院の入試を受験する際の検定料と合格後の入学料（参考（令和５年度）検定料：30,000円、入学料282,000円）を免除する予定です。

改組後の組織

教員免許状については、文部科学省に教職課程の認定を申請中です。
文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

▼ 令和5年度現在

学部	キャンパス	課程・学科・専攻・コース			募集人員
教育学部	柏原→天王寺 天王寺	教員養成課程	幼児教育		15
			小学校教育	昼間コース	45
				夜間5年コース	40
				夜間5年コース（3年次編入学）	(25)
			小　計		100(25)
	柏原	学校教育教員養成課程	特別支援教育		45
			小中教育	学校教育	25
				国語教育	40
				英語教育	15
				社会科教育	35
				数学教育	25
				理科教育	35
				家政教育	10
				保健体育	30
				音楽教育	10
				美術・書道教育（美術分野／書道分野）	15
			中等教育	国語教育	10
				英語教育	15
				社会科教育	10
				数学教育	25
				理科教育	25
				技術教育	10
				家政教育	10
				保健体育	10
				音楽教育	10
				美術・書道教育（美術分野／書道分野）	10
			小　計		420
	柏原	養護教諭養成課程			30
			計		550(25)
	柏原	教育協働学科	教育心理科学		40
			健康安全科学		35
			理数情報	数理情報	40
				自然科学	60
			グローバル教育	英語コミュニケーション	20
				多文化リテラシー	55
			芸術表現	音楽表現	40
				美術表現	10
			スポーツ科学		50
			計		350
合　計					900(25)

(　)は夜間3年次編入を表し、外数。

▼ 令和6年度以降

学部	キャンパス	課程・学科	専攻	コース		募集人員	取得できる教員免許状（すべて一種免許状　＊は二種免許状も可能）※1 幼	小	中	高	特支	養護	卒業後のイメージ
教育学部	柏原→天王寺 ※2	学校教育 教員養成課程	幼小教育	幼児教育		15	●	◎					幼稚園教諭、小学校教諭など
				小学校教育		45	◎	●	□* 技術・家庭以外の教科	□工業・家庭・書道以外の教科	□		小学校教諭、幼稚園教諭など
	柏原		次世代教育	教育探究		40		●	○*国語・英語・社会から選択	○国語・英語・[地理歴史・公民]・情報から選択			小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭など
				ICT教育 ※3	①	20		●	□*	●情報			
					②			□*	●数学	●情報 ●数学			
			教科教育	国語教育		45		●	●国語	◎国語			小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭など
				英語教育		25		●	●英語	◎英語			
				社会科教育		40		●	●社会	◎地理歴史 ◎公民			
				数学教育		45		●	●数学	◎数学			
				理科教育		50		●	●理科	◎理科			
				技術教育		10		●	●技術	◎工業			
				家政教育		15		●	●家庭	◎家庭			
				保健体育		40		●	●保健体育	◎保健体育			
				音楽教育		20		●	●音楽	◎音楽			
				美術・書道教育	美術分野	25		●	●美術	◎美術			
					書道分野			●	□*	●書道			
			特別支援教育			45		●	□* 上記の各教科	□上記の各教科	●		特別支援学校教諭、小学校教諭など
	天王寺		小学校教育（夜間）5年			40		●					小学校教諭など
				3年次編入学 ※4		(25)							
	小　計					520(25)							
	柏原	養護教諭養成課程				30						●	養護教諭など
	計					550(25)							
	柏原	教育協働学科	教育心理科学			40							教育・心理・人材育成系の企業・公務員・団体職員、社会福祉系企業、企業の人事管理・人材育成部門、教育サービス企業など
			健康安全科学			35			◎家庭	◎家庭		◎	健康・安全系の企業・公務員、学校安全コーディネーター、食品関連企業、住宅系企業、医薬系企業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭など
			理数情報	数理情報		40			◎数学	◎数学			ICT系教材開発企業、IT関連企業、情報処理・情報通信系企業、化学・薬品系企業、電器・機械メーカー、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など
				自然科学		60			◎理科	◎理科			
			グローバル教育	英語コミュニケーション		20			◎英語	◎英語			語学指導者、国際交流機関職員、通訳・翻訳業、航空業界、ホテル業、観光業、商社、出版業、外資系企業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など
				多文化リテラシー		55			◎国語	◎国語			
			芸術表現	音楽表現		40			◎音楽	◎音楽			文化振興系公務員・団体職員、芸術教材開発企業、演奏家、楽器講師、音楽・美術の指導者、広告代理店、グラフィックデザイナー、楽器販売業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など
				美術表現		10			◎美術	◎美術			
			スポーツ科学			50			◎保健体育	◎保健体育			スポーツトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、アスリート、スポーツ用品メーカー、スポーツ振興系公務員・団体職員、競技団体職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など
	計					350							
合　計						900(25)							

(　)は夜間3年次編入を表し、外数。

※1　●は卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎及び○は卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することにより取得が可能な教員免許状。学校教育教員養成課程では取得を推奨する。◎は自専攻・コース科目、○は他専攻・コース科目から必要な単位を修得する。
□は取得をめざすことができる教員免許状。
ただし、●以外の免許状は卒業と同時に取得することは保証されません。免許状によっては、時間割や受講人数、成績等の条件により取得できない場合があります。
□の免許状取得に必要な科目は、すべて柏原キャンパスにて開講予定です。
※2　学校教育教員養成課程 幼小教育専攻のコース及び小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。
※3　ICT教育コースは、出願時に①②いずれかを選択していただきます。
※4　令和7年度までは、現行の夜間5年コースの第3年次に編入となります。

取得可能な資格等

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員免許状を取得できる課程・専攻等において、「学校図書館司書教諭」の資格取得のための履修が可能です。また、全課程・学科において、「図書館司書」「学校司書※5」の資格等取得のための履修が可能であり、教育協働学科の学生のみ「社会教育主事※6」の資格等取得のための履修が可能です。ただし、「図書館司書」「学校司書」「社会教育主事」の資格等取得に必要な授業は、柏原キャンパスにて開講予定です。

学校図書館司書教諭

小学校などで教諭として採用された者が、学校教育に必要な書籍や視聴覚資料の管理、読書指導を行う仕事です。司書教諭として勤務するための前提として、小学校などの教諭の普通免許状を取得する必要があります。

図書館司書

公立または私立の図書館で勤務し、資料の収集・提供、読書相談や調査研究の援助、読書活動の助成、集会・行事の企画などを行う仕事です。図書館で働く職員のすべてが司書であるわけではなく、図書館における専門的な職務に携わる専門職です。

学校司書

学校図書館において、職員として児童又は生徒及び教員が学校図書館を利用するために必要とされる事務的仕事を行います。

※5　学校司書は学校図書館法上、資格としての定めはありません。文部科学省が定める学校司書養成のモデルカリキュラムに対応する科目を開講し、修了者には単位取得証明書を発行します。

社会教育主事

都道府県等の教育委員会事務局で勤務し、社会教育全体の計画化を図るとともに、社会教育活動の実際を担当する職員や住民に対し、専門的・技術的な指導助言を行います。

※6　所定の科目を全て修得した者は社会教育士（養成課程）と称することができます。

※この他にも取得可能な資格がありますので、詳細については専攻・コースごとのページをご覧ください。

数字でわかる大教大

大阪教育大学にはたくさんの魅力があります。
その中でも、今年の大学案内で紹介したい内容を
数字で表してみました。
それぞれには関連するページを記載しています。

西日本最大の教員養成大学

学部学生数
3,943名

84ページ

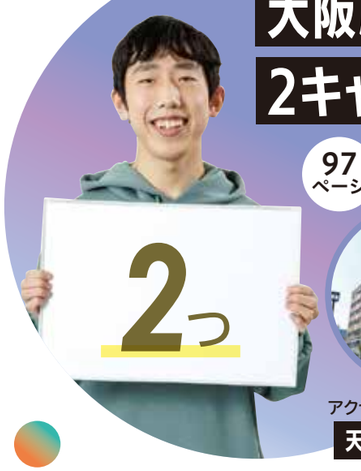
広大な柏原キャンパスに驚き!

71ページ

67万㎡

阪神甲子園球場の
約17倍

大阪府内に2キャンパス



2つ

97ページ

アクセス便利な都市型の
天王寺キャンパス

郊外型の自然豊かな
柏原キャンパス

世界に触れよう!豊富な海外協定校

23ページ

国・地域
14

海外協定校
38

約6割の学費

59.5%

私立大学文系平均100とした場合、本学の学生納付金4年間合計は59.5%の学費となります。

87ページ

歴史と伝統を有する日本有数の教育大学

02ページ

令和6年度に
創基**150年**
を迎える

令和4年授業料免除額の計

87ページ

2億1千万円

（前後期〈全額・半額〉延べ免除者数1,089名）

就職希望者における就職率

（令和4年度末学部卒業者）

81ページ

97.8%

教員志望者における教員就職率

（講師含む、令和4年度末学部卒業者）

99.5%

19ページ

多様な専攻・コース設定で様々な学びを実現!

専攻・コース設定
26

09ページ

6割の学生が課外活動（クラブ・サークル等）で活動しています

（令和元年度　学生生活実態調査より）

62.5%

67ページ

昨年度オンライン＆来場方式オープンキャンパス参加者数

（2日間計、保護者含む）

65ページ

3,546名

学位プログラムと3つのポリシー

学位プログラムは、平成29年度学部教育より導入し、各プログラムに定める
到達目標（卒業時に身に付ける力）達成型の教育課程として、運用を行っています。
「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー P.93 ）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー P.94 ）」及び
「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー P.89 ）」を一体的に策定のうえ、
卒業時に到達目標を達成できることを念頭に置き、カリキュラムを実施します。

教員養成課程 ※1

到達目標

①豊かな教養と広い視野
②教職に必要な素養
③指導内容の理解と実践力※2
④子どもへの対応の理解
⑤ICTや教育データを利活用する力※3
⑥教職力量を自らひらく力

教育協働学科

到達目標

①豊かな教養と広い視野
②教育理解
③協働力
④専門的知識・技能
⑤教育協働実践力

到達目標達成型学位プログラム
3つのポリシーをコアとするプログラムシラバス

卒業認定・学位授与の方針
（ディプロマ・ポリシー）

一体的な策定と各段階における目標を明確化

入学者受入れの方針
（アドミッション・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針
（カリキュラム・ポリシー）

学校種や専攻の特性に応じたプログラム

●幼小教育（幼児教育・小学校教育）プログラム
●次世代教育（教育探究・ICT教育）プログラム
●教科教育プログラム
●特別支援教育プログラム
●小学校教育（夜間）５年プログラム
●養護教育プログラム　※名称は変更の可能性あり
●教育心理科学プログラム
●健康安全科学プログラム
●理数情報（自然科学・数理情報）プログラム
●グローバル教育（英語・多文化）プログラム
●芸術表現（音楽・美術）プログラム
●スポーツ科学プログラム

専攻と異なる分野を学ぶプログラム（副専攻プログラム）

●日本語教育プログラム
●外国にルーツのある子どもの教育プログラム
●STEAM教育を中心とした教科横断型教育プログラム
●地域との連携・協働によるダイバーシティと人権教育プログラム
●心理学のエビデンスを活用できる教員の養成プログラム　など

※各プログラムにより履修要件が異なります。なお、修了要件を満たすことにより、卒業時に学校教育法施行規則に基づく学修証明書等が交付されます。

各専攻・コースに対応した学位プログラムは本学WEBページにてご確認ください。

※1 学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程をいう。　※2 養護教諭向けには、養護実践力　※3 学校教育教員養成課程のみ

学修成果評価システム

学業成績や学外実習、課外活動とボランティア活動などから構成される学修成果の蓄積と
到達目標への到達度を明らかにするポートフォリオの構築を行いました。
学生自身が自己の学びをふり返り、次の学びのデザインを行うための新たなツールとして整備し、
主体的な学びを促進しようとするものです。

学修のふり返りと学びのデザイン

指導教員は、入学から卒業までの間、継続的に面談をおこない、ポートフォリオに基づいて指導や助言をし、良好な大学生活を送れるように支援します。

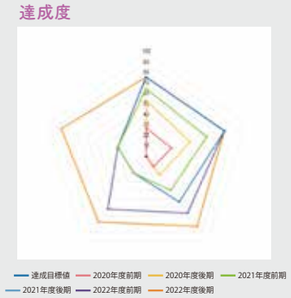
学修プロセスの蓄積

授業の成績や、学外実習、課外活動、ボランティア活動における取組の成果をポートフォリオに蓄積し、活用を支援します。

学修成果の可視化

学位プログラムの到達目標に対応する授業科目をカリキュラムマップとして整備のうえ、到達目標への到達度をレーダーチャートにより明らかにします。

達成度



教育実践力の育成

キャンパスにおける学びをもとに、学校における教育実習や、インターンシップによる活動を通じて、これからの教職に求められる実践的資質・能力の形成プロセスを確認します。

※教育協働学科の学生は、
教員免許状取得希望者のみ

※図は令和５年度のイメージです。

学生の未来をサポート
OKU Style
02

学校現場での実践

積み上げ型の教育実践システム

point 1

1・3・4回生での教育実習に加えて、2回生からの段階に応じた学校インターンシップでは、児童・生徒との関わり方やクラスづくりに加えて今日的な教育課題に触れ、学校教育の現状について実践的に学びます。その学びを大学の修学につなぎ、教員としての高い実践力を身につけます。

理論と実践を往還する「省察」科目の導入

point 2

教育実習・学校インターンシップを通じて自らの実践を振り返り、捉え直しながら、新たな目標の設定、実践、振り返りを繰り返す「省察」科目を設定します。

電子ポートフォリオによる学び診断

point 3

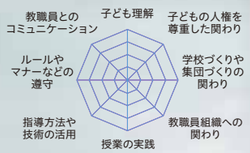
夢を叶えるために、学修成果評価システムを活用し、授業の成績や課外活動・ボランティア活動など「学びの軌跡」を蓄積し、自分の成長を確認します。「履修カルテ」と「教育実習カルテ」で構成されます。

履修カルテのポイント

自分を知る	●全学生が入力 ●学習や卒業後の目標を自分で設定 ●授業科目の履修状況と学修成果を把握
何を学んだか、何を感じたか、を記録	●履修した全ての授業科目についてふりかえり（自由記述）を入力 ●学外実習・ボランティア経験も記録
評価する	●教員に必要な様々な資質能力について自己評価 ●年２回、指導教員がデータを見てコメント

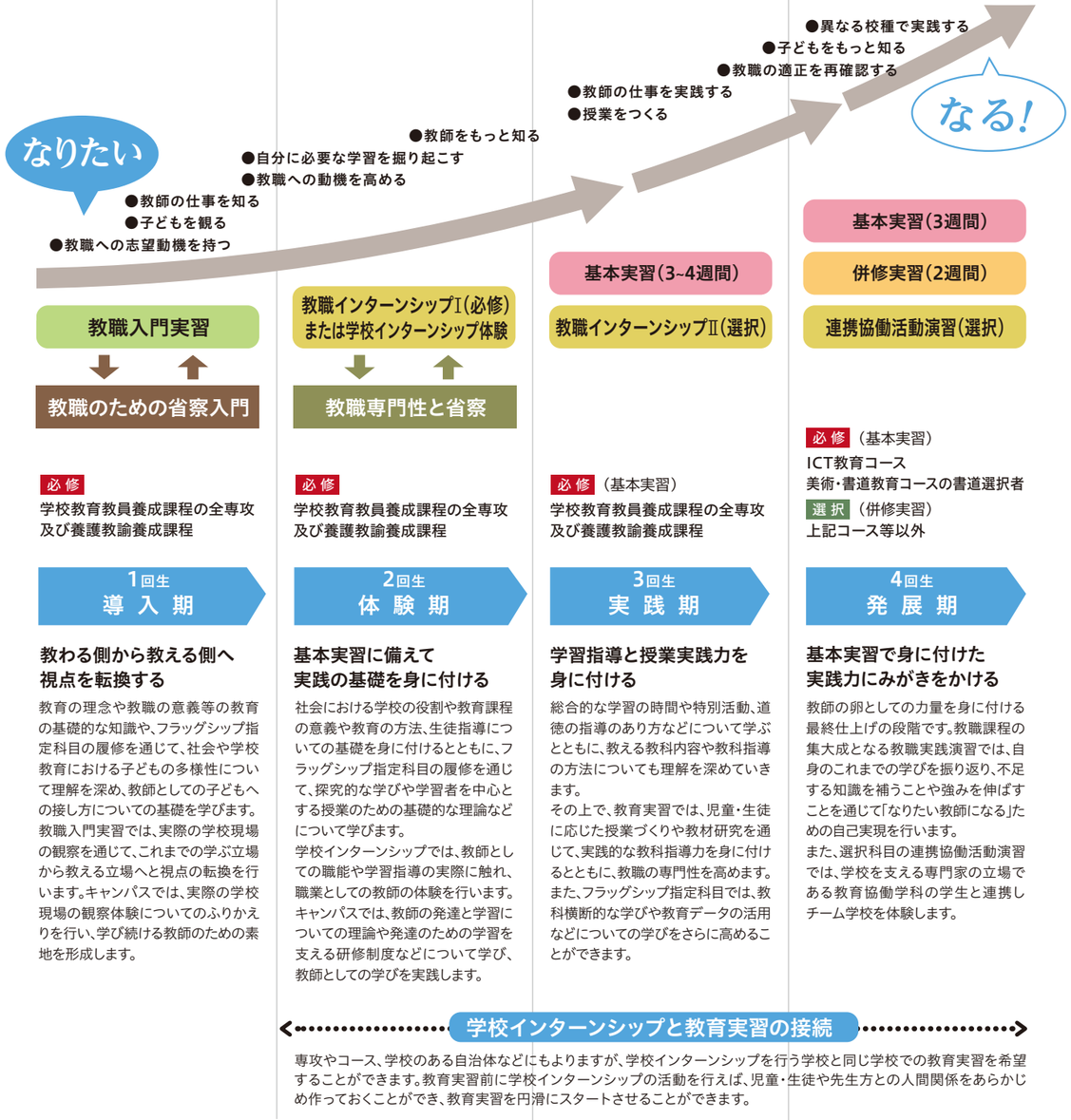
教育実習カルテ

教育実習カルテは、それぞれの実習の指標にそって作成しています。自分の到達目標を設定し、実習にのぞみ、実習終了後はそれぞれの指標について自己評価を行います。また、実習校による学校評価が表示されます。



「なりたい」から「なる！」につながる実習

大阪教育大学では「4年間を通した学校現場における実践的学修」を行っています。4年間にわたり教育実習と学校インターンシップを行い、力を積み上げることで、教師としての実践的指導力を身につけます。さらに「電子ポートフォリオ」を取り入れ、指導教員と学びの軌跡を確認します。そうすることで総合的な教育実践力と専門分野の知識・技能を向上させます。
教育実習の履修方法は、課程・専攻・コースにより異なります。



学校インターンシップと教育実習の接続

専攻やコース、学校のある自治体などにもよりますが、学校インターンシップを行う学校と同じ学校での教育実習を希望することができます。教育実習前に学校インターンシップの活動を行えば、児童・生徒や先生方との人間関係をあらかじめ作っておくことができ、教育実習を円滑にスタートさせることができます。

実習制度

	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生
小学校教育（夜間）5年専攻				教育実習Ⅰ(必修)	教育実習Ⅱ(必修)
	教職入門実習	学校インターンシップ体験(必修)	学校インターンシップⅠ(選択)	学校インターンシップⅡ(選択)	学校インターンシップ Ⅲ(選択)
教育協働学科	教員免許状取得を希望する学生は、教職実践演習の履修が必要です。教育実習は、4回生で、主として附属高等学校において行っています。				

学生の未来をサポート
OKU Style
02

Student Voice

学校教育教員養成課程
小中教育専攻
保健体育コース

田邉 幸乃さん

（出身校：東京都立駒場高等学校）

子どもたち一人ひとりと向き合う大切さを実感できた教育実習

私は、３回生のときに小学校、４回生のときに中学校に実習へ行きました。

初めて教室へ向かうとき、子どもたちの前に立つときは緊張と不安の気持ちでいっぱいでした。

体育の授業を行うにあたり、子どもたちが進んで授業に取り組めるような授業づくりをめざしました。授業内容は実習校の先生にアドバイスをいただきながら、活動やグループ分け等を工夫したり、授業では全員に声をかけることを意識したりして取り組みましたが、上手くいかないことも多く、自分の授業を振り返り課題を明らかにすること、また先生方から指導をしていただくことで、次の授業に活かしていくことができました。授業を繰り返すうちに子どもたち一人ひとりに向き合い、何を学ばせるのかを常に意識した指導が重要だと気づきました。

最後の授業では、子どもたちの一生懸命に活動する姿や笑顔で楽しんでいる姿を見たこと、そして子どもたちが「楽しかったです！」と声をかけてくれたことで、教師の仕事のやりがいを感じ、教師という仕事に就きたいという気持ちが高まりました。

1day Schedule

6:30～ 7:30	起床・準備
7:30～ 8:20	登校・準備
8:20～ 8:40	授業準備
8:40～ 9:30	1限目　教材研究
9:40～10:30	2限目　指導教員の授業見学
10:40～11:30	3限目　体育の授業
11:40～12:30	4限目　体育の授業
12:30～13:15	昼食・休憩
13:20～14:10	5限目　他実習生の授業見学
14:20～15:10	6限目　道徳の授業見学
15:20～15:50	終礼・清掃
16:00～16:45	実習ノート記入・教材研究
16:45～17:00	下校指導
17:15～18:00	打ち合わせ
18:00～	帰宅

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
音楽教育コース

中村 謙治朗さん

（出身校：大阪府立生野高等学校）

「先生」の立場で学ぶ教育実習

私は、3回生の時に中学校、4回生の時に小学校へ教育実習に行きました。

「先生」という立場で子どもと接する機会は滅多にないので、教育実習では貴重な経験ができました。特に私は、子どもとの距離感が掴めず、「先生」として、どのようなコミュニケーションをとればいいかという課題を抱えていました。しかし実習へ行ってみると、子どもたちも初めてやって来た実習生に対して同じような問題を抱えているということを知ることができ、私も安心しました。そのことがきっかけとなり、子どもたちと適切なコミュニケーションをとることができ、一人ひとりの個性や良さを、たくさん見つけることができました。

また、実習先の先生は、授業のことや、子どもとの関わり方について親身に相談に乗ってくださったため、大学の授業では学べない、より実践的な知識や技能を学習することができました。

実習最終日には、教師という仕事のやりがいを身に染みて感じることができました。実習で学んだことを活かして、自分のめざすべき教師像へ近づきたいと思います。

1day Schedule

6:00～ 6:40	起床・準備
6:50～ 8:00	登校
8:00～ 8:30	授業準備
8:30～ 8:55	朝の会
8:55～ 9:40	１限目 国語の授業見学
9:50～10:35	2限目 体育の授業見学
10:35～10:50	フリータイム
10:55～11:40	３限目 社会の授業見学
11:50～12:35	４限目 外国語の授業見学
12:35～13:35	給食・昼休み
13:35～13:50	掃除
14:00～14:45	５限目 算数の授業見学
14:55～15:40	６限目 現職教員による講話
15:40～15:50	帰りの会
15:50～16:30	教室清掃、担当の先生と1日の反省
16:30～17:00	教育実習生同士の反省会
17:00～17:30	指導案修正及び指導
17:30～	帰宅

教育実習 FAQ

Q1. 教育実習など学校現場に行く機会はどれくらいありますか。
A1. 本学の学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程では、正課（授業）で「教職入門実習（教職のための省察入門の授業内で実施）」「基本実習」「学校インターンシップ」等があります。さらに正課外でも、「学校サポート活動」などボランティアで活動する学生も多くいます。時間割次第では毎年学校現場で活動することが可能です。なお、教育協働学科で教員免許状取得を希望する学生は、4回生時に教育実習に参加することになります。

Q2. 教育実習には基本実習と併修実習があるようですが、何が違うのでしょうか？
A2. 基本実習は本冊子の9・10ページで「●」表示されている免許を取得するための実習で、卒業するために必ず参加しなければならない必修科目です。併修実習は、卒業するためには必須ではないが、学校種の異なる免許を取得するため、選択科目として参加する実習になります。専攻・コースによって基本実習に参加する回数は異なります。

Q3. 小中高すべての教員免許を取得したい場合は、全ての校種で教育実習に参加する必要がありますか？
A3. 全ての校種での実習に参加する必要はありません。例えば、教科教育専攻国語教育コースであれば、基本実習で小学校（または中学校）に参加し、さらに高等学校の免許を取得したければ、併修実習で原則として高校への実習に参加します。なお、専攻・コースによって実習校種は異なります。

Q4. 教育実習の実習先はどのようにして決まりますか。母校（他府県など）に行くこともできますか。
A4. 基本的には本学附属学校園が実習先です。実習の種別によっては大学近隣の公立学校も実習先となります。これらの学校だけでは全ての実習生を受け入れることができないなどの理由で、出身校等での実習を認めています。また、学校インターンシップの受入校で教育実習を受け入れてもらえる場合もあります。
なお、近畿の学校に限るなど地域に制約がある場合があります。

※教育実習の実習校等については、今後変更の可能性があります。

学生の未来をサポート
OKU Style
03

就職支援

本学は、時代に先駆けて行ってきた教養教育や、教員就職・企業就職・公務員就職に関する支援が充実しており、教員正規採用人数は毎年全国トップクラス、就職希望者の就職率は 97.8%※と、高い就職実績を実現しています。また、教員就職・企業就職ともに、人間的魅力や仕事ぶりにおける卒業生の評価は高く、社会の様々な場面で活躍しています。2010年4月に開設したキャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と職業選択を支援することを目的とし、学生の進路・就職に向けたサポートを1年次からスタートしています。「自分の適性」を把握し目標を持った大学生活を過ごすことが理想の就職につながるという観点に立ち、より実践的な就職支援プログラムを展開し、教育協働学科を有する本学だからできるきめ細かいキャリア支援をめざしています。※令和4年度末学部卒業者

求められる人材へキャリア形成をサポート！

● 教員就職
経験豊富なキャリアアドバイザーが教員採用試験に向けた面接指導、場面指導や模擬授業対策など幅広いサポートをしています。

● 企業・公務員就職
専門のアドバイザーが企業・公務員就職に関する様々な相談に応じています。エントリーシート添削、面接指導など、きめ細かなサポートをしています。

● 就職支援Webシステム
在学生専用Webシステム「Live Campus」では就職ガイダンスや各種対策講座の通知を受けたり、就職相談、面接指導の予約などができます。また、eラーニングのオープンソースでは、教員・企業・公務員就職に関する情報、ガイダンスの説明会の資料、ビデオ、大学に届いた求人情報等、豊富な情報にアクセスすることができます。

● 保護者対象就職説明会
1、2回生（夜間2、3回生）の保護者を対象に就職説明会を開催し、最新の就職状況や大学の支援について情報を提供しています。

教員志望者における教員就職率

99.5%

（講師含む、令和4年度末学部卒業者）

STEP 1 1・2年次からの目標設定 指導教員制による個別支援

STEP 2 独自のキャリアプログラムで学生の進路決定をサポート

STEP 3 個別の進路に合わせたガイダンス実施と情報発信

STEP 4 進路別の対策講座・面接で細かな指導を実施

STEP 5 卒業生を含め就職決定まで万全サポート

入　学

学校教育教員養成課程 | 養護教諭養成課程

教育協働学科

職業観をつかむ

キャリア支援センター教員担当授業科目
「キャリアデザイン」「キャリア教育」「教職キャリア形成論」
入学時より授業（選択制）を通じてキャリア形成力を育成。

キャリア支援センター主催
「キャリアガイダンス」
就活準備学生（昼間1、2回生、夜間2、3回生を対象）就活の現状とキャリア支援センターの利用方法や開催講座を紹介し、就活期へのスムーズな移行ができる準備ガイダンスです。

教員をめざす

データファイル
教員採用試験を受験した先輩たちが記録した試験内容、対策、勉強法など、膨大な情報を集めた本学オリジナルの冊子。学内で配布。先輩たちもこれを見て合格！

教員就職ガイダンス
教員としての資質を磨く上で重要な事を確認。

教師塾、学校サポート活動 学校インターンシップ
実際の学校現場を体験し、将来像や職業観の形成に役立てる。

教採面接指導事前ガイダンス
面接の基本を確認。

教採スタートアップガイダンス
3年次から始める教員採用試験対策の解説。

私立学校教員採用説明会
希望者向けセミナー
私立の教員試験を受けるための対策・流れを確認。

教員採用試験説明会
各教育委員会担当者から試験の詳細や変更点を聞くことができる。

面接対策指導
教育委員会や校長を経験されたアドバイザーによる面接練習を受けることができる。

筆記試験対策講座
個人で対策の難しい科目について、オンライン形式や講義形式で解説。

実技・面接対策
水泳・音楽・体操など実技試験の対策、集団面接、模擬授業・場面指導の対策講座。

教員採用試験 1次試験合格！

教採CAFÉで対策 21ページ

教員採用試験 最終合格！

公務員をめざす

就職ガイダンス
今年度公務員試験の状況と、次年度の傾向と対策、勉強方法確認。

インターンシップ
実際の職場を体験し、将来像や職業観の形成に役立てる。

22ページ

自己分析講座
採用試験の初めに必要な履歴書作成のノウハウを身につける。就職活動の第一歩となる自己分析について学ぶ。

面接対策実践講座
企業・公務員の面接試験を実践練習。

企業説明会
本学学生の採用に意欲的な多くの企業・官公庁が集まる。

公務員試験 面接合格 内定！

企業をめざす

就職ガイダンス
最新の就職活動状況、次年度の就職状況の説明を聞く。

エントリーシート・グループディスカッション対策講座
自己PR方法や簡潔な表現方法を学ぶ。

就職相談
就職活動中の悩みを相談したり、求人情報を収集できる相談を随時開講。

企業採用試験 面接合格 内定！

教員　公務員　企業

学生の未来をサポート
OKU Style
03

キャリア・アドバイザー
中務 高俊先生

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
数学教育コース
伊藤 匠海さん
出 身 校：兵庫県立夢野台高等学校
内 定 先：兵庫県神戸市中学校教諭

教育協働学科
教育心理科学専攻
藤村 美佑さん
出 身 校：山口県立山口高等学校
内 定 先：国立大学法人職員

キャリア・アドバイザー
近藤 一江先生

対×談 Student Voice

教員採用試験合格者×アドバイザー

中務：伊藤さんは３回生の１０月ごろからキャリア支援センターに来ていましたね。

伊藤：はい。就職が決まった先輩の話を聞いたことがきっかけでやる気が起き、中務先生に相談に行くようになりました。

中務：３回生の後期頃から相談に来る学生が多いですね。もし、１～２回生の間に来ていたら、「今からでもできること」や「教採を視野に入れた教育実習での心構え」なども伝えられたかも。では、キャリア支援センターに相談してみてどうでしたか。

伊藤：教員採用試験は筆記や集団討論、実技、模擬授業などで構成されていますが、中でも面接担当者を児童生徒や保護者に見立てて指導を行う場面指導では、現場経験が豊富なアドバイザーの先生だからこそのアドバイスをいただけるので、教員採用試験だけではなく、教員になった後も参考になることが多かったです。また、複数のアドバイザーの先生がいるため、多様な観点からの指導を受けられますし、何といっても相談しやすい雰囲気と激励には感謝しかありません。

中務：伊藤さんは夏休みも積極的に相談に来ていましたね。よく教採CAFÉにも参加して仲間と集まっていましたね。

伊藤：教採CAFÉでは、メンバーで週に何度も集まって、一人では練習できない集団討論や模擬授業の練習に取り組んだり、試験に関する情報を共有したりしていました。同じ自治体を受けるライバルですが、同じ志を持った仲間と一緒に教員採用試験に立ち向かうことができることが大教大の魅力だと実感しました。

中務：教採CAFÉのメンバーとは、卒業後もその自治体での同期になるので、これからも切磋琢磨して良い先生になっていってくださいね。

企業内定者×アドバイザー

近藤：藤村さんは、いつ頃から就職活動を始めましたか。

藤村：部活動が楽しくて、本格的に動き出したのは３回生の１２月頃です。その頃に初めてキャリア支援センターに行きました。自己分析ができていなくて、自分の強みを話せなかったことを今でも覚えています。今となって考えれば遅かったと思います。

近藤：それからはほぼ毎週相談に来ていましたね。

藤村：はい。先生にはエントリーシートの添削のほか、面接練習、グループディスカッションの練習などたくさん指導していただきました。

近藤：面接練習は、動画を撮って見返すなど、よく練習していましたね。

藤村：友達や家族とは違い、言葉づかいにも気を付け緊張感をもって練習できました。客観的な意見もいただいて修正し、自信をもって本番に臨むことができました。グループディスカッションの練習では、グループの中でどういう役割をするかなど、個人では練習できないことが疑似体験でき、感謝しています。

近藤：そう言ってもらえると嬉しいですね。それでは逆に、「もっとこれをやっておけば」と思ったことはありますか。

藤村：強いて言えば、決めていた業界以外のインターンシップにも参加していたら、自分の今後の経験になっていたかもしれない、ということです。

近藤：インターンシップはその職業を具体的に体験できることはもちろん、職場自体の雰囲気を知る機会にもなるので、大切ですね。他にはどのようにキャリア支援センターを活用しましたか。

藤村：何よりもお世話になったことは、メンタル面で支えていただいたことです。就職活動中はどうしても不安になったり迷いが出たりしたのですが、「藤村さんなら大丈夫！」と、気持ちを支えてもらいました。内定の報告をした時は一緒に喜んでくださって、キャリア支援センターを活用して本当によかったと思います。

教採CAFÉ

教員採用試験の対策として、志望自治体が同じ学生同士が自発的に集まり、面接対策の練習や、筆記試験の情報交換等を行い、全員合格をめざす有志の会のことです。対面・オンラインを駆使して、自主的に面接練習などを行っています。

インターンシップ

企業・官公庁等で、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。体験目的は、「アルバイトとの違いを知る」「自分の適性を知る」「業界を知る」等学生により様々です。近年は、１、２回生の募集も増えています。そのため、キャリア支援センター実施の学内説明会は、学年を問わず参加でき、インターンシップの意義や効果を伝えています。

海外留学・国際交流

交換留学（6ヶ月～1年間）

point 1

学生交流協定に基づき、本学の学生が海外の協定締結校へ留学し、海外の協定締結校の学生も本学へ留学する制度が、交換留学です。大阪教育大学では、アジア・アメリカ・ヨーロッパなどの大学（海外14か国・地域38校）に交換留学生として留学することができます。留学期間中は、「休学」ではなく「留学」の身分として、各自の専門に応じて、開講されている科目の中から自由に選んで履修できます。

語学研修・文化研修（1～5週間）

point 2

大阪教育大学では、海外協定校協力のもと、語学研修・文化研修プログラムを多数実施しています。夏休みや春休みを利用して1週間から5週間ほど現地に滞在し、語学を学ぶとともに異文化を体験する語学研修プログラムは、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストラリア、カナダで実施しています。また、文化研修は韓国、台湾、スイスで行っています。授業として開講している研修も多数あります。

学生交流協定締結校一覧

（令和5年5月1日現在）

14の国・地域　38の海外協定校

2学期4ターム制の導入

本学では、平成29年度から、2学期4ターム制を導入しています。短期間で集中的に学ぶことによる教育効果の向上はもとより、海外留学等に参加しても、授業を履修しやすくする環境づくりをするとともに、ターム科目の開講を順次拡大しています。

導入によるメリット

① 留学や海外体験がしやすくなる

段階を経て、ターム科目を増やし、留学や海外体験をしやすくします。また、留学や語学研修に参加しても、修業年限で卒業・修了できるような学年暦及びカリキュラム編成をめざします。

② 短期集中型授業による学修

短期間で集中的に学び、重点的に予習・復習を行うことによる教育効果の向上をめざします。

③ 多様な学外活動に参加できる

まとまった時間を利用して、教育実習や学校インターンシップなどの学外実習や、ボランティア活動などの自主的活動を行えるような環境づくりをめざします。

学生の未来をサポート
OKU Style
04

Student Voice

学校教育教員養成課程
小中教育専攻
学校教育コース

橋本 真愛さん

（出身校：奈良県立郡山高等学校）

一歩踏み出せば、新しい世界が広がっている

私はカナダのビクトリア大学に３週間留学しました。現地では午前中に英語の授業を受けました。英語力別に４クラスに分かれて、話す・聞くを中心に英語力を高めました。午後は現地の大学生や留学生とアクティビティを通じて交流しました。アクティビティは毎日あって、他の留学生と仲良くなるきっかけになりました。

文化や価値観の違いを肌で感じたいと思って留学したのですが、私は英語が苦手かつ初めての海外だったので最初はとても不安でした。しかし、現地では何をするにしても英語で会話をする必要があります。そうした環境の中、日常会話を通して英語への苦手意識はなくなり、英語でコミュニケーションすることの楽しさに気付きました。

留学中は、現地の人や各国の留学生、日本からの留学生など様々な人と交流しました。文化や価値観の違いはあっても、違いを受け入れ、コミュニケーションをとることで仲良くなれると感じました。日本から飛び出して、新たな世界と出会ってみませんか？

1day Schedule

6:30～ 7:30	起床・準備
7:30～ 8:30	朝食
8:30～12:00	授業
12:00～13:30	昼食
13:30～16:00	昼のアクティビティ
16:00～17:00	夕食
17:00～18:00	自由時間
18:00～21:00	夜のアクティビティ
21:00～21:30	予習
21:30～	自由時間・就寝

教育協働学科
グローバル教育専攻
多文化リテラシーコース

吉永 健人さん

（出身校：奈良県立平城高等学校）

新たな価値をソウゾウしよう

私はアメリカのウエスタン・カロライナ大学に１０か月間留学しました。現地では自身の専攻でもある、グローバル教育関連の授業に加えて、大教大では履修することのできない、アメリカビジネスの授業や、先住民族の文学の授業など、自分の興味の湧く分野を自由に学ぶことができました。様々なバックグラウンドを持つ学生たちと一緒に学べたことは、日本ではなかなかできない貴重な経験となったと思います。

また、休日には各国の留学生や、アメリカ現地の学生たちと近くのダウンタウンに行ったり、ハイキングに行ったりと、勉強だけではなく、実際の「生活」を体験することができました。言葉が通じなくて苦労したことや、文化の違いに直面することを何度も経験して、言語を超えた世界各国の友人をつくることができ、人生の中でも色あせることのないであろう、特別な時間になりました。

新しい世界に飛び込むこと、安定を抜け出してチャレンジすることは、すべてが「楽しい」で満たされているわけではありません。しかし、それを超えた先では、自分が知らない新しい価値観に出逢うことができます。まずは一歩目を踏み出してみませんか？

1day Schedule

6:30～ 7:00	起床
7:00～ 8:00	朝食・準備
8:00～ 9:30	授業準備
10:00～10:50	授業
11:00～12:00	友人と昼食
12:15～13:00	部屋に戻って授業準備
13:20～14:10	授業
14:30～16:00	1日の復習
16:15～17:30	友人とジム
17:30～18:30	自由時間
18:30～19:30	ルームメイトと夕食
19:30～21:00	課題・予習
21:00～22:30	自由時間
22:30～	就寝準備・就寝

留学支援

充実の語学学習サポート！

大学内でTOEFL®、IELTS™等各種外部試験の対策講座や、TOEFL ITP®試験を実施しています。また、外国語学習支援ルーム（GLC）では、英会話チャット、ネイティブ教員の個別指導、教員やラーニングアドバイザーによる学習相談、様々な国際交流イベントの他、多数の多読本、外国語検定対策本（英・仏・独・中・韓）の貸出を行っており、留学に向けた語学学習をサポートしています。

留学資金のサポート体制も充実！

交換留学する学生には派遣開始年度の後期授業料を免除する制度があります。

また、海外留学のための給付型奨学金（文部科学省・日本学生支援機構・民間団体等）を獲得するために、留学計画や小論文などの申請書類の作成をサポートしています。令和4年度は交換留学した13名中9名が奨学金を受給しました。

留学相談室

Q1. 留学する際に必要な費用を教えてください。

大阪教育大学の交換留学制度では、留学先の大学への授業料を支払う必要はありません（本学へ授業料を納める必要はあります。ただし、授業料の一部免除制度があります）。とはいっても留学には沢山のお金が必要です。基本的に必要な経費として、渡航費・食費・寮費・テキスト代・衣服・娯楽費・旅行費などがあります。また、留学までに、TOEFL®等の受験料、パスポート・ビザの申請料・危機管理サポート代及び海外旅行保険代（大学指定）などが必要です。

Q2. 交換留学制度ではどのような国、大学へ行くことができますか？

交換留学制度では、タイ、ベトナム、中国、台湾、韓国、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、スイス、キルギス、クロアチアに行くことができます。

Q3. どのように選抜されるのですか？

募集は年2回（11月と6月）行っています。予定派遣期間が秋学期開始（8月～10月）の大学は11月募集、春学期開始（1月～3月）の大学については、6月募集です。申請書類や面接により、語学力や目的意識などを確認し、総合的に判断します。

なお、令和6年度から募集は年1回となります。

Q4. 留学先の単位は認定されますか？

留学先の大学で修得した単位は、本学の単位として認定されることがあります。修得された単位がすべて自動的に認められるのではなく、大阪教育大学側の審査を経て認定されるかが決まります。

学校教育教員養成課程

幼小教育専攻／次世代教育専攻／教科教育専攻
特別支援教育専攻／小学校教育（夜間）５年専攻

養護教諭養成課程

これからの学校現場で必要とされる教員に

●POINT

学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を育成するため、令和６年４月に初等教育教員養成課程と学校教育教員養成課程を一本化します。

本学は令和４年３月に文部科学省から教員養成フラッグシップ大学の指定を受けており、教員養成フラッグシップ大学の特例を活用した先導的・革新的な教員養成カリキュラムを展開し、現代の教育課題に対応した「学校現場で必要とされる教員」を養成します。

●概要

本課程には、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程があります。

学校教育教員養成課程は、幼児教育と小学校教育の接続を踏まえた幼小教育専攻、学習者中心の学びを支え、次世代の学校教育をけん引する次世代教育専攻、小・中・高の教科指導力を身に付け、小学校及び中学校（一部高等学校）の免許が取得できる教科教育専攻、特別支援教育の専門的な指導力と実践力を身につける特別支援教育専攻、夜間５年間で小学校教育について学ぶ小学校教育（夜間）５年専攻で構成されます。子ども一人一人の学びに寄り添いながら自らも探究心をもって学び続ける人材育成をめざします。

近畿地区唯一の国立大学の養護教諭養成課程は、学校保健の中心的役割となれるような養護教諭を育てます。

実践力のある、幼・小・中・高・特別支援の教諭および養護教諭を育てる。

現行

▼ 天王寺キャンパス

初等教育	幼児教育※	
	小学校教育（昼間コース）※	
	小学校教育（夜間5年コース）	
	小学校教育（夜間5年コース・3年次編入学）	

▼ 柏原キャンパス

学校教育	小中教育	学校教育、国語、英語、社会科 数学、理科、家政、保健体育 音楽、美術・書道
	中等教育	国語、英語、社会科、数学 理科、技術、家政、保健体育 音楽、美術・書道
	特別支援教育	
養護教諭		

変更

変更後

▼ 天王寺キャンパス

学校教育	幼小教育※	幼児教育、小学校教育
	小学校教育（夜間）５年	
	小学校教育（夜間）５年（３年次編入学）	

▼ 柏原キャンパス

学校教育	次世代教育	教育探究、ICT教育
	教科教育	国語、英語、社会科、数学、理科 技術、家政、保健体育、音楽 美術・書道
	特別支援教育	
養護教諭		

※ 1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

【 教員養成課程がめざす人材育成 】

指導内容の理解と実践力

保育または各教科や教科外の指導に必要な専門的知識や技能の基本を身に付ける。また、学習環境の整備、アクティブ・ラーニングを取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者を中心とする指導計画の立案や授業づくりができる。

子どもへの対応の理解

外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解したうえで、支援するために必要な知識や支援の方法を身に付ける。また組織的な取組や専門家等と連携する重要性を理解する。

ICTや教育データを利活用する力

学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを活用するとともに、児童等のICT活用能力を育成するための授業を構想できる。また、学習の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。

教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参画し、児童等と積極的なコミュニケーションをとることができ、自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

◆学校教育教員養成課程　次世代教育専攻（教育探究コース）カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身に付けることができるかを表しています。
以下は、学校教育教員養成課程 次世代教育専攻（教育探究コース）の事例です。各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載します。
フラッグシップ指定科目とは、教員養成フラッグシップ大学の特例を適用した、本学独自の教職課程を編成するための新しい授業科目です。

Diploma Policy	1回生	2回生	3回生	4回生
教職力量を自らひらく力	フラッグシップ指定科目 ●教職のための省察入門（教職入門実習）	●教職インターンシップⅠ フラッグシップ指定科目 ●教職専門性と省察	●教職インターンシップⅡ ●教育実習	●連携協働活動演習 ●教職実践演習（小・中・高）
ICTや教育データを利活用する力	フラッグシップ指定科目 ●ダイバーシティと教育 ●現代社会と子どもの権利 ●多様な子どもとインクルーシブ教育 ●外国人の子どもの理解と支援	教職専門科目 ●ICT活用の理論と方法 ●教育データの活用Ⅰ　フラッグシップ指定科目　●教育データの活用Ⅱ 教職専門科目 ●道徳教育論　●進路指導論 ●生徒指導論	教職専門科目 ●特別活動論　●教育相談の理論と方法 ●総合的な学習の時間の指導法	卒業研究
子どもへの対応の理解	教職専門科目 ●特別支援教育の基礎 ●発達と学習の心理学 教職基礎科目 ●特別支援教育の実践	教職基礎科目　●発達障害教育論 ●教科横断と探究学習Ⅰ　フラッグシップ指定科目　●教科横断と探究学習Ⅱ ●学習者中心の授業デザインⅠ　●学習者中心の授業デザインⅡ		
指導内容の理解と実践力	次世代教育専攻共通科目 ●学校におけるICT活用 コース専門科目 ●教育科学入門	次世代教育専攻共通科目 ●インクルーシブ教育実践論 コース専門科目 ●教育の哲学的探究　●共生する社会と教育方法学 ●教育の社会学的探究　●ダイバーシティと教育行政 ●心理学実験　●世界の心理学研究 ●心理学の問題探究　●現代社会と道徳的価値 ●道徳思想の探究　●学校教育と子ども文化 ●道徳的行為の多面的理解 ●道徳教育のための道徳性発達心理学 コース専門科目　●発達の科学　●行動と学習の科学　●対人心理の探究 ●子どもの育ちとこころの援助	コース専門科目 ●教育探究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ●道徳授業の実際 ●先進的生徒指導論 ●先進的授業開発論 ●STEAMとカリキュラムデザイン ●心理学研究のための統計法演習 ●心理学研究のための研究法演習	コース専門科目 ●教育探究ゼミナールⅠ・Ⅱ コース専門科目　●ダイバーシティ時代の学校と社会　●子どもとつくる教育方法学 ●ダイバーシティと学校経営　●心理学の最前線Ⅰ・Ⅱ　●世界の道徳教育
教職に必要な素養	小学校教科専門科目 ●国語（書写及びICTの活用を含む。）　●社会（ICTの活用を含む。）　●算数（ICTの活用を含む。）　●理科（ICTの活用を含む。）　●生活（ICTの活用を含む。） ●音楽（ICTの活用を含む。）　●図画工作（ICTの活用を含む。）　●家庭（ICTの活用を含む。）　●体育（ICTの活用を含む。）　●英語（ICTの活用を含む。） 初等教科教育法科目 ●初等国語科教育法（書写を含む。）　●初等社会科教育法　●算数科教育法　●初等理科教育法　●生活科教育法 ●初等音楽科教育法　●図画工作科教育法　●初等家庭科教育法　●体育科教育法　●初等英語科教育法 フラッグシップ指定科目 ●ファシリテーターとしての教員Ⅰ　●ファシリテーターとしての教員Ⅱ 教職専門科目 ●学校の役割と経営 ●学校安全 ●教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） ●教育方法論 教職基礎科目 ●小・中一貫教育概論 ●人権教育の実践 教職基礎科目 ●人権教育の基礎		
豊かな教養と広い視野	教職専門科目 ●教職へのとびら ●教育総論			
	教養教育科目群（導入科目・基盤教養科目・グローバル教育科目・体育科目・情報活用科目）			

＋ 教育職員免許状の副免許状及びその他の資格を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格の取得に必要な科目の単位を併せて修得する

学校教育教員養成課程

幼小教育専攻

幼小連携を踏まえた実践力の高い幼稚園・小学校教員をめざす

グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、幼稚園と小学校との連携を踏まえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得しながら、教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに、一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い、幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

「幼児教育コース」では、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員を養成します。

「小学校教育コース」では、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員を養成します。

幼小教育専攻

幼児教育コース

知識と技能を深め、幼・小連携を踏まえた幼稚園教員をめざす

幼児教育コースでは、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、高度な実践力・専門性及び幼児教育の総合的な視点をもつ幼稚園教員を養成します。幼児と出会う・幼児の発達を理解する・現実の幼児教育に関わる、の３つのステップを中心に、幼児とのふれあいの中から多くを学び、「幼児教育の現場と関わりつつ学ぶ」という創造的・体験的な側面を重視します。さらに、多文化共生としょうがい共生についての知識や能力を養います。1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

POINT

- 幼児期から児童期の発達と学びを見通し、制度や歴史を理解する
- 幼児の主体的な表現を支える力量を育む
- 多文化共生、しょうがい共生、子育て支援など、新しい課題に対応する態度と基礎を培う

求める学生像

- 高等学校等で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 幼稚園等での教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 幼児教育に深い関心を持ち、学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 幼児とのふれあいなどの体験的な活動を通じて学びたいと思っている人

取得可能な免許

- ● 幼稚園教諭一種
- ◎ 小学校教諭一種

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教職のための省察入門」での観察実習や附属幼稚園での入門的授業で、幼児教育の全体像をふまえます。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- 幼児理解と教育相談
- ○ ダイバーシティと教育
- ○ 現代社会と子どもの権利
- ○ 多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○ 外国人の子どもの理解と支援
- ○ 教職のための省察入門
- ５つの領域に関する専門的事項（健康・人間関係・環境・言葉・表現）
- 幼児教育実践総論
- ピアノ表現演習 Ⅰ・Ⅱ

2回生

５つの領域に関する指導法などから実践の基礎をかため、自身の得意領域も意識しはじめます。

主な授業

- 学校安全
- 幼児教育指導法
- ５つの領域に関する指導法（健康、人間関係、環境、言葉、表現）
- ○ 教職専門性と省察
- 幼児教育インターンシップ
- 表現指導基礎演習 Ⅰ・Ⅱ
- 幼児教育研究調査法 Ⅰ・Ⅱ
- 就学前の教育学

3回生

教育実習や「幼小連携教育論」「保育とダイバーシティ」などにより、現場の機微を学び、多様性への対応力を養います。

主な授業

- 幼小連携教育論 Ⅰ・Ⅱ
- 幼児教育課程論
- 教育実習
- 表現指導演習 Ⅰ
- 幼児教育分析演習
- 幼児教育プロジェクト演習 Ⅰ・Ⅱ
- 幼児臨床学
- 家庭地域連携の政策
- 保育内容実践演習 Ⅰ～Ⅳ
- 保育とダイバーシティ

4回生

領域を深めた授業や卒業論文で、自身が生涯をかけて取り組むテーマに出会うことをめざします。また「教職実践演習」などで現場に出る最終準備を行います。

主な授業

- 教職実践演習
- 表現指導演習 Ⅱ
- 幼児教育学特講
- 幼児教育探究演習 Ⅰ・Ⅱ
- 保育内容特講
- 幼児教育実践研究 Ⅲ・Ⅳ
- 卒業研究

○ は本学のフラッグシップ指定科目です。

幼小教育専攻

小学校教育コース

小学校教員としてのオールラウンドプレーヤー

小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題（ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力）などに対応する能力と共に、児童を理解する力や基礎的な指導力を身につけ、特に幼児教育からの接続を理解した現場実践力の高い小学校教員を養成します。このコースは、1・2回生は柏原キャンパス、3・4回生は天王寺キャンパスで学びます。天王寺キャンパスは交通の便がよく、学校インターンシップや児童いきいき放課後事業（大阪市）で小学校現場に通うのも便利で、学生のうちから学校現場を身近に経験することができます。

POINT

- 小学校の全教科について全方位的な力量形成
- 柏原でホップ、天王寺でステップ、現場へジャンプ！
- たいせつなことはすべて小学校教育コースが教えてくれる

求める学生像

- 小学校教育について関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 小学校教員をめざすために必要な基礎学力を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種　　◎ 幼稚園教諭一種
- □ 中学校教諭一種または二種（技術・家庭 以外）
- □ 高等学校教諭一種（工業・家庭・書道 以外）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

●卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教職のための省察入門」での観察実習、教育学 や心理学の教職専門科目を通して小学校教育の全体像を学ぶ。

主な授業

- ●教育総論
- ●教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門

2回生

幼児教育も視野に入れ、教科に関する専門科目を学ぶ。

主な授業

- ●学校安全
- ●ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習 Ⅰ
- ○教育データの活用 Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員 Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザイン Ⅰ
- ○教職専門性と省察
- ●学校インターンシップ体験
- ●初等教科教育法（社会・生活・家庭・体育）

3回生

教育や教科の指導法を学び、「教育実習」や学校インターンシップを通して実践力を高める。

主な授業

- ●幼小連携教育論 Ⅰ・Ⅱ
- ●教育実習
- ○教育データの活用 Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザイン Ⅱ
- ●初等教科教育法（国語、算数、理科、音楽、図画工作、英語）
- ●小学校教科専門（英語）
- ●教育学研究 Ia・Ib
- ●心理学研究法 a・b
- ●学校インターンシップ Ⅰ
- ●ICT教育の実践研究 a・b
- ●学習指導研究 a・b（国語科、社会科、英語科、音楽科、図画工作科、体育科）
- ●数学入門 a・b
- ●数学・数学教育演習 a・b
- ●理科の実験 Ia・Ib
- ●学校保健学 a・b
- ●生活科学 a・b

4回生

「卒業研究」や「教職実践演習」などを通して、幼児教育からの接続を理解した小学校教員としての資質能力を築きます。

主な授業

- ●教職実践演習
- ●課題研究 Ⅰ・Ⅱ
- ●学校インターンシップ Ⅱ
- ●理科の実験 Ⅱa・Ⅱb
- ●卒業研究

●小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

学校教育教員養成課程

次世代教育専攻

令和の日本型学校教育を担う先進的な教員養成コース

次世代教育専攻は、令和の日本型学校教育を担う教職人材を育成すべく、本学が文部科学省より指定された教員養成のフラッグシップ大学構想を象徴する専攻として、令和６年度に新設されます。

今や職業としての教職には、児童・生徒の多様性と個別性、協働性を重視しながら、アクティブ・ラーニングの授業実践力、多様性を視野に入れた生活指導、ICT に関わる環境の整備や機器の活用など、総合的な資質・能力が求められます。次世代教育専攻は、このような現代的かつ総合的な教職力量を高めることを中心的な目標としています。

次世代教育専攻

教育探究コース

現代の幅広い教育課題に対応する未来志向の教職コース

教育探究コースは現代の教育課題に幅広く対応できる教員を養成するために、令和6年度に新設されます。多様な人々が共生する現代のダイバーシティ社会にあっては、様々な個性を見せる児童・生徒の学びを、時には従来の教科の枠に捉われず教科横断的に、時には個別的な問題意識に基づく探究的な学びとして、教育データを活用しながら効果的にデザインする必要があります。このような教職力量の育成をめざす本コースでは、教職力量の基盤となる教育学や心理学、道徳教育学、教科教育学を融合する先進的なカリキュラムを設定し、小学校を中心に教職を強く志望する学生をサポートしていきます。また本コースは、さらなるステップアップとして、本学教職大学院への進学にもスムーズに開かれています。

POINT

- 現代の教育課題、特に大阪の教育課題（ダイバーシティ教育）に対応できる
- 最新の教育研究に基づいた実践的課題解決力の育成
- 学校教育現場や教職大学院と連携した学びの展開

求める学生像

- 現代の様々な教育課題に対応できる幅広い教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 教職の基盤となる教育学や心理学、道徳教育学さらには学習者中心の教科学習に関心があり、それらを専門的に学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、様々な個性を見せる児童・生徒の育成・支援をめざして、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種
- ○ 中学校教諭一種または二種（国語・英語・社会から選択）
- ○ 高等学校教諭一種（国語・英語・[地理歴史・公民]・情報から選択）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
○ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

ダイバーシティ（多様性）社会を前提とした教育研究を進めるにあたり、入門的性格を帯びる各授業で、現代の学校教育に求められる諸課題や、それにアプローチする方法の概観を獲得します。

主な授業

- ● 教育総論
- ● 教職へのとびら
- ○ ダイバーシティと教育
- ○ 現代社会と子どもの権利
- ○ 多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○ 外国人の子どもの理解と支援
- ○ 教職のための省察入門
- ● 学校におけるICT活用
- ● 教育科学入門
- ● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

2回生

教育学、心理学、道徳教育学、教科教育学という4つの領域の専門的学修が本格的に始まり、特に学習者中心を意識した自身の問題意識を醸成します。

主な授業

- ● 学校安全
- ● ICT活用の理論と方法
- ○ 教科横断と探究学習 Ⅰ
- ○ 教育データの活用 Ⅰ
- ○ ファシリテーターとしての教員 Ⅰ
- ○ 学習者中心の授業デザイン Ⅰ
- ○ 教職専門性と省察
- ● 教職インターンシップ Ⅰ
- ● インクルーシブ教育実践論
- ● 共生する社会と教育方法学
- ● 心理学の問題探究
- ● 道徳的行為の多面的理解
- ● 学校教育と子ども文化
- ● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

3回生

専門の学修と並んで、基本教育実習など実際の学校教育現場での体験も視野に入れながら、自身の「強み」を活かす探究課題を明確にし、卒業研究につながる活動を展開します。

主な授業

- ● 教育相談の理論と方法
- ● 教育実習
- ○ 教科横断と探究学習 Ⅱ
- ○ 教育データの活用 Ⅱ
- ○ ファシリテーターとしての教員 Ⅱ
- ○ 学習者中心の授業デザイン Ⅱ
- ● 小学校教科専門（英語）
- ● 先進的生徒指導論
- ● 心理学研究のための統計法演習
- ● 道徳授業の実際
- ● STEAMとカリキュラムデザイン

4回生

卒業研究（卒業論文）として自身の探究課題に取り組むとともに、希望に応じて、さらに高度な学修の道筋として、教職大学院等への進学を準備します。

主な授業

- ● 教職実践演習
- ● 教育探究ゼミナール Ⅰ・Ⅱ
- ● 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

次世代教育専攻

ICT教育コース

①情報 + 小学校
②情報 + 中高数学

最先端のICTを活用できる知識と素養を身に付ける教職コース

予測困難な時代が到来する中で、ICTの活用は学校を支える基盤として必要不可欠なものになりました。GIGAスクール構想による1人1台端末環境を活かし、児童生徒も日常的に端末の活用が必須な時代です。この時代背景を受け、次世代の教育を支える人材を育成すべく、ICT教育コースが令和6年度に新設されます。GIGAスクール構想を踏まえたデジタル教材開発や、教育データの活用、インターネットを活用した教材開発、デジタル技術の活用による教育課題の発見や解決といった、学校内でICT活用に知見が深く、先導的な役割を担える教師の育成を行います。

POINT

- 最新の情報機器やクラウドサービスを積極的に活用した授業実践
- 情報科学の知識・技術を身に付けるための抱負な演習授業
- ICTの特徴理解をもとにした学校教育現場への実践力の育成

求める学生像

- 現代の様々な教育課題に対応できる幅広い教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 新しい概念や技術に自ら積極的に触れ合おうとする向上心を持つ人
- ICTの特性について理解するだけでなく、教育の情報化を推進するべく、他者にその特性を「使える・教えられる」ようにするコミュニケーション能力や、他者と協働できる能力を身に付けようとする意欲のある人

取得可能な免許

① ● 小学校教諭一種　● 高等学校教諭一種（情報）
□ 中学校教諭一種または二種
□ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
□ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

② ● 中学校教諭一種（数学）　● 高等学校教諭一種（情報）
● 高等学校教諭一種（数学）
□ 小学校教諭一種または二種
□ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
□ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
□ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

教育現場におけるICT活用の理解を進めるにあたり、各専門領域の入門授業を中心に行います。情報教育や学校におけるICT活用の必要性の理解をめざします。

主な授業

- ● 教育総論
- ● 教職へのとびら
- ○ ダイバーシティと教育
- ○ 現代社会と子どもの権利
- ○ 多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○ 外国人の子どもの理解と支援
- ○ 教職のための省察入門
- ● 学校におけるICT活用
- ● 情報倫理
- ● 情報処理演習
- ● 教育メディアの表現

①
- ● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

②
- ● 線形代数学 a
- ● 微分積分学 a

2回生

情報科学やデータサイエンスの基礎を学ぶための基礎数学や情報理論、プログラミングの演習を行います。プログラミングの演習では、座学のみならず受講生同士の議論を踏まえて、より良いコーディングスキルやディスカッションスキルの獲得をめざします。

主な授業

- ● 学校安全　● ICT活用の理論と方法
- ○ 教科横断と探究学習 Ⅰ
- ○ 教育データの活用 Ⅰ
- ○ ファシリテーターとしての教員 Ⅰ
- ○ 学習者中心の授業デザイン Ⅰ
- ○ 教職専門性と省察
- ● 情報科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- ● 教職インターンシップ Ⅰ
- ● インクルーシブ教育実践論
- ● 計算機科学　● データサイエンス Ⅰ
- ● プログラミングとグループワーク Ⅰ・Ⅱ
- ● プログラム言語
- ● 教育メディアの技術
- ● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

②
- ● 代数学 a・b　● 幾何学
- ● 解析学 a・b

3回生

専門分野の理解を深化するべく、ICTを活用した教材開発や学習環境の構築、情報通信ネットワークの基礎等を学び、学校現場においてICT活用の普及・促進するための技術を体系的に獲得することをめざします。また、自分自身の研究テーマを探索します。

主な授業

- ● 教育相談の理論と方法
- ● 教育実習
- ○ 教科横断と探究学習 Ⅱ
- ○ 教育データの活用 Ⅱ
- ○ ファシリテーターとしての教員 Ⅱ
- ○ 学習者中心の授業デザイン Ⅱ
- ● 情報通信ネットワーク
- ● ICTを活用した教材開発
- ● データ構造とアルゴリズム
- ● ロボット教材とプログラミング A・B
- ● システムソフトウェア
- ● ソフトウェア設計・開発
- ● データベース演習
- ● 小学校教科専門（英語）
- ● 数学科教育法 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- ● 確率・統計概論

4回生

これまでの学びを振り返り、学校教員に必要な資質・能力を確認します。各研究室でそれぞれの専門をより深く学び、その集大成として卒業研究を通して情報教育に深く理解のある教員をめざします。

主な授業

- ● 教育実習
- ● 教職実践演習
- ● ICT課題研究 Ⅰ・Ⅱ
- ● ICTを活用した教育支援
- ● 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

学校教育教員養成課程

教科教育専攻

国語教育コース／英語教育コース
社会科教育コース／数学教育コース
理科教育コース／技術教育コース
家政教育コース／保健体育コース
音楽教育コース／美術・書道教育コース

令和の日本型教育を視野に入れた教科学習を構想・実践しよう!

教科教育専攻は、ICTの活用、個に応じた教育（個別最適化）、協働的な学びなど、令和の日本型学校教育に求められる学校教育の諸課題に対応し、主に小・中学校の教科学習を中心に、教師としての授業力を開発することを目標とする専攻です。基本的には、各教科に独特の教科内容や指導法に関する授業が展開され、各教科の探究的な学びにじかに触れることができ、それと並んで、教科を横断する授業開発のありかたも学ぶことができます。さらに、条件が合えば、所属する教科コースで取得する中学校・高等学校の教科免許状以外に、他教科の免許状を取得する可能性も開かれています。

教科教育専攻

国語教育コース

国語の専門家として学び続ける教師を育てる

国語教育コースでは、小学校から中学校、高等学校を通じて取り組まれる母語としての国語教育に関する幅広い確かな知識と技能を持ち、児童・生徒の言葉の力を豊かに育てる国語教育実践力を備えたエキスパートとしての資質・能力を育成します。そのために、国語科の基礎科学としての国語学、日本文学、児童文学、漢文学等を学ぶとともに、授業実践につながる精緻な教材分析、学習者を中心とした授業づくり、教育ファシリテーションについて学びます。

POINT

- 基本から発展へ　学習者から指導者へ
- 実践力につながるアクティブラーニング
- 国際的視野に立つ国語教育

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 国語科を中心に、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（国語）
◎ 高等学校教諭一種（国語）
□ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
□ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
□ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

国語学概論, 国文学概論, 漢文学概論, 国語科教育入門という各専門領域を学び始めます。ことばの力の基礎作りをめざします。

主な授業
- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 国語学概論 A・B
- 国文学概論 A・B
- 漢文学概論 A・B
- 国語科教育入門 A・B

2回生

教科専門科目は、概論から特論・講義へと進みます。より専門的な内容になり、広がり深まり、ことばの力が大きく伸びます。また、「国語科資質・能力開発論」では、教材研究の仕方や国語科授業作りの基礎基本、指導方法などを学び、「書道概論」では、国語教師としての書道の基本を学びます。

主な授業
- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習 I
- ○教育データの活用 I
- ○ファシリテーターとしての教員 I
- ○学習者中心の授業デザイン I
- ○教職専門性と省察
- 中等国語科教育法 I・II
- 教職インターンシップ I
- 国語学特論 A・B
- 国文学特論 A・B
- 書道概論 I・II
- 国語科資質・能力開発論 I・II

3回生

専門分野に分かれて、課題を探究しながら、実践につながる力を身に付けていきます。今まで培ったことばの力を、教育実習の場で発揮します。学習者のことばの力を育てるための「ことばの授業づくり」に取り組み、実践します。

主な授業
- 教育実習
- ○教科横断と探究学習 II
- ○教育データの活用 II
- ○ファシリテーターとしての教員 II
- ○学習者中心の授業デザイン II
- 中等国語科教育法 III・IV
- 国語学講義 IA
- 国文学講義 IA
- 国語科授業実践論
- 小中連携国語科学習開発論
- 国語教育実践演習 I・II
- 小学校教科専門（英語）

4回生

卒業論文を書くのは、小学校からの学校教育生活16年間の総まとめです。ことばをめぐるいろいろな現象を研究対象に選び、自分の力で分析し、結論を導き、他の人にそれが伝わるように文章表現として構成し、卒業論文としてまとめます。

主な授業
- 教職実践演習
- 国語学研究 I・II
- 国文学研究 I・II
- 国語教育学研究 I・II
- 国語教育ゼミナール I・II
- 卒業研究

- 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）
- 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

英語教育コース

Be flexible, be strong, and be thoughtful.

英語教育は「グローバル化」「ダイバーシティ」などのキーワードで表される現代教育において、最も迅速に変化への対応が求められる分野の1つです。母語ではないが故に個々の学習者の理解は非常に大切になりますし、教科横断型の授業でも重要な役割を担います。求められるものは多いですが、チャレンジ精神を持って臨めば、ポジティブな変化を実感できるフィールドです。強く、しなやかで、思いやりの心を持った英語教師をめざして、共に学んでいきましょう。

POINT

- 英語力＋教師力＝英語教師力
- コース独自の研修を含め、多様な海外留学をサポート
- 理論（英語学・言語習得）と実践（指導技術・模擬授業）の徹底した往還

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 小学校教員や中学校・高等学校の英語教員として必要な知識・技能・関連する専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 国内外の社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身につけようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（英語）
◎ 高等学校教諭一種（英語）
□ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
□ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
□ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

英語教師として必要な英語そのものの知識、英語を使うスキルを磨いていきます。「英語音声学」では英語の個々の音を発する仕組みを学び、「比較文化論」では英語圏に限らず多様な文化を学びます。「Integrated English」では4技能統合型の授業で全体的な英語力向上をめざします。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 英語音声学Ⅰ・Ⅱ
- 比較文化論
- Integrated EnglishⅠ

2回生

1回生での学びをベースに、「英語を指導する」とはどういうことかを学びます。「応用言語学」では言語習得の基礎を、「英語科評価論」では言語の力をどう測るかを学びます。「中等英語科授業研究」では実際の授業のビデオの分析や模擬授業を行います。

主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 中等英語科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 中等英語科授業研究
- 応用言語学
- 英語科評価論

3回生

個々の興味に応じたゼミに所属してさらに学びを深めます。「英語学研究」では英語という言語が持つ音声・文法の真理に迫り、「英語教育学研究」では理論に基づく英語指導を様々な角度から検討します。英語教育に特化した留学プログラム（TEFL Studies）にもぜひチャレンジしてください。

主な授業

- 教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等英語科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 英語学研究Ⅰ・Ⅱ
- 英語教育学研究Ⅰ〜Ⅷ
- TEFL Studies
- 小学校教科専門（英語）

4回生

各ゼミで卒業論文執筆に向けた研究が進められ、並行して教員採用試験やさらに学びを深めるための教職大学院入試に向けて準備します。英語教育コースの卒業論文は英語での執筆が原則です。「Academic Writing」で約5,000語の論文を書くコツを学びます。

主な授業

- 教職実践演習
- 英語教育セミナーⅠ・Ⅱ
- Academic Writing
- 卒業研究

● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）
● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

社会科教育コース

社会科に強みをもち、児童生徒と教員のウェルビーイングのための学校づくりに貢献できる教員

学校教員養成課程社会科教育コースでは、広い視野と豊かな教養を持ち、多様な人々との共生社会を実現できる優れた人権感覚を身につけ、小中学校の社会科教育に関する幅広い知識や技能、およびファシリテーション能力に優れた小中学校の教員を主に養成します。そのために基礎的な教養科目を修得した上で、学習者中心の授業づくりができるよう教職に関する多面的な科目を学びます。また社会科教育コースの専門分野における研究活動を通して、児童生徒の探究学習を豊かにデザインし指導できる力を身につけていきます。

POINT

- 幅広い分野を網羅するカリキュラム
- 自主性と専門性を育てる細やかな指導
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 教員の基盤としての広く豊かな教養を身につけるため、高等学校までに履修した教科・科目、とりわけ社会科・地理歴史科・公民科の基礎学力を有している人
- 教職に必要な知識や技能、および社会科の専門分野に関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 児童生徒および社会の多様性を理解し、多様な人々とコニュニケーションを図り、協働できる能力を身につけようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有し、自分がいる場所をより良くしようとして行動できる人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（社会）
◎ 高等学校教諭一種（地理歴史・公民）
□ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
□ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
□ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い視野と教養を身につけるとともに、社会科の各専門領域の基礎を学びます。自分自身が主体的に学びを獲得していく姿勢を身に付けます。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 小学校教科内容（社会）
- 地誌概論
- 世界史概説
- 社会学
- 経済学
- 哲学の基礎
- 自然地理学の基礎
- 人文地理学の基礎

2回生

教職関連の科目の比重が増し、教員に必要な知識とスキルを積み上げていきます。また社会科の専門性を深め、授業づくりの基礎的力量を高めていきます。

主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 中等社会科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 地理学概論　● 日本史概説
- 法律学　● 政治学
- 倫理学の基礎
- 歴史探究の基礎
- 社会調査
- 西洋思想概論
- 倫理学諸問題
- 社会科教育学基礎論

3回生

専攻内の各専門分野に所属し、より専門性の高い学びを進めていきます。演習形式の授業も始まり、学問への理解を広げ、自身の研究テーマを探索する時期です。

主な授業

- 教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等社会科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 社会科基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 自然地理学特講
- 人文地理学特講
- 地理探究の基礎
- 日本史特講Ⅰ・Ⅱ
- 東洋史特講
- 西洋史特講
- 社会学特講
- 哲学諸問題
- 公民科探究
- 小学校教科専門（英語）

4回生

大学での学びの集大成として、卒業論文に取り組みます。1年間を通した探究を通して、研究スキルと専門性を身につけていきます。また、これまでの学びを振り返って、必要な補足を行います。

主な授業

- 教職実践演習
- 社会科発展演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）
● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

数学教育コース

算数・数学の基本を身につけ、本質を見抜く教員になろう

数学教育コースでは、将来、教育の現場において、算数・数学に関して優れた指導力をもち、中心的な役割を担う小学校・中学校・高等学校教員を育成することをめざします。数学的な能力を高め、算数教育・数学教育の理解を深めることにより、論理的に正しく考え、何が大切かを理解するとともに、個々の児童・生徒を観察し、どう教えたら腑に落ちる体験に導けるかを見抜く力を養成することに重点を置きます。

POINT

- 算数・数学教育に必要な専門知識を学ぶ
- 専門知識に基づいた実践研究力を身につける
- 教育実習を通して実践指導力を育てる

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人で、特に、数学に関しては、数Ⅲまで履修した人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 数学の専門知識と数学教育に関する実践力の習得に意欲をもつ人
- 創意工夫することができて、数学の楽しさ・面白さを児童・生徒に伝えたいと思っている人
- 専門知識を駆使して、数学の諸問題に積極的に取り組める人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種(数学)
◎ 高等学校教諭一種(数学)
□ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
□ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
□ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

高校数学までは、与えられた問題を解くことを通して数学の学習を行いましたが、大学数学では自ら論理を組み立てて、それを展開していくことが重視されます。このような大学数学を学ぶ上でのポイントは問題意識の変革です。1回生では、その変革を促すようなショッキングな講義が展開されます。この意識の変革により、大学数学を学ぶ4年間の基盤を創ります。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 小学校教科内容(算数)
- 線形代数学 a・b
- 微分積分学 a・b

2回生

2回生では、1回生での入門を経て、数学を代数学、幾何学、解析学、確率・統計という分化した形で体系的に学んでいきます。また、演習により、自力で論理を組み立てたり、表現する力を養成します。さらに、算数科教育法や数学科教育法の授業も始まり、「小学校で算数を、中学校・高等学校で数学を教えるとはどういうことか」について学び始めます。

主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 数学科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 代数学 a・b　● 距離空間
- 幾何学　● 解析学 a・b
- 確率・統計概論

3回生

1、2回生で学習したことを基礎として、代数学、幾何学、解析学、確率論、算数・数学教育学といった各分野の専門性を高めていきます。このようにして身に付けた高い専門性を背景に、基本教育実習に臨みます。そこで、児童・生徒を実際に教えることにより、「教育とは、教えるとは、分かるとは」等を真剣に考えます。

主な授業

- 教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 数学科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 代数学 c
- 幾何学Ⅰ
- 解析学 c
- 確率論
- 算数・数学教育論
- 小学校教科専門(英語)

4回生

4回生では、専門的な各分野(代数学、幾何学、解析学、確率論、算数・数学教育学)に分かれて、セミナー形式で数学や算数・数学教育学を学びます。セミナー形式で学習することにより、数学とはどのような学問か、算数・数学の本を読むとはどういうことか、算数教育・数学教育はどうあるべきかを真剣に学びます。それは、将来教員になったとき、自分の核になります。

主な授業

- 教職実践演習
- 数学演習 a・b
- 卒業研究

● 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

● 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

理科教育コース

身近な「自然」や「科学技術」を学ぶことの喜びや感動を児童・生徒と分かち合える教員をめざす

理科教育コースでは、学習内容や指導の背景となる物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の知識や技能によって裏付けられた確かな専門性を持つとともに、総合的な学習・探究の時間等にも対応できる教科・領域横断的な力量を兼ね備えた、理科教育の中核となる人材を育成します。

POINT

- 自然科学についての幅広い教養と高い専門性を身につける
- 仲間とともに「学びあい」ながら教員資質を高める
- 学内外との交流・連携により実践的理科指導力を育成する

求める学生像

- 小学校・中学校・高等学校の教員になることを強く希望し、自然科学に関する知識の修得と教員としての課題の探究に意欲を持つ人
- 理科における探究的な学習や実験・観察についての興味や経験を持っている人
- 高等学校までに理科をはじめとする様々な教科・科目における基礎学力を有している人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種(理科)
◎ 高等学校教諭一種(理科)
□ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
□ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
□ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い教養とともに、自然科学を学んでいくために必要な理科の各分野や、科学の言語としての数学の基礎的な内容を学びます。さらに、教職の基礎を学びます。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 科学のための数学
- 物理学 IA
- 化学 IA
- 生物学 IA
- 地学 IA

2回生

理科教育の目的とその内容や指導方法を学びます。また、理科の各分野の実験を通して小学校・中学校・高等学校で必要な観察・実験の実践的なスキルを身に付けます。

主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 中等理科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 物理学実験Ⅰ
- 化学実験Ⅰ
- 生物学実験Ⅰ
- 地学実験Ⅰ
- 力学　● 電磁気学
- 無機化学入門　● 物理化学
- 動物科学　● 植物科学
- 気象学　● 天文学

3回生

小学校・中学校・高等学校の教員に必要な資質・能力の向上を図るために、教職と教科の専門性を深めます。また、これまでの学びの成果を教育実習の実践の場で活かすとともに、自らの新たな課題を見出し、今後の学びにつなげます。

主な授業

- 教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等理科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 熱力学
- 反応有機化学
- 生命科学
- 地学野外実習
- 小学校教科専門(英語)

4回生

これまでの学びを振り返り、身についた小学校・中学校・高等学校の教員に必要な資質・能力を確認します。また卒業研究を通して、理科教育の課題や自然界の仕組みを探究できる教員をめざします。

主な授業

- 教職実践演習
- 理科ゼミナールⅠ・Ⅱ
- 卒業研究

● 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

● 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

技術教育コース

めざせ　ものづくり教育の達人

技術教育コースでは、ものづくりについての幅広い教養を身につけると共に、専門的知識や技能と優れた教育実践力や指導力を持ち、生徒たちの創造性や技術的な課題を解決する能力を育成することのできる小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員の養成を目的としています。そのため、教科横断的な教育実践力も含めて、技術に関する専門分野や教科教育法に関する授業を学習者中心に展開しています。

POINT

- 体系立ったカリキュラム
- 少人数教育によるきめ細やかな指導
- 体験的学び（実験・実習）の重視

求める学生像

- 小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員をめざすために必要な基礎学力を有している人。特に数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、物理基礎、物理を履修した人が望ましい。
- 小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員になることを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- ものづくりの好きな人、失敗することを恐れない人
- ものづくりを通して創意工夫することの楽しさを児童・生徒に伝えたいと思っている人

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（技術）
- ◎ 高等学校教諭一種（工業）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

工学に関する基礎科目を学ぶと共に、技術教育を担う教員として必要な各専門分野（木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報）及び技術科教育法（教育の方法）などに関する基礎的な内容を学びます。また、専門科目での実験・実習を通して、技術教育を担う教員として必要な基礎技能を身につけます。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 工学基礎
- 工業数学 A・B
- 木材加工学Ⅰ
- 金属加工学Ⅰ
- 情報基礎
- 技術科内容論

2回生

主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 技術科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 工業科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 木材加工学実習
- 製図Ⅰ・Ⅱ
- 金属加工学実習
- 機械工学Ⅰ・Ⅱ
- 電気工学Ⅰ・Ⅱ
- 電気工学実験
- 栽培Ⅰ・Ⅱ
- 情報基礎実習

● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

3回生

技術教育を担う教員として必要な資質・能力の向上を図るために、教科の専門性を深めると同時に教科教育法ならびに教育実習で実践的指導力を身につけます。さらに、卒業論文を通して技術や技術教育に関する問題を研究し、学校教育の諸課題に対処できる教育力を身につけます。

主な授業

- 教育実習
- 技術科教育法Ⅲ・Ⅳ
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 木材加工学Ⅱ・Ⅲ
- 金属加工学Ⅱ・Ⅲ
- 機械工学実験
- 電子計算機
- 情報処理
- 制御・情報工学
- 電子情報実習
- 職業指導
- 小学校教科専門（英語）

4回生

主な授業

- 教職実践演習
- 技術教育演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

家政教育コース

めざせ　暮らしのプロフェッショナル

家政教育コースでは、ダイバーシティやインクルーシブの視点から今日の多様な生活課題に対応できる問題解決能力を育成するとともに、学校教育において、生活に関わる教科横断・探究学習活動を担える小学校・中学校教員を養成します。そのために、生活に関わる専門的な知識と技能を学びます。

POINT

- 生活に密着した分野の授業科目を数多く開講
- 体験的学び（演習、実習、実験）を重視
- 少人数ゼミ指導による学びの深化

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 家庭科を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（家庭）
- ◎ 高等学校教諭一種（家庭）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

学校教育について学びます。また、高等学校までの学習を踏まえ、家庭科の指導に必要な専門性を持つための基礎を学びます。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 被服学Ⅰ
- 生活経営学Ⅰ
- 住居学Ⅰ
- 保育学Ⅰ

2回生

具体的な教育課題や授業の組み立て方、教科内容について学びます。家庭科指導の中心となる実習を体験的に学びます。

主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 中等家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 調理学実習Ⅰ
- 保育学実習Ⅰ
- 家族関係学Ⅰ
- 被服製作実習Ⅰ
- 食物学Ⅰ（栄養学・食品学を含む）

● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

3回生

学校教育について体験的に学びます。教育実習に備え、また、その成果を生かす学習をします。各々の興味・関心に応じて家庭科の専門性を深めます。

主な授業

- 教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等家庭科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 家庭科基礎演習
- 保育学演習
- 家庭科教育学演習
- 生活研究論Ⅰ
- 被服学実験
- 食物学実験
- 小学校教科専門（英語）

4回生

課題の発見と課題の探究を行い、成果を客観的な立場で他者に伝える意義を学びます。4年間の振り返りを通して、教員としての自律性を育てます。

主な授業

- 教職実践演習
- 家庭科発展演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

保健体育コース

身体を動かす楽しさを児童・生徒に伝えられる教員を育成

保健体育コースでは、保健体育やスポーツに関する広い知識と豊かな教養を持つとともに、小学校、中学校および高等学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科のみならず教科横断・探究学習についての指導力に優れた教員を育成します。また、学校安全や危機管理についての知識や能力を養うとともに、教育データの活用や学習者中心の学習を行うことで、自らが所属するコースにおいて専門分野の学習を深めます。

求める学生像

- ●保健体育を中心に、小学校から高等学校の教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれている人
- ●保健体育やスポーツに興味と関心を強く抱き、運動の最適学習期にある児童・生徒を、その発達段階に応じて適切に指導することに喜びを見いだせる人
- ●高等学校までに履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- ●子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- ●社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

POINT

- ●多種多様な体育・スポーツ種目を経験することが可能である
- ●様々な保健体育やスポーツに関する専門的知識を身につけることが可能である
- ●小学校教員または保健体育教員として教育現場で活躍できる知識・技能を身につけることが可能である

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（保健体育）
- ◎ 高等学校教諭一種（保健体育）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

教員となるための資質を育てる第一歩として、学校教育及び保健体育やスポーツに関わる基礎的事項を講義や実技、実習を通じて学んでいきます。

主な授業

- ●教育総論
- ●教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- ●運動生理学Ⅰ・Ⅱ
- ●衛生学及び公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ
- ●水泳
- ●器械運動
- ●体つくり運動
- ●スポーツ教育原理
- ●スポーツ社会学

2回生

1回生で学んだことを基に、学校教育及び保健体育やスポーツにまつわる知識や経験を身につけていくために、幅広い学びの場があります。

主な授業

- ●学校安全
- ●ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- ●保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ
- ●教職インターンシップⅠ
- ●運動学Ⅰ・Ⅱ
- ●学校保健Ⅰ・Ⅱ
- ●陸上競技　●ダンス
- ●スポーツ心理学
- ●スポーツマネジメント論
- ●体育史　●柔道　●剣道

●初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

3回生

教員になるための学びをより実践的にしていくために、実習・演習等を通じて深めていきます。また、研究室に所属し、より専門的な知識を深めていきます。

主な授業

- ●教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- ●保健体育科教育法Ⅲ・Ⅳ
- ●保健体育学研究各論演習A・B
- ●小学校教科内容（体育）
- ●学校と地域スポーツ
- ●発育発達学
- ●サッカー
- ●バスケットボール
- ●バレーボール
- ●小学校教科専門（英語）

4回生

教員採用試験に向けて取組むことはもちろん、実際に教壇に立つための自覚と自信を育むために、自ら考え、求め、学んでいく姿勢を大切に、4年間の学びをまとめていきます。

主な授業

- ●教職実践演習
- ●保健体育学ゼミナールⅠ・Ⅱ
- ●ハンドボール
- ●ラグビー
- ●テニス
- ●卒業研究

●小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

音楽教育コース

音楽で表現する楽しさや喜びを子どもと共有できる教師

子ども自身が「こんな風に歌いたい」「○○なイメージの音楽にしたい」というように学習者中心の音楽科授業を展開できるような教師の育成をめざします。そのために、音楽教育コースでは実技面と理論面の両側面からアプローチしていき、「誰もが取り組める」というインクルーシブの視点をもった音楽科の授業構成ができるように指導していきます。

求める学生像

- ●高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- ●子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- ●現在の教育に求められている音楽科の学習活動を展開できる能力を身に付けようとする意欲のある人

POINT

- ●教師に求められる実践的指導力が身に付くカリキュラム
- ●音楽科の学習指導に必要な専門的な知識や演奏技能の習得
- ●4年間にわたる学校現場での実践的学修

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（音楽）
- ◎ 高等学校教諭一種（音楽）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

まずは、教育を取り巻くさまざまな現状を把握することが重要になります。そのために、教職についての基礎を学ぶと共に、音楽表現に必要な実技科目および理論科目を通して、音楽教育にかかわる基礎を習得します。

主な授業

- ●教育総論
- ●教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- ●ソルフェージュ
- ●創作表現Ⅰ
- ●演奏基礎（こえ）
- ●ピアノ伴奏法
- ●音楽学Ⅰ
- ●小学校教科内容（音楽）

2回生

1回生で身に付けた内容を踏まえて、教職に関する内容や教科専門の内容をステップアップさせていきます。音楽科教科法の授業も始まり、実際の小中高等学校での音楽科授業にかかわる基礎理論と実践について学びます。

主な授業

- ●学校安全
- ●ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- ●中等音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ
- ●教職インターンシップⅠ
- ●アンサンブル指揮法
- ●演奏基礎（ピアノ）
- ●合奏Ⅰ
- ●演奏表現（こえ）Ⅰ
- ●演奏表現（ピアノ）Ⅰ
- ●音楽教育学

3回生

学びのメインは夏休みに実施される教育実習になります。教育実習では、教科専門および教科教育のそれぞれの授業で身に付けた全ての能力が統合され、実際の授業の中で児童・生徒の学力の育成にどのように生きて働くかが課題となります。また、定期演奏会の企画運営を通して、学校行事等を行う能力を身につけます。

主な授業

- ●教育実習
- ○教科横断と探究学習Ⅱ
- ○教育データの活用Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- ●中等音楽科教育法Ⅲ・Ⅳ
- ●和楽器アンサンブルⅠ
- ●スコアリーディング
- ●音楽学Ⅱ
- ●演奏表現（こえ）Ⅲ
- ●演奏表現（ピアノ）Ⅲ
- ●舞台表現演習（伝統音楽を含む）
- ●小学校教科専門（英語）

4回生

演習を中心としたより実践的な学びを通して、教育実習等で得た課題を解決するための力をつけていきます。それらの学修が、教員採用試験や大学院の入試につながります。また、これまでの学びの集大成となる卒業研究に取り組みます。そこでは、演奏表現や論文執筆を通して自らの課題を一層明確にし、卒業してからの課題をもちます。

主な授業

- ●教職実践演習
- ●音楽教育学研究各論演習Ⅰ・Ⅱ
- ●音楽教育実践演習
- ●合唱指導法（混声）Ⅴ
- ●和楽器アンサンブルⅢ
- ●合奏Ⅴ
- ●卒業研究

●初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

●小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教科教育専攻

美術・書道教育コース

アート×人　美術・書道教育で未来を拓く

美術・書道教育コースでは、表現・鑑賞の活動を通し、子どもの人格形成を図る教育を展開できる教師を育成します。実習や講義により、美術・書道に関する様々な知識・技能を身につけ、教科横断的な学びや、探究学習を取り入れつつ、学習者中心の指導方法を学びます。セミナー合宿、研修旅行など、学年を越えたつながりを大切にし、卒業研究では、専門のゼミに分かれ、4年間の成果を展覧会などで発表します。美術・書道を通し、人と交流し自らの世界を広げ学ぶ力を育てる教育をめざします。

POINT

- 美術・書道の基礎から、実践的な教育、制作、研究へ
- 子どもによりそい感性を豊かに
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 美術・書道分野に関し、小学校・中学校・高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする探究心を持った意欲あふれる人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

取得可能な免許

［美術分野］
- ● 小学校教諭一種　● 中学校教諭一種（美術）
- ◎ 高等学校教諭一種（美術）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

［書道分野］
- ● 小学校教諭一種
- ● 高等学校教諭一種（書道）
- □ 中学校教諭一種または二種（上記に記載した以外の教科）
- □ 高等学校教諭一種（上記に記載した以外の教科）
- □ 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

一般教養と教職入門をはじめとする教職基礎科目を主体としたカリキュラム構成です。幼稚園、小学校、中学校で幼児、児童、生徒の実態や先生の指導方法を観察する実習があります。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎・書法の基礎を学びます。

主な授業

- ●（共通）教育総論
- ●（共通）教職へのとびら
- ○（共通）ダイバーシティと教育
- ○（共通）現代社会と子どもの権利
- ○（共通）多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○（共通）外国人の子どもの理解と支援
- ○（共通）教職のための省察入門
- ●（美術）絵画・彫刻表現基礎 A・B
- ●（美術）デザイン・工芸表現基礎 A・B
- ●（美術）小学校教科内容（図工）
- ●（美術）日本美術史概論
- ●（書道）仮名書法研究 Ⅰ
- ●（書道）楷書法研究 Ⅰ
- ●（書道）小学校教科内容（書写）

2回生

一般教養と教職基礎および教職専門科目を主体としたカリキュラム構成です。図画工作科教育法、美術科教育法、造形の基礎、美術理論、書道理論、書道史を中心に学び、教材研究にも取り組みます。

主な授業

- ●（共通）学校安全
- ●（共通）ICT活用の理論と方法
- ○（共通）教科横断と探究学習 Ⅰ
- ○（共通）教育データの活用 Ⅰ
- ○（共通）ファシリテーターとしての教員 Ⅰ
- ○（共通）学習者中心の授業デザイン Ⅰ
- ○（共通）教職専門性と省察
- ●（美術）美術科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- ●（共通）教職インターンシップ Ⅰ
- ●（美術）絵画・彫刻表現研究 A・B
- ●（美術）絵画・彫刻表現発展研究 A・B
- ●（美術）デザイン・工芸表現研究 A・B
- ●（美術）デザイン・工芸表現発展研究 A・B
- ●（美術）美術理論 Ⅰ
- ●（書道）書道概論 Ⅰ・Ⅱ（書写を中心とする）
- ●（書道）中国書道史
- ●（書道）日本書道史
- ●（書道）行書法研究 Ⅰ・Ⅱ
- ●（書道）草書法研究 Ⅰ・Ⅱ
- ●（書道）仮名書法研究 Ⅱ

3回生

これまでの学びを基に教育実習を行い実践的指導力を身につけます。美術・書道の専攻科目では、専門分野の学びを深めます。また、卒業研究に向けた研究テーマを設定しゼミ形式での研究を始めます。

主な授業

- ●（共通）教育実習
- ○（共通）教科横断と探究学習 Ⅱ
- ○（共通）教育データの活用 Ⅱ
- ○（共通）ファシリテーターとしての教員 Ⅱ
- ○（共通）学習者中心の授業デザイン Ⅱ
- ●（美術）美術科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- ●（書道）書道科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- ●（美術）美術科応用研究 Ⅰ・Ⅱ
- ●（美術）デザイン・工芸史
- ●（美術）コミュニティとアート
- ●（書道）漢字作品制作 Ⅰ・Ⅱ
- ●（書道）仮名作品制作 Ⅰ・Ⅱ
- ●（書道）書鑑賞論
- ●（書道）書道研究基礎 Ⅰ・Ⅱ
- ●（共通）小学校教科専門（英語）

4回生

3回生で設定したテーマにもとづき卒業研究を進めます。教職実践演習を通して、教職に対するこれまでの学びを振り返り、それぞれの課題に応じ必要な力を伸ばします。卒業研究の成果は、卒業制作展などで発表されます。

主な授業

- ●（書道）教育実習
- ●（共通）教職実践演習
- ●（美術）美術科発展研究 Ⅰ・Ⅱ
- ●（書道）実用書式の研究
- ●（書道）書道自由研究 Ⅰ・Ⅱ
- ●（共通）卒業研究

●（共通）初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

●（共通）小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

特別支援教育専攻

多様な特別なニーズのある子どもたちに対応できる特別支援教育の専門性

本専攻では、特別支援学校及び通常の学校における特別支援教育への高度な専門性を有する教員を養成するため、①多様な障がいのある子どもの教育に対する高度な知識・能力を培い、②障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学び育つ授業やクラスづくりの専門性を育み、③豊富なインターンシップや教育実習により、特別支援教育の実践力を高めていきます。

POINT

- 視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、発達障がいの6つの障がい領域の専任教員による日本有数の特別支援教育の専門性を有する教員を養成
- 視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱5領域の教員免許状を取得
- 現場経験のある豊富なスタッフによる教員採用試験対策等の就職支援の結果、全国の特別支援学校教員や小学校教員等として就職し活躍

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 特別支援教育に必要な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 障がいのある子どもの成長に関わることへの関心があり、特別支援教育の専門性を有する教員に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

取得可能な免許

- ● 小学校教諭一種　●特別支援学校教諭一種（視・聴・知・肢・病）
- □ 中学校教諭一種または二種
- □ 高等学校教諭一種

● 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
□ 取得をめざすことができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

新入生を対象とした講義が用意され、4年間を過ごす仲間や教員と共に特別支援教育についての基礎を学びます。また小学校での教職入門実習で通常の学校で学ぶ子どもの教育を実際に学びます。

主な授業

- ●教育総論
- ●教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- ●特別支援教育総論
- ●手話学習の基礎
- ●点字指導法
- ●インクルーシブ教育システム基礎論

2回生

6つの障がい種のいずれかのコースに所属し専門性を高めます。また、所属コース以外の障がい種の講義を受講することで、特別支援学校教諭一種免許状にはすべての障がい種を付記できます。特別支援学校インターンシップでは特別支援学校で障がいのある子どもの教育を実際に学びます。

主な授業

- ●学校安全
- ●ICT活用の理論と方法
- ○教科横断と探究学習 Ⅰ
- ○教育データの活用 Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員 Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザイン Ⅰ
- ○教職専門性と省察
- ●特別支援学校インターンシップ
- ●視覚障害教育　●聴覚障害教育
- ●知的障害教育
- ●肢体不自由教育
- ●病弱教育　●発達障害教育
- ●特別支援教育コーディネーター基礎論

3回生

小学校と特別支援学校での教育実習をそれぞれ3週間行い、幅広く高度な実践力を培います。またゼミに所属し、自分の興味・関心のあるテーマについて小人数で議論しながら、見識・知見を深めていきます。

主な授業

- ●教育実習
- ○教科横断と探究学習 Ⅱ
- ○教育データの活用 Ⅱ
- ○ファシリテーターとしての教員 Ⅱ
- ○学習者中心の授業デザイン Ⅱ
- ●特別支援教育実践論
- ●障害児のキャリア教育
- ●知的障害者の心理・生理・病理
- ●肢体不自由者の心理・生理・病理
- ●病弱者の心理・生理・病理
- ●視覚障害心理
- ●聴覚障害心理
- ●小学校教科専門（英語）

4回生

特別支援教育専攻独自の教員採用試験（筆記試験・面接試験）対策講座に参加し、「教採合格」をめざします。ゼミでは、各自の興味・関心に基づき、卒業論文を指導教員の個別指導を受けながらまとめていきます。

主な授業

- ●教職実践演習
- ●視覚障害指導論
- ●聴覚障害指導論
- ●知的障害指導論
- ●肢体不自由指導論
- ●病弱指導論
- ●発達障害指導論
- ●ユニバーサルデザイン授業論
- ●卒業研究

●初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）

●小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

小学校教育（夜間）5年専攻

都市型キャンパスで学校現場が求める優れた実践力を身に付ける

小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題（ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力）などに対応する能力と共に、昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動などの豊富な経験を活かした、豊かな人間性と社会性を備えた現場実践力の高い小学校教員を養成します。

小学校教育についての知識及び技能を身に付け、小学校教育に関する最先端の知見や指導力を備えた教員を養成します。

POINT

- 昼は学校、夜は大学
- 何でも学ぶ、広く学ぶ
- アットホームな仲間たち

求める学生像

- 小学校教育について、強い関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 小学校教員をめざすために、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

取得可能な免許

- 小学校教諭一種
  - 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。

5年間の学びの流れ

1回生

「教職へのとびら」や教養教育科目を通して、大学での学びの基礎を築きます。「教職のための省察入門」で小学校を訪問します。

主な授業

- 教職へのとびら
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科）

2回生

「教育総論」や学校インターンシップ科目、小学校教科専門科目により、教育や授業づくりの基礎を学びます。

主な授業

- 教育総論
- ○教科横断と探究学習Ⅰ
- ○教育データの活用Ⅰ
- ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- ○学習者中心の授業デザインⅠ
- ○教職専門性と省察
- 初等教科教育法（生活）
- 学校インターンシップ体験
- 小学校教科専門（生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

3回生

教育・実習実践系列科目や教科教育系列科目により、教育や授業づくりに関する知を深め，実践に備えます。

主な授業

- ○学習者中心の授業デザインⅡ
- 初等教科教育法（国語、社会、理科、図画工作、英語）
- 小学校教科専門（英語）
- 教育学研究 Ia・Ib
- 学校インターンシップⅠ
- ものづくり教育研究 a・b
- 社会科学習指導研究 a・b
- 数学・数学教育研究 a・b
- 理科の実験 Ia・Ib
- 学校保健学 a・b
- 生活科学 a・b

4回生

「教育実習」や学校インターンシップを通して、学校での実践力を高めます。「卒業研究」に向けて希望する専門の授業を受講します。

主な授業

- 学校安全 a・b
- 総合的な学習の時間の指導法
- 教育実習Ⅰ
- 初等教科教育法（算数、音楽、家庭、体育）
- 教育学研究 IIa・IIb
- 心理学研究法 a・b
- 学校インターンシップⅡ
- 学習指導研究 a・b（国語科、英語科、音楽科、図画工作科、体育科）
- 理科の実験 IIa・IIb

5回生

「教育実習」や「教職実践演習」などを通して、小学校教員としての資質能力を養います。また「卒業研究」を通して、学校教育の諸課題を探究します。

主な授業

- 教育実習Ⅱ
- 教職実践演習
- 課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

養護教諭養成課程

学校保健の中心的役割を担う養護教諭

養護教諭養成課程では、教育学の基礎の上に、医学・看護学・養護学など、幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え、健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように、様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため、幅広い教養教育の基礎の上に立って、各専門分野の学習を深めるとともに、臨床（病院）実習、養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

POINT

- 養護教諭として、幅広い教養と高い専門性を身につける
- 養護教諭として、子どもの心身の健康を支援する実践力を高める
- 養護教諭として、様々な教育課題に対応する実践力を身につける

求める学生像

- 養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれた人
- 養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

※生物、化学を入学までに学習していることを前提として講義を行う

取得可能な免許

- 養護教諭一種
  - 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

教養教育科目と教職専門・フラッグシップ科目を通して、教職の意義、教職への動機づけ、さらに、学校教育における今日的課題について関心を深める。また、特別な配慮や支援を必要とする子どもについて理解し、支援についての基礎的知識を修得する。養護専門科目を通して、養護教諭として、からだの構造・機能、子どもの発育・発達に関する基礎的知識を修得するとともに、子どもの健康の保持増進を考えていく上で必要不可欠な基本的理念・知識を体系的に理解する。

主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- 発達と学習の心理学
- 特別支援教育の基礎
- ○ダイバーシティと教育
- ○現代社会と子どもの権利
- ○多様な子どもとインクルーシブ教育
- ○外国人の子どもの理解と支援
- ○教職のための省察入門
- 学校保健
- 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ
- 小児保健

2回生

教職基礎・専門科目を通して、人権侵害や差別の現状、道徳教育の理論・指導法、子どもの生活背景について理解し、学校の役割と経営についての基礎的知識を修得するとともに、今日における生徒指導上の諸問題に関する理論的・実践的な認識を身につける。また、学校安全や危機管理についての基本的事項を理解する。養護専門科目を通して、健康診断、保健指導、保健室経営等における養護教諭として必要な指導力の基礎を養う。子どもの援助と指導に関して、看護学・精神保健学の基本的理論と技法・技能を修得する。

主な授業

- 人権教育の基礎
- 学校の役割と経営
- 学校安全
- 道徳教育論
- 生徒指導論
- ○教職専門性と省察
- 教職インターンシップⅠ
- 養護概説
- 養護活動実習
- 看護学Ⅰ
- 精神保健学

3回生

教職専門科目を通して、特別活動及び総合的な学習や探究の時間の指導法についての基礎的知識を修得する。心理学の基礎的な理論や教育相談などの技法を理解する。養護専門科目を通して、専門的資質・能力を高める。健康相談の知識・技能を修得する。救急処置実習・臨床実習を通して、実践的な更なる技能の向上を図り、養護実習の履修前に知識・技能を深める。養護実習を行い学校現場における経験を踏まえ、学修成果と今後の課題を再認識する。

主な授業

- 特別活動論
- 教育相談の理論と方法
- 養護実習
- 養護学Ⅰ
- 健康相談活動（カウンセリング論）
- 看護学Ⅱ
- 救急処置実習
- 臨床実習

4回生

養護教諭になるために必要とされる養護専門科目の履修と卒業研究を通して、更なる深い専門的知識と技能を修得する。4年間の集大成として、養護教諭として必要な知識・技能全体について到達点と課題を確認し、課題克服に努め、養護教諭としての資質・能力を確実なものとする。

主な授業

- 教職実践演習
- 養護教育演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

教育協働学科

教育心理科学専攻／健康安全科学専攻／理数情報専攻
グローバル教育専攻／芸術表現専攻／スポーツ科学専攻

地域と協働し、多様な教育課題を解決する人材へ

●POINT

総合的な教養に加え、教育マインドと専門性の高い能力を身につけ、学校を取り巻く地域や社会を含む「チーム学校」の中心メンバーとなる人材を育成。教育的な視点から学校・家庭・地域・社会と連携協働し、多様な教育課題の解決を図れるような人材の育成をめざします。

●学科内容

教育や福祉、心理、健康生活、学校安全、自然科学、数理科学、情報、人文社会、国際文化、芸術、スポーツなど、多分野の専門的な知識と技能を身につけます。

教育心理科学専攻では、チーム学校の活動の基礎となる教育学や心理学など、専門知識を身につけた教育、心理、福祉のコーディネーターを養成します。健康安全科学専攻は、科学的な手法で社会の安全を守る健康、生活、安全のスペシャリストを養成します。理数情報専攻は、数理情報コースと自然科学コースに分かれ、データに基づき科学的に評価・分析する能力などを養い、統合的な教育理系人材を養成します。グローバル教育専攻は、英語コミュニケーションコースと多文化リテラシーコースに分かれ、高度な言語スキルと広い視野を身につけ、グローバル時代の教育を支える国際人を養成します。芸術表現専攻は音楽表現コースと美術表現コースに分かれ、芸術創造についての理解を深め、学校や地域社会と協働して新たな教育領域と社会文化活動の創生に参画できる芸術表現者の育成をめざします。スポーツ科学専攻は、専門性の高いスポーツ技術と指導力を身につけ、子どもたちの育成・指導といった課題を中心として、現代教育を理解した指導者の養成をめざします。

▼柏原キャンパス

教育協働学科	教育心理科学	
	健康安全科学	
	理数情報	数理情報
		自然科学
	グローバル教育	英語コミュニケーション
		多文化リテラシー
	芸術表現	音楽表現
		美術表現
	スポーツ科学	

教育的な視点から、学校や地域社会と連携し、社会に貢献する人を育てる。

【 教育協働学科がめざす人材育成 】

多様性理解

社会における人種・宗教・歴史・文化・ジェンダー・年齢・価値観等の多様性を理解・尊重し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身につける。グローバル時代における多様な課題を解決するために能動的に行動ができる。

協働力

社会のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる。他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や、課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を持つ。

専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力を有し、主体的に物事を考え、専門的知識・技能を活用した行動ができる。

イラスト協力：大阪教育大学大学院 芸術文化専攻 2019年修了　鈴木 なるみ

◆教育協働学科　教育心理科学専攻　カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身につけることができるかを表しています。
以下は、教育協働学科教育心理科学専攻の事例です。各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載しています。

Diploma Policy	1回生	2回生	3回生	4回生
教育協働実践力	専攻共通科目 ●心理学概論 ●社会福祉学概論 ●生涯学習概論	専攻共通科目 ●チーム学校と教育支援 ●スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論	プロジェクト演習科目 ●教育心理科学プロジェクト演習A ●教育心理科学プロジェクト演習B	
専門的知識・技能	専攻分野科目 ●人体の構造と機能及び疾病	専攻分野科目 ●心理学研究法 ●生涯教育学研究法 ●生涯教育実践研究Ⅰ ●心理学実験 ●心理学統計法 ●社会教育経営論Ⅰ ●生涯教育基礎論Ⅰ ●生涯教育基礎論Ⅱ ●若者の社会参加と生涯学習 ●高齢化と社会教育 ●図書館情報技術論 ●図書館サービス概論 ●国際化と成人教育 ●メディア文化論 ●生涯教育と高等教育 ●図書館情報資源概論 ●図書館情報資源特講 ●図書館情報学概論 ●学校図書館サービス概論 ●精神疾患とその治療 ●発達心理学 ●教育・学校心理学 ●神経・生理心理学 ●学習・言語心理学 ●知覚・認知心理学 ●感情・人格心理学 ●臨床心理学概論 ●子ども家庭福祉	専攻分野科目 ●生涯教育実践研究Ⅱ ●社会教育経営論Ⅱ ●学校・青少年問題と社会教育 ●社会教育課題研究 ●生涯学習支援論Ⅰ ●生涯学習支援論Ⅱ ●図書館情報学特講 ●図書館制度・経営論 ●情報サービス概論 ●情報サービス演習Ⅰ ●情報サービス演習Ⅱ ●情報資源組織概論 ●情報資源組織演習Ⅰ ●情報資源組織演習Ⅱ ●図書館史 ●児童サービスと資料 ●心理学的支援法 ●心理的アセスメント ●健康・医療心理学 ●社会・集団・家族心理学 ●福祉心理学 ●司法・犯罪心理学 ●産業・組織心理学 ●関係行政論 ●障害者・障害児心理学 ●公認心理師の職責	専攻分野科目 ●教育心理科学演習Ⅰ ●教育心理科学演習Ⅱ ●心理演習 ●心理実習 ●社会教育実習 卒業研究
協働力				
教育理解	協働共通科目 ●教育協働概論Ⅰ ●教育協働概論Ⅱ 教育基礎科目 ●教育基礎セミナー　●発達と学習の心理学 ●教育総論　●ダイバーシティと教育 ●現代社会と子どもの権利 ●多様な子どもとインクルーシブ教育 ●外国人の子どもの理解と支援 ●特別支援教育の基礎	協働共通科目 ●地域社会と協働 ●教育協働実践デザイン演習 教育基礎科目 ●学校の役割と経営　●学校安全 ●現代社会と教育　●教育データの活用Ⅰ	●教育コラボレーション演習 ●外国語実践演習（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語） 教育基礎科目 ●教育データの活用Ⅱ	
豊かな教養と広い視野	基盤教養科目（思索と芸術、国際と地域、歴史と社会、人間と社会、生命と環境、数理情報と自然、教育とキャリア、多様性と共生社会）			
	導入科目・グローバル教育科目・体育科目・情報活用科目			

＋ 教育職員免許状の副免許状及びその他の資格を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格の取得に必要な科目の単位を併せて修得する

教育協働学科

教育心理科学専攻

生涯教育学、心理学や社会福祉学、幅広い知識と専門力

教育心理科学専攻は、生涯教育学、心理学、社会福祉学といった専門諸科学を基盤とし、人間と社会のかかえるさまざまな課題を科学的に理解し、実践的にかかわることを通して、すべての人々が豊かで充実した社会生活を実現することをめざした共生社会の発展に貢献しようとする人材の養成を目的とします。そのため、「チーム学校」の中で教育活動を直接的に支援する専門性を有した「教育支援人材」を養成するとともに、家庭や企業など社会のあらゆる領域や場面でおこなわれる教育・学習活動を広く支援・主導し、教育活動の創生ができる「教育協働人材」を養成します。

求める学生像

- 生涯教育学や心理学、社会福祉学に関心をもつ人
- 高等教育レベルの生涯教育学、心理学、社会福祉学の学習に必要な基礎学力をもつ人
- 論理的に思考し、考えたことを他者にわかるよう明確に表現することができる人
- 将来、学校、家庭、地域社会における教育・学習活動を支援する仕事に就きたいと考えている人
- 図書館司書資格、社会教育士や社会教育主事任用資格を取得したい人

POINT

- 生涯教育、心理学、社会福祉学を関連づけて学ぶ
- 教育問題を多面的・重層的にとらえる視点を学修し、教師や他の専門職・地域住民とも協働し新しい時代の教育活動を担う「チームとしての学校」の実現に寄与する教育協働人材を育成する
- 専門的な資格取得をめざす

取得可能な資格等

◎ 社会教育士（養成課程）、社会教育主事任用資格
◎ 図書館司書　　◎ 公認心理師（受験資格）※

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる。
また臨床心理士や社会福祉士など、より高いレベルでの資格の取得を支援します。
※受験資格を取得するためには、卒業後に実務経験又は大学院への進学が必要です。
※実習・演習科目については、実習施設等の都合により受講制限を行う場合があります。

◎ 教員免許は取得できません。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」で大学での学びの基礎となるスキルを修得し、「生涯学習概論」「心理学概論」「社会福祉学概論」で各領域の基礎を体系的に身につけます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 生涯学習概論
- 心理学概論
- 社会福祉学概論

2回生

多くの専門科目が開講されます。現在の関心や将来の進路を見据えて必要な科目を選択して履修します。また「チーム学校と教育支援」「スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論」では現在学校で行なわれている協働の実際を理解します。

主な授業
- 学校安全
- チーム学校と教育支援
- 生涯教育実践研究Ⅰ
- スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論
- 生涯教育学研究法
- 心理学研究法
- 図書館情報学概論
- 心理学実験

3回生

引き続き多彩な専門科目を履修します。また「教育心理科学プロジェクト演習 A・B」では、これまでに身につけた知識を用いてプロジェクトテーマをみずから考え、研究と実践をおこないます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 教育心理科学プロジェクト演習 A・B
- 生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ
- 情報サービス概論
- 心理学的支援法
- 心理的アセスメント

4回生

「教育心理科学演習Ⅰ・Ⅱ」は本専攻の特徴である少人数でのゼミ形式で進められ、そのなかでみずから考えたテーマに沿って研究計画を作成し、4年間の学びの集大成として卒業研究を完成させます。

主な授業
- 教育心理科学演習Ⅰ・Ⅱ
- 社会教育実習
- 心理演習
- 心理実習
- 卒業研究

【 学びの特長 】

教育心理科学専攻は、生涯教育学、心理学、社会福祉学の連携・統合を示すために個性ある人間の心理を理解し、それに合った望ましい方向に発達するための支援や指導について基礎から専門まで修得できます。

卒業後の進路については、大学院への進学、教育・心理・人材育成系の企業・公務員・団体職員、社会福祉系企業・施設、企業の人事管理・人材育成部門、教育サービス企業など幅広い選択が可能です。

教員からのメッセージ

教育には関心があるけど教員になりたいわけではない貴方に、生涯教育・心理・社会福祉を相互に関連づけながら支援や協働のありかたを学ぶことのできる教育心理科学専攻はオススメです。
（教育心理科学部門　石橋 正浩）

社会教育関係の資格等が取得できるので、公務員や民間教育産業を志望している人にはお勧めです。
（教育心理科学部門　出相 泰裕）

教育協働学科

健康安全科学専攻

科学的な手法により社会の安全を支える

子どもたちを健康で安全に育む教育環境は、様々な教育活動の基盤となる要素であり、今日の複雑な社会の中で、安全・安心、健康な教育環境づくりへの要望が高まっています。一方、健康と安全に関わる諸課題は社会の発展に伴い、ますます複雑化・多様化していることから、健康で安全な教育環境を幅広い視野で構築できる創意工夫に富んだ人材の育成が必要です。

本プログラムでは、学校の安全、心身の健康と安全、食の安全と衛生、地域の安全等、教育環境を巡る安全・安心、健康の諸課題を科学的に捉える力と諸課題に対応できる応用力を持ち、学校、地域住民組織、企業、自治体、NPO などの多様な場において、健康で安全な教育環境の構築に貢献できる人材を育成します。

求める学生像

- 健康で安全な教育環境の諸課題に対し、強い関心と問題意識を持つ人
- 学校の安全、心身の健康と安全、食の安全と衛生、地域の安全等について、専門分野を横断して幅広い視野で学ぶ姿勢を持っている人
- 学校の安全、心身の健康と安全、食の安全と衛生、地域の安全等、教育環境を巡る安全・安心、健康の諸課題を科学的に捉える力と専門的知識を身につけたい人
- 学校および地域の多様な組織と協働し、健康で安全な教育環境の推進に貢献したい人

POINT

- 大阪教育大学ならではの安全教育をしっかりと学ぶことができます
- 安全、健康、生活の幅広い分野の学びから、最も適性のある進路を選べます
- 安全、健康、生活の実践力を身につけるために、きめ細かい指導を行います

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（家庭）　◎ 養護教諭一種
◎ 高等学校教諭一種（家庭）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

安全と健康および生活に関わって、どのような課題があるのかを幅広く学ぶとともに、「ICT基礎a・b」や「教育基礎セミナー」などを通して大学生としての基礎的な学力を身に付けていきます。

主な授業

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育のための健康と安全
- 自然災害教育論
- 安全教育学
- 健康な生活を考える
- 解剖生理学
- 住環境学
- 健康食生活論
- 安全デザイン論

2回生

学校の安全、心身の安全、健康、生活に関わる諸課題を科学的に捉える力を身に付けます。また、実習や演習を含む科目もはじまり、諸課題に対応できる応用力を広げていきます。

主な授業

- 学校安全
- 安全管理基礎論
- 救急処置法
- 衛生学・公衆衛生学
- 健康管理学
- 疫学・保健統計学
- 健康運動学
- 住環境と安全
- 健康調理実習
- 安全行動学
- 安全教育実践演習

3回生

「健康安全協働プロジェクト演習A」や「健康安全科学実習」を通じて、安全、健康、生活に関わる諸課題を自ら発見し、対応する力を身に付けます。同時に専門的な知識を深め、卒業研究につなげていきます。

主な授業

- 教育コラボレーション演習
- 健康安全協働プロジェクト演習 A
- 健康安全科学実習
- ヘルスプロモーション論
- 安全情報学
- 環境保健学
- 免疫学
- 薬理学
- 住環境デザイン演習

4回生

「健康安全協働プロジェクト演習B」によって、安全、健康、生活に関する研究の視点や研究手法を探求し、卒業研究に取り組みます。

主な授業

- 健康安全協働プロジェクト演習B
- 健康生化学
- 産業保健と法律 A・B
- 卒業研究

【 学びの特長 】

健康安全科学専攻では、「教育のための健康と安全」「安全教育学」「救急処置法」などを選択必修科目として履修し、学年進行とともに『安全』、『健康』、『生活』の3領域の専攻分野科目を積み重ねて行きます。専攻分野科目には実習や演習の授業科目が豊富に開講されており、体験的で主体的な学びができます。3年次には卒業研究に向けて、安全、健康、生活の8研究室に別れた少人数のゼミもはじまります。

安全、健康、生活に関わる横断的な専門知識を活かし、自治体職員として健康で安全な教育環境づくりでの活躍、民間企業のCSRや安全衛生教育部門での活躍などが期待されます。

各専門分野の研究を深めるために大学院へ進学するほか、安全、健康、生活の知識をもった教育者として活躍する進路もあります。

教員からのメッセージ

「健康」と「安全」、ともに紡ぎ合わせることで、私たちは豊かな生活を送ることができます。この専攻では、健康と安全の両分野での経験豊富な教員の下、健康科学、生活科学、安全科学の3つのサイエンスにおいて、幅広い視野からの学習、研究をすることが可能です。学際性豊かな知識と技術、経験を身に着けて、人間性豊かな、そして社会から必要とされる人材を育てます。家庭科教諭または養護教諭の何れかの免許も取得可能です。高校までとはまた違う“教育・研究”の環境の中で、共に歩んでいきましょう。

（健康安全科学部門　後藤 健介）

教育協働学科

理数情報専攻

数理情報コース／自然科学コース

統合的な教育理系人材を養成

移り変わる現代社会を生き抜くために、様々な事象・現象に対する科学的な考え方が重要となっています。従って、それを指導・支援できる理系人材育成が、これからの教育・社会活動に不可欠です。本専攻では自然科学・数理科学・情報科学の専門知識に加えて、理解力・思考力・データ分析技能・コミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成します。

さらに、その技術・能力・方法論を学校現場を含む社会における教育・指導活動にフィードバックすることで、チーム学校を含む社会の中で学び続けることができる人材の育成をめざします。

求める学生像

- 教育現場、企業で必要な理数情報的な能力を身につけたい人
- 未知の現象を探求し、その社会的意義を説明する意欲を持つ人
- 学校をとりまく理系の教育支援活動に興味がある人
- 自然科学・数理科学・情報科学の有効な活用にアイディアを持つ人
- 科学技術・データサイエンスの知識を活かして社会に貢献したい人

教員からのメッセージ

数理情報コースでは、「数理科学」と「情報科学」が学べます。どちらの学問にも大事な論理力、とりわけ定義力・推論力を身につけることを目標としています。数学が大好きな人、コンピュータが大好きな人、論理パズルが大好きな人、ぜひ、本コースに来て下さい。あなたの興味のある専門分野について、深く研究できます。

（理数情報部門　町頭 義朗）

これからの科学技術の発展を担う人材、そしてその人材を育てるための教育指導には、専門知識はもちろん、その知識を活かした発想力、そして、他人にわかりやすく伝える能力が求められています。自然科学コースでは、科学各領域の基礎知識と同時に、上記の能力を身につけてもらい、教育界はもちろん、社会を支える人を育てていきます。ぜひ、本学に入学して頂き、次の時代を担う人材となってください。

（理数情報部門　串田 一雅）

数理情報コース

数学の基礎から応用を学びながら、論理的・抽象的思考を深める。

移り変わる現代社会を生き抜くために、様々な事象・現象に対する数理科学・情報科学的な考え方が重要です。特に数学で得られる真理は不変なものであり、生き抜くための拠り所となっています。本コースでは、数理科学・情報科学の専門知識に加えて、定義力・推論力を中心とする論理力を兼ね備えた人材を育成します。

POINT

- 数学・情報科学の専門的な知識を身につける
- 数学・情報科学の応用実践力を身につける
- 数学・情報科学の教育マインドを身につける

求める学生像

- 教育現場、企業で必要な論理力を身につけたい人
- 未知の現象を数理科学的に考察するとともに、コンピュータを使って解析し、社会に貢献したい人
- 学校をとりまく理系の教育支援活動に興味がある人
- 数理科学・情報科学の有効な活用にアイディアを持つ人
- 数学やデータサイエンスの知識を活かして人類の未来に役立てたい人

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（数学）　◎ 高等学校教諭一種（数学）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」等により論理的な思考力を養います。また、「解析学基礎」「代数学基礎」「情報処理演習」などを通じて、数理科学および情報科学の初歩を学びます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 数理科学教育と社会
- 情報科学教育と社会

2回生

数学の各分野（代数学・幾何学・解析学・確率論・応用数学）の基礎を学び、「プログラミング演習」によりコンピュータを自由自在に活用する実践力を修得します。

主な授業
- 学校安全
- 教育協働実践デザイン演習
- 科学教育と情報
- プログラミングとグループワークⅠ・Ⅱ

3回生

数学の各分野を深く学び、演習を通して、様々な問題を論理的に解決できる力を身につけます。また、各種の情報システムについて、基礎から実践応用まで幅広く学びます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- 数理探究
- 応用数理Ⅰ・Ⅱ
- ロボット教材とプログラミングA・B

4回生

「プロジェクト演習」により、情報化社会の問題解決と革新に取り組みます。卒業研究においては、少人数のセミナー形式で洋書を読むなどして、様々な教育の場で活躍できるよう、個々の力を伸ばします。

主な授業
- 数理情報プロジェクト演習 AB
- 卒業研究

自然科学コース

自然科学の幅広い知識を学ぶ

自然科学コースでは、自然科学全般にわたって能動的に学ぶことができる演習や実験が数多く開講されています。

POINT

- 自然科学の専門的な知識を身につける
- 自然科学の知識・手法を用いた課題解決能力を身につける
- 自然科学の教育マインドを身につける

求める学生像

- 自然の未知の現象を実験により探究し、その科学的および社会的意義を見出す意欲のある人
- 自然科学の実験が好きで、幅広い科学知識を身につけて広く社会で活躍したい人
- 教育現場や企業で必要な科学的能力を伸ばしたい人
- 学校をとりまく教育支援活動のうち、自然科学や環境に関することに興味がある人

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（理科）　◎ 高等学校教諭一種（理科）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「物理科学基礎」や「物質化学基礎」、「生命科学実験Ⅰ」、「自然システム実験Ⅰ」などの講義と実験により、自然科学の基礎・基本を修得します。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 科学リテラシーと社会
- 物理科学基礎
- 物質化学基礎
- 生命科学実験Ⅰ
- 自然システム実験Ⅰ

2回生

さらに、自然科学各分野の概説等により自然科学の基礎を学び、各分野の「サイエンス実験教材開発」により、自然科学実験の考え方を修得します。また「固体地球科学」などにより各領域の専門を修得し始めます。

主な授業
- 学校安全
- 教育協働デザイン演習
- サイエンスコミュニケーション概論
- サイエンス実験教材開発
- 初等量子論
- 基礎物理化学
- 分子遺伝学
- 固体地球科学

3回生

「量子物理学」や「有機物質化学」、「集団生物学」などにより各専門領域を修得するとともに、「教育コラボレーション演習」や各領域の「実験デザインプロジェクト」で、その活用力も養います。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 科学教育プロジェクト演習 A
- 物理科学実験Ⅱ
- 有機物質化学
- 集団生物学
- 地学実験デザインプロジェクト

4回生

少人数での研究室分属による「卒業研究」や「科学教育実践演習」で研究手法や実践力をしっかりと養います。

主な授業
- 科学教育プロジェクト演習 B
- 卒業研究

教育協働学科

グローバル教育専攻

英語コミュニケーションコース
多文化リテラシーコース

グローバル時代の教育を支える国際人

グローバル教育専攻では、英語、その他の言語によるコミュニケーション能力、人文社会学系学問に基盤を置く文化的リテラシー、教育に関わる学際的な関心に立脚する教育マインド、および、多様な他者と豊かに共生できる素養を身につけ、グローバル化が進展する社会において、学校や地域と協働して新たな教育領域と教育活動の創生ができる人材の育成をめざします。

教員からのメッセージ

The English Communication program aims to foster globally-minded graduates who will be prepared to function both locally and on the world stage. The core courses focus on communication, writing, linguistics, US area studies - some taught in English - and the literature of the English-speaking world.
In an increasingly interconnected world, students in the English Communication program have the opportunity to meet and interact and learn with a wide variety of people.
（グローバル教育部門　Robert Sanborn Brown）

情報を媒介するという点で文学作品も一つのメディアだと言えますが、古典的な傑作とされる文学作品が伝達する情報は、百年、千年単位の時間のなかで意味を生成し続けます。瞬時に消えゆくのではなく、長い時間に耐えうる情報を高度に組織化し得るのが文学作品というメディアだと言えるでしょう。だからその仕組みを解き明かす文学研究は、狭い学問領域を越えて、今必要とされる高度な情報リテラシーを養う方法論でもあります。（グローバル教育部門　石橋 紀俊）

英語コミュニケーションコース

英語、コミュニケーション能力、人文社会学系学問に基盤を置く文化的リテラシー、教育に関わる学際的な関心に立脚する教育マインド、および、多様な他者と豊かに共生できる素養を身につけ、グローバル化が進展する社会において、学校や地域と協働して新たな教育領域と教育活動の創生ができる人材の育成、特に、グローバルに通用する英語コミュニケーション能力と英米的な自由な発想による創造性・論理性・積極性の育成を行います。

POINT

- 高度な英語コミュニケーション能力を身につける
- 自由な発想にもとづき世界に通じる問題解決能力を身につける
- 学校、グローバル社会、地域と連携して教育・学習を支援する力を身につけます。

求める学生像

- 高度な英語のスキルと広い視野を身につけ、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む人
- 英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む人

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（英語）　◎ 高等学校教諭一種（英語）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「Speech Communication in English」など10の専門科目で高度な英語４技能を身につけ、グローバル社会を視点に入れた英語学習法を習得し、TOEFL®などの英語能力測定試験にもチャレンジし、交換留学の基盤を作ります。「英語Ia、Ib」や「English World」で、さらに英語力をみがきます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育協働概論 I・II
- グローバル教育概論
- Professional English

2回生

英語学、英米地域研究、英米文学の基礎について英語文献を使って学びます。英語ネイティブスピーカー教員が担当する「外国語コミュニケーション」でSpeaking力をみがきます。TOEFL®に再チャレンジし、交換留学の準備をします。

主な授業
- 学校安全
- 教育協働デザイン演習
- グローバル言語学入門
- Introduction to UK and US Area Studies I・II
- Introduction to English Linguistics I・II

3回生

英語ネイティブスピーカーの専任教員が担当する授業で、英語での学術論文の書き方を習得します。「外国語実践演習」で、英語の４技能をさらに向上させます。「教育コラボレーション演習」では、これまで身につけた英語力や留学での体験を学校や地域との協働に役立てる実際の経験をします。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- Global Communication I・II
- American Area Studies I・II
- British Literature Study

4回生

「English and Education Project Seminar」で、少人数のゼミにより、課題発見能力と問題解決能力を身につけます。英語で卒業論文を執筆することにより、高度なWriting能力を習得します。

主な授業
- English and Education Project Seminar A・B
- 卒業研究

多文化リテラシーコース

優れたコミュニケーション能力を基礎に、人文社会学系学問を中心とした文化的リテラシー、教育に関わる学際的な関心に立脚する教育マインド、および、多様な他者と豊かに共生できる素養を身につけ、グローバル化が進展する社会において、学校や地域と協働して新たな教育領域と教育活動の創生ができる人材を育成します。

POINT

- 多様な視点から教育を考えます。
- 多様なコミュニケーションの方法を学びます。
- 日常的に多文化と交流します。

求める学生像

- 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む人
- グローバル化する社会が抱える課題に対して、多文化理解力とコミュニケーション能力を活用して、企業、地域、自治体などと連携・協働をすすめながら課題解決に取り組むことを望む人
- 多様な言語と文化について理解を深め、優れたコミュニケーション能力を基礎にしながら特色ある国語教育に関わろうとする人

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（国語）　◎ 高等学校教諭一種（国語）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」などにより、人文学的な考え方の基礎を学び、教育につなげます。経済、歴史、文学・言語、芸術という4つの分野のグローバル文化論により、様々な学問分野から学際的に文化を考える基礎を得ます。また、「Basic European Language」、「中国文学入門」などで、ドイツ語、フランス語、中国文学の基礎を固めます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育協働概論 I・II
- グローバル教育概論
- 多文化リテラシー入門

2回生

日本語、日本文学、中国の言語文化、経済、歴史、ヨーロッパの言語文化などに関する人文学諸分野の「研究」科目や「プロジェクト演習」科目での学びや議論を通して、文化理解、教育理解のための知識や研究手法を修得します。

主な授業
- 学校安全
- 教育協働デザイン演習
- 多文化フィールドワーク
- グローバル社会入門
- 日本語教育概論 A・B

3回生

日本語、日本文学、中国の言語文化、経済、歴史、ヨーロッパの言語文化などに関する「研究」科目や「プロジェクト演習」科目を通して、二回生までに得た学識をさらに深め、文化研究の技法を身に付けるとともに、様々な教育的課題や社会的課題に応用可能な汎用的実践力を修得します。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- 日本語学演習
- 国際教育比較プロジェクト A・B

4回生

「多文化リテラシープロジェクト演習」などにより、質の高い卒業研究を可能とする論理的思考力や表現力を修得します。3回生までに積み上げてきた各自の学知と関心をさらに追求して卒業論文を執筆します。

主な授業
- 多文化リテラシープロジェクト演習 A・B
- 多文化教育プロジェクト演習 A・B
- 卒業研究

教育協働学科

芸術表現専攻

音楽表現コース／美術表現コース

芸術創造の指導力をもつ表現者

芸術表現専攻では、音楽表現コース、美術表現コース各分野で芸術創造についての深い理解と高い専門能力を身につけるとともに、学校や地域社会と協働して新たな教育領域と社会文化活動の創生に意欲的に参画できる「教育マインド」を有した芸術表現者の育成をめざします。

求める学生像

- 芸術に興味・関心を持ち、教育及び芸術文化の発展に幅広く貢献したい人
- 専門領域の高度な表現能力を活かして、地域社会や学校教育現場で指導力を発揮したいと志す人
- 優れたコミュニケーション能力を有し、他の人々と協働し、多様な教育課題を解決したいと志す人
- 教育や社会における芸術表現の在り方について、実践的かつ持続的な活動を通して探求できる人
- 複雑化した現代社会において、人間らしく生きるための糧となる芸術の本質を追求・理解したい人

教員からのメッセージ

音楽表現コースでは、個人指導を通じて専門実技の向上を図り、学内外での演奏会を通じて貴重な演奏・創作体験を重ねます。また専門分野以外の他分野にわたる授業により、卒業後の進路では可能性を狭めることなく、社会で幅広く活躍できる人材を育成します。

猛威を振るい続けるコロナ禍において、「心の栄養としての音楽」が再評価された今、私たち音楽表現コースの存在意義は高まったと言えるでしょう。

（芸術表現部門　神代 修）

美術表現コースでは、学生が自主性を持ち、お互いを尊重しあいながら学びを深めています。芸術表現という大きな世界に飛び込むことは勇気がいるかもしれませんが、共に成長しあえる仲間がいる環境で、思い切り自分の翼を広げて下さい。

（芸術表現部門　寺島 みどり）

音楽表現コース

音楽表現コースでは、音楽に関する専門的知識、技法及び技能を身につけます。そして児童・生徒の音楽活動を通じた情操教育の醸成や、音楽による地域の文化意識向上のためのイベントの企画・運営、さらに音楽教材の開発などを通して、学校、家庭、地域、社会と連携・協働し、音楽教育に関わる課題解決に取り組む人材の育成をめざします。

POINT

- 養おう 音楽の力 みっちりと
- 高めよう 教える力 人間力
- 繋げよう 学校・地域 音楽の輪

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（音楽）　◎ 高等学校教諭一種（音楽）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「音楽専門実技」を中心に「ピアノ」「歌唱表現の基礎」といった基礎的な実技科目や「作曲理論」「音楽学」「芸術表現文化論」等の理論科目を通して音楽の基礎能力を身に付けます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- 芸術表現文化論
- 音楽専門実技 ⅠA・ⅠB

2回生

芸術表現能力をさらに高めるとともに「社会芸術教育協働活動基礎演習」や「課外活動指導法（音楽）」等で、芸術がどのように学校や社会での教育協働活動に関われるかを学び、実践していきます。

主な授業
- 学校安全
- 社会芸術教育協働活動基礎演習
- 課外活動指導法（音楽）
- 音楽専門実技 ⅡA・ⅡB

3回生

専門能力を学校や社会で発揮するために、「社会芸術教育協働活動・音楽」で様々な企画や運営を自ら考えアプローチします。「ピアノ指導法プロジェクト演習」でも問題解決型授業により指導力と人間力を高めていきます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 社会芸術教育協働活動・音楽
- ピアノ指導法プロジェクト演習
- 音楽専門実技 ⅢA・ⅢB
- 室内楽 ⅢA・ⅢB　● 指揮法

4回生

今日的課題の解決に関わる教育プロジェクト演習を通して教材の開発や多様性理解について学び、学校や社会との協働力を高めます。また4年間で修得した高度な専門能力を公開演奏会で披露します。

主な授業
- 音楽専門実技 ⅣA・ⅣB
- 障害を越える音楽
- デジタルミュージック教材開発プロジェクト演習
- 卒業研究

美術表現コース

現代美術では「何を」「どのように」表現するのかを、作者自身が考え実行することが求められます。美術表現コースでは「何を」表現するのかを見つける為に、知識と教養を広め、自分を深く見つめる視線を養います。また「どのように」表現するのかは技術の習得と離れて考える事はできません。まずは基本技法を習い、更に専門分野で研鑽を積み、自分の表現法を探ります。全てにおいて自主性を重んじると共に、少人数制ならではの手厚い指導を行います。

POINT

- 「わくぐみ」にとらわれない美術表現の世界へ
- やりたいことに集中できる環境
- 社会とのつながりを感じ、考え、作品を活かす

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（美術）　◎ 高等学校教諭一種（美術）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

絵画・立体造形・デザイン各分野の基礎とともに、充実した一般教養を学ぶことを通して、基礎技術と幅広い知識を養います。それらの実践の中で自分のやりたいことを固めていきます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- 地域交流とデザイン
- 美術表現の基礎
- 絵画基礎演習

2回生

絵画・立体造形・デザイン各分野の実技演習の他に、版画やウェブデザイン、アニメーション等の様々な表現手法を学びます。また「課外活動指導法（美術）」では、表現活動を通した学校現場や地域社会との交流を体験します。

主な授業
- 学校安全
- 社会芸術教育協働活動基礎演習
- グラフィックデザイン演習 A・B
- 課外活動指導法（美術）
- 総合造形演習 A・B

3回生

絵画・立体造形・デザインから1分野を選択し、高度な専門性の獲得をめざします。また「社会芸術教育協働活動・美術」では、学外でワークショップ等を開催し、美術表現による地域連携の可能性について実践的に学びます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- 社会芸術教育協働活動・美術
- デジタルメディア教材開発
- 立体造形演習 ⅡA・ⅡB

4回生

卒業研究では、専門性の深化だけでなく、より多様な価値観の理解と広範な視野の獲得をめざし、成果を発表します。また、これまでの学びをどうやって活かしていくのかを主体的に考え、社会に貢献する力を高めます。

主な授業
- 総合制作マネジメントプロジェクト演習
- 絵画演習 Ⅲ　● 立体造形演習 Ⅲ
- デザイン演習 Ⅱ　● 卒業研究

教育協働学科

スポーツ科学専攻

スポーツ指導力をもつアスリート

スポーツ科学専攻では、本学科の特色である教育マインドを基盤にし、様々なスタイルの指導力を高めるための理論的・実践的課題に取り組むことで、優れたスポーツ実践力に基づいた指導者の養成をめざす。現代のスポーツ指導者は、学校教育を中心とした多様なスポーツ場面及び公共スポーツ、スポーツ関連産業など、生涯学習社会をめざすさまざまな社会的背景や年代の人々のスポーツのニーズに応えることが求められている。そのため、求められる指導の基盤となる力を、教育マインドとし、中でもスポーツ指導者にとって最も重要である子どもたちの育成・指導という課題を中心として、現代教育の理解、そして汎用基礎力及び協働力を学び、同時に優れた運動技能や幅広い運動経験に基づく理論的な基盤と指導力（コーチング）を持った人材育成を目的とする。

POINT

- スポーツに関して実践的・多角的に学ぶ
- 実技力に基づく指導力を身につける

取得可能な免許

◎ 中学校教諭一種（保健体育）　◎ 高等学校教諭一種（保健体育）

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状。

求める学生像

- スポーツ教育について強い関心と意欲を持つ人
- 子どもの育成に取り組むスポーツ指導者をめざす人
- 学校や地域スポーツの指導者をめざす人

4年間の学びの流れ

1回生

スポーツ指導者及びチーム学校の一員となる資質を育てる第一歩として、スポーツに関わる基礎的事項を講義や実技を通して広く深く学んでいきます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- スポーツ教育原理
- 生涯スポーツ論

2回生

１回生で学んだことを基に、スポーツに関わる学びを広げ、スポーツ指導者としての第１歩の学びも始まります。

主な授業
- 学校安全
- 教育協働デザイン演習
- スポーツコーチング論
- 課外活動指導法（スポーツ）

3回生

スポーツ指導者及びチーム学校の一員になるため様々な指導現場に対応する力をつけていくため、より実践的に実習・演習等を通して深めていきます。また、スポーツ科学をより深めていくために研究室に所属し、専門的な知識を習得していきます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- スポーツ教育プロジェクト演習 A
- 学校と地域スポーツ
- デジタルスポーツ教材開発 A・B

4回生

実際にスポーツ場面に実践者、指導者として立つための自覚と自信を育み、自ら考え、求め、学んでいく姿勢など習得したことを4年間のまとめとして実践場面に活かしていきます。

主な授業
- スポーツ教育プロジェクト演習 B
- スポーツマッサージ
- 卒業研究

【 学びの特長 】

スポーツ科学専攻の基本理念・目標は、教育マインドを基盤にし、様々なスタイルの指導力を高めるための理論的・実践的課題に取り組み、優れたスポーツ実践力に基づいた指導者の養成をめざしています。そのために、4年間を通して開講されている数多くの実技科目を受講し、自身の専門種目以外のスポーツ実践力も高めます。また2回生までに開講されている指導力の基礎理論であるスポーツ教育原理、スポーツ社会学、運動生理学、スポーツコーチング論、スポーツ心理学、スポーツマネジメント論、スポーツ医学、スポーツトレーニングと適応などを学び、教育基礎科目、協働共通科目で学んだ教育マインドを専門的な立場から理解をすることになります。

回生が進むにつれ、より実践的な立場から専門性を磨くために、スポーツ指導者育成論、学校と地域スポーツ、障害者とスポーツ、Global Sports Communicationなどの授業を通して、多様な人々（年齢、国籍など）のスポーツのニーズに応え、学校教育を中心とした多様なスポーツ場面、さらに公共スポーツ、スポーツ関連産業などで貢献する人材の養成につながっていくことになります。

主な就職：一般企業、教員、公務員、スポーツチーム、進学など

教員からのメッセージ

平成29年度の学部改組により定員が50名となり、様々な種目、多様な考え方の学生が在籍することになりました。スポーツ科学専攻での４年間は、自分の専門種目や専門分野にとどまらず、多くの同級生や先輩後輩との出会いとふれあいにより、あなたの想像を超える成長につながっていくことになるでしょう。　（スポーツ科学部門　生田 泰志）

連合教職大学院
大学院［教育学研究科（修士課程）］
特別支援教育特別専攻科

大阪教育大学には、2つの大学院と1つの専攻科があります。
それぞれの目的や内容などを紹介します。

さらに詳しい情報は、本学ウェブページや大学院案内などのパンフレットをご参照ください。

連合教職大学院［連合教職実践研究科（専門職学位課程）］
高度教職開発専攻

連合教職大学院の目的

●教職生活全体における高度かつ実践的な教員養成のための専門職大学院

近年、教員の養成－採用－研修等を通じて、教員が教職生活全体を通じて職能成長を実現する環境づくりが進められており、
教職大学院は高度専門職業人材養成に特化した大学院として、全国に設置されています。

●学部段階の資質能力を基盤に深い教職性と実践的指導力を兼ね備える新人教員を養成

教員養成系大学あるいは一般大学の学部新卒者に、それぞれの特色を生かした資質能力にさらなる教職専門性と
学校現場に即応できる実践的指導力を培い、学校の有力な一員となる新人教員を養成します。

●学校の組織的課題・子どもの教育課題に応じた教育実践力や指導的役割を発揮する現職教員を養成

多様で複雑化する学校の組織的課題や子どもの教育課題を適切にとらえ、
それらの課題解決をめざす確かな教育実践の展開に指導的役割を果たすことができる、学校の中核となる教員を養成します。

3つの特色

❶オンライン授業科目を拡充します。

院生が学びやすい環境を整えるため、学校実習科目を除くすべての授業科目について、オンライン対応を進めています。

❷令和6年度より3コースを2つのキャンパスで展開します。

援助ニーズ教育実践コース、教育実践力コース、特別支援教育コースを柏原、天王寺の両キャンパスで展開します。学部卒院生はよりスムーズに学部と接続ができ、現職教員院生は多様な育成段階の教員が共に学びやすくなります。

❸先取り履修制度を開始します。

学部最終学年に教職大学院で開講している授業科目を院生と一緒に「先取り」して履修できる制度を開始します。教職大学院へ入学後は、先取りした単位を修了要件に含めることができます。

コース	内　容
スクールリーダーシップコース	教職員集団をリードしたり、保護者、地域住民等と協働したりして、学校及び地域の教育課題を解決するために求められる優れたリーダーシップを発揮できる教員を養成します。
援助ニーズ教育実践コース	子どもを取り巻く多様な援助ニーズに対応するための高度な教育的手法を探究させ、「チーム学校」の考えに基づく学校内・外の関係者と協働して展開できる教員（養護や就学前教育を担う教員も含む）を養成します。
教育実践力コース	児童・生徒に即した、実践的で高度な学習指導、学習評価の能力を持ち、教員としてのカリキュラム・マネジメントや、教科横断的な視野を持った教科領域の指導、今日的な教育課題に対応した授業開発に、先端的かつ継続的に取り組むことのできる教員を養成します。
特別支援教育コース	特別支援教育の対象となる子ども一人ひとりのニーズに対応した適切な教育支援を行える高度な能力を身につけ、また特別支援コーディネーターとしての役割を担うことのできる教員を養成します。

大学院［教育学研究科（修士課程）］
高度教育支援開発専攻

教育学研究科は、全ての院生が教育・学習支援の実践力と課題分析力を身に付けられるよう教育課程を編成し、
教員以外の立場から教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成します。

4つの特色

❶教育・学習支援の実践力」と「課題分析力」の基盤的な力を身に付けます。

スマート社会の到来に伴い、教育を取り巻く環境も大きく変わる中、ICT、教育データ等の先端技術や
教育・学習の実践的手法の両方を基盤的な力として身に付けるための授業を必修科目として開講します。

❷特定の領域での高度な専門性を身に付けます。

特定の領域における高度な専門的知識・技能を身に付けることに加え、
これを活用して教育・学習支援を深く探究するための実践力・研究力を修得するための学びを展開します。

❸実践的な教育研究手法を身に付けます。

大学院修了後も様々な課題に直面した際に、主体的に分析、考察、解決ができるよう、
調査・分析手法、論文作成手法など、汎用的な研究能力を身に付けます。

❹多職種協働による課題探究型研究・教育を展開します。

教育ファシリテーションコースにおいては、教育現場、企業、行政、地域から、
多様なバックグラウンドを有する社会人が一堂に集まり、多職種協働による教育現場の課題解決に資する研究・教育を展開するため、
「プロジェクトベース科目」を開講します。

専　攻	内　容
心理・教育支援コース	教育領域で従事する心理職や子どもに関する心理の専門家、さらに教育や子どもの発達に関する心理学研究を行いたい学生を対象に、「チーム学校」や教育協働についての理論と実践を学ぶための高度な心理学の教育を行います。また、所定の要件を満たして単位を修得した方は、公認心理師の受験資格を取得できます。
国際協働教育コース	主として留学生を受け入れ、国境や異文化間を越えてグローバルなフィールドで他者と協働しながら活躍できる教育・学習支援人材を養成します。また、本コースでは、「日本型教育システム開発領域」と「日本語教育支援高度化領域」の2領域を設けます。
教育ファシリテーションコース	主として社会人を受け入れ、自らの知識・技能、経験を他者の知見と組み合わせて、教育現場の最適化に資する実践知を生み出す能力を養成します。また、本コースでは、「教育イノベーション開発領域」、「地域教育・芸術支援人材高度化領域」及び「健康・安全教育高度化領域」の3領域を設けます。

特別支援教育特別専攻科

特別なニーズのある子どもを理解し支援する高い実践力を備えた人材を育成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために
発達障がいをはじめ様々な障がい領域に関する専門教育を行い、
実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。
特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。
また、通常の学校（通常の学級）においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。
本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、
子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。

●免許取得

免許状の種類
特別支援学校教諭一種免許状※

※「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」に関する教育領域

年間行事
Campus Calendar

キャンパスの1年は、周囲に広がる美しい自然が
四季それぞれの魅力を示す中で進行します。
キャンパスでは日々の講義・実習に加えて、
季節ごとのイベントがあります。
※一例であり、状況により実施しない場合もあります。

大阪教育大学の公式キャラクター
「やまお」と「たまごどり」は、
一年中様々なシーンで現れて大活躍！

大教大ならではのイベントがいっぱい！

YouTube
OKUChannel

イベントの様子や
インタビューなど
動画を随時更新中！
チャンネル登録してね！

入学式 4月

音楽教育コースと芸術表現専攻音楽表現コースの学生たちの合唱により幕が開く入学式。学長によるありがたいお話の後は、本学が誇る音楽表現コースオーケストラの記念演奏が花を添え、新たな一歩を踏み出した後輩たちを、盛大に祝福します。

サークルフェスティバル 4月

春、新入生の訪れとともに、柏原キャンパスの大通りで、多くのクラブ・サークルがお出迎え。新入生勧誘のため、あの手この手を使い、趣向を凝らしてしのぎを削ります！

オープンキャンパス 7月 ※今年度はオンラインと対面で開催

例年約4000人以上が訪れるオープンキャンパスには、大学の魅力を紹介するため、学生たちもスタッフとして参加しています。

夏休み

待ちに待った夏休み。合宿が開かれるクラブ・サークルもあり、より仲間との親睦が深まります。

芸術表現専攻音楽表現コース 定期演奏会 11月

プロオーケストラも多数公演するザ・シンフォニーホールで、教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースオーケストラによるコンサートが開かれます。同じ学生と思えない本格的な演奏と合唱に、感動すること必至！

人権教育全学シンポジウム 12月

人権尊重への意識を高めることを目的に、1979年から続く、本学の理念を表すシンポジウムです。講演やパネルディスカッションを通して、人権とは何かを考えます。

冬休み

嬉しい楽しい冬休み。遊びもいいけど試験勉強もね。

公立学校・私立学校 教員説明会 2月

教育委員会による自治体説明会やさまざまな私立学校が集まる合同学校説明会に参加して、未来に向かってステップアップ！

五月祭 5月

大学にも少し慣れた5月、春の学園祭である「五月祭」が開催されます。五月祭は、新入生が中心となって創作するお祭り。仲間たちと交流を深め、友情を育み、青春を分かち合います。

フィールドワーク 6月

キャンパスから外に出て、広い目で社会を学ぶ「フィールドワーク」。教員養成課程では、柏原市をはじめとした公立学校での観察実習プログラムが用意されており、1回生から学校現場を体験できます。専攻によっては、博物館や研究所を見学することも。

語学・文化研修 8月

長い夏休みは、異国の地で未知の世界にふれるチャンス。欧米やアジアの協定校で、プチ留学に挑戦してみましょう！

神霜祭 10月

神無月（10月）と霜月（11月）の期間にかけて開催される、本学最大の学園祭。ステージでは、ダンスや音楽ライブ、漫才などのパフォーマンスが繰り広げられ、周辺に連なる模擬店には、地元住民の皆さんが紅葉を眺めながら列をつくります。

春休み

試験を無事突破し、大学1年間が終了。英気を養って新たなシーズンへ。

卒業式 3月

先輩たちの旅立ちの日。やまおとたまごどりも舞台に立ち、卒業生の門出に花を添えます。

天王寺キャンパス 学生主体行事

- 4 APR 新入生・編入生歓迎行事
- 6 JUN 学生大会
- 7 JUL 夏祭り
- 11 NOV 大学祭
- 3 MAR 天王寺キャンパス卒業行事

クラブ&サークル

Club & Circles

キャンパスでは各ジャンルのサークルが結成されています。
クラブやサークルの仲間とともに過ごす4年間には、
一生の素晴らしい思い出を作るチャンスが豊富にあります。

水上競技部

2022年度日本学生選手権、多数出場。自立し自律したチームをめざして日々活動しています。

混声合唱団「CHOR」

定期演奏会（12月）やjointコンサート（7月）、学園祭など様々なステージで合唱しています。

陸上競技部

初心者から日本一を争う選手まで、幅広い経歴の選手が活躍中。関西インカレでは男子1部昇格、女子5位入賞を目標に練習に励んでいます。

剣道部

「堅忍質直」をスローガンに関西大会、全日本大会上位入賞をめざし、日々稽古に励んでいます。

女子ハンドボール部

1部昇格をめざして日々練習しています！

柔道部

全日本学生柔道優勝大会、全日本学生柔道体重別選手権大会での勝利をめざして、日々奮闘中！

演劇集団 FREEDOM INFINITY

年に2回程度、学内で公演を行っています。大学祭等でも公演を行うことがあります。

邦楽研究会

箏、三味線、尺八などの和楽器を練習し、学内外の演奏会で披露しています。

かるた会

百人一首を用いた競技かるたの練習を行っています。速く美しく札を取り合うこの競技は、男女ともに人気の競技です。

硬式庭球部

テニスの競技力・指導力・分析力等の向上をめざし、これを通じて教育者、指導者、社会人としての能力・資質を高めていきます。

「いちゃりばちょーでー」は沖縄のことわざで「一度会ったらみんな兄弟」という意味！学園祭だけではなく、お祭りや学校などから頂く演舞依頼を大切にしています。

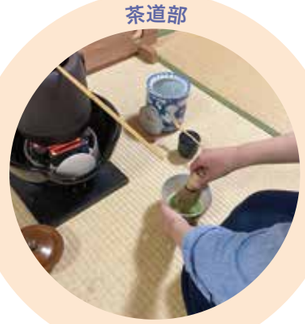
琉球鼓舞いちゃりばちょーでーエイサー隊

大学祭準備会

大学生のうちに仲間たちと大きなことを成し遂げられるサークルで五月祭や神霜祭を準備、運営しています。

個性豊かなクラブ&サークル

茶道部



講師の先生をお招きし、お茶と和菓子を楽しんでいます。日本の伝統文化である茶道を通し、礼儀作法やマナーを身に付けることができます。

体育系（31団体）

- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バドミントン部
- 剣道部
- 柔道部
- 合氣道部
- 山岳部
- 空手道部
- 体操競技部
- 陸上競技部
- 水上競技部
- スキー部
- フィギュアスケート部
- モダンダンス部
- 弓道部
- L.S.B

文化系クラブ・サークル（16団体）

- 映像制作サークル「ライパチフィルム」
- 茶道部
- 写真部
- 点訳サークルまんてん
- どんぐり
- 漫画研究会
- 放送研究会
- パソコンPaPa
- 教育研究会
- Let’s Play
- 文芸部
- かるた会
- 聴覚障害学生と共に手話を学ぶ会
- 演劇集団 FREEDOM INFINITY
- 琉球鼓舞 いちゃりばちょーでー エイサー隊
- YOSAKOI ソーランサークル 凛憧

体育系クラブ・サークル（6団体）

- ローンテニス部
- 男女ソフトボール同好会
- 軟式野球部
- C.I.O. サークル池田組
- バレーボール同好会
- Soft Tennis Circle

音楽系サークル連合会（5団体）

- 軽音楽部
- 混声合唱団
- 吹奏楽部
- 邦楽研究会
- フォーク集団ぺんぺん草

大学行事クラブ・サークル

- 大学祭準備会

天王寺キャンパス学生団体（17団体）

- 学生局
- 企画局
- サークル連絡協議会
- バドミントンサークル
- 軟式野球サークル
- フットサルサークル
- ソフトボールサークル Phoenix
- 男女バレーボールサークル
- 男女バスケットボールサークル
- ダンスサークル「DIL」
- 剣道サークル
- 手話サークル「パエリア」
- お笑いサークル 笑賊団
- 音研究会
- 軽音楽堂 LED GIGs
- 混声合唱団 ア・コール
- 天文サークル SKYcrew

学生宿舎

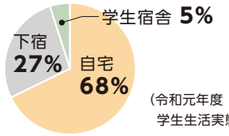
Residence

学生宿舎

Student dormitory

柏原キャンパス内には、本学学生の勉学に資する居住の場を提供し、修学を容易にすることを目的として設置された、男子学生宿舎と女子学生宿舎が各1棟あります。入居者の募集は入学時および途中退去者が出たときに行い、入居資格を満たした申請者の中から大学の定める選考基準に基づき選考委員会において選考されます。

学生の居住形態



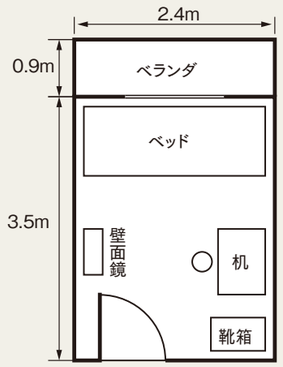
（令和元年度 学生生活実態調査より）

居室

補食室

浴室

洗濯室



居室面積 8㎡（約4.5畳）

居室設備 ベッド、机、椅子、靴箱、カーテンレール
窓（幅137cm×高さ178cm）

- 各居室の設備や配置は、多少異なります。
- インターネットは無料で使用できます。
- エアコンは各自で取付をお願いします。

※令和5年4月現在

宿舎名	収容定員	居室形態	宿舎料（月額）	共益費（月額）
男子学生宿舎	60人	全室個室	5,000円	700円
女子学生宿舎	80人	全室個室	5,000円	700円

宿舎料・共益費のほか、居室内および共有部分の光熱水料費として、月額およそ5～6,000円が必要です。上記の金額は令和5年度の金額で、在学中に改定が行なわれた場合には、改定時から適用されます。

宿舎に住んでいる学生のコメント

- 宿舎費が安い！
- キャンパス内にあるので通学がしやすい！
- 宿舎から出て買い物に行くのは大変だから生協食堂をよく利用します。
- 談話室に集まって、ご飯を作って食べることもしています。
- 友達がいるからさびしくないです。
- お風呂が広くて良いです。

入居に際して

- 学生宿舎は数に限りがあるため、希望されても入ることができない場合があります。
- 入居者は、必ず決められたルールを守っていただきます。

［入居者のルールの一部］ ※建物内禁煙 ※入居者以外立入禁止
※入居者同士のプライバシーの保護

教育協働学科
グローバル教育専攻
多文化リテラシーコース

髙野 杏華さん

（出身校：和歌山県立日高高等学校）

大学の立地を考慮し、近くて下宿コストが抑えられる学生宿舎に入りました。小さい頃から、図書館に行き、本を読むことが好きだったので、大学の図書館が近いことも魅力の一つでした。

一人暮らしを始めた時は、不安ばかりでしたが、何かあっても周りに仲間がいるという安心感が常にありました。宿舎の一人部屋はそこまで広くはありませんが、収納を工夫して生活しています。友人と過ごせる共有スペースだけでなく、一人だけの空間もあるところが良い所です。

実際に住んでみて、昼食は学生食堂を利用できることや、警備員さんが24時間常駐しているため防犯面でも安心して生活できることが大変魅力的だと思っています。また、入居者同士の交流を深める行事もあります。私は友人にも恵まれ、談話室でお喋りする時間がとても好きです。もし宿舎に入ったなら、皆さんと共に過ごす友人はきっと、大学生活を彩ってくれる大切な存在になると思います。

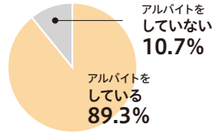
▲ 談話室でのおしゃべりが癒やしの時間！

アルバイト

PartTime Job

平成30年12月末をもって大学窓口でのアルバイト・家庭教師紹介業務を終了しましたが、「学生アルバイト情報ネットワーク（バイトネット）」に紹介業務を移行し、引き続き紹介業務を行っています。無理な仕事を持った結果、修学に支障を来したり、健康を害して休学・退学を余儀なくされるという事例もあります。アルバイトをしようとするときはこうしたことが起こらないよう十分な配慮が必要です。

アルバイトしている割合



（令和元年度 学生生活実態調査より）

1ヶ月のアルバイト収入

3万円未満	14.9%
3～5万円未満	34.3%
5～10万円未満	43%
10～15万円未満	6.6%
15～20万円未満	1.1%
20万円以上	0.1%

アルバイト体験記

教育協働学科
グローバル教育専攻
英語コミュニケーションコース
神山 実玖さん（出身校：上宮太子高等学校）

私は、テーマパークでアルバイトをしています。たくさんのスタッフとコミュニケーションを取りながら、常にお客様に楽しんでもらえるように頑張っています。特にやりがいを感じるのは、海外のお客様とのコミュニケーションで、専門分野の英語を活かせた時です。会話を通して「この表現がすごくいいな」と感じたときは、積極的に取り入れたり、「伝わったけれど、もう少し分かりやすい言い方はなかったのかな」と思ったときは、大学でネイティブの教員に教えてもらっています。アルバイトを通して、英語に対する捉え方が「成績のための英語」から「人と繋がるための英語」に変わりました。コミュニケーションが上手くとれた時はとても気持ちが良く、日々のモチベーションにもなっています。アルバイトのおかげで、学校生活では学べないことを経験できたと心から思えることが、アルバイトをやってみて良かったことの一つです。

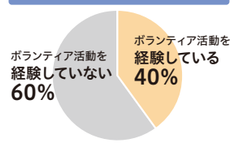
学校教育教員養成課程
小中教育専攻
社会科教育コース
飯干 暁登さん（出身校：大阪府立河南高等学校）

私は小学校でスクールサポーターのアルバイトをしています。学校インターンシップに取り組む前に経験を積みたいと思い始めたのがきっかけです。主な業務は授業補助や環境整備などで、先生方のお手伝いをしながら、学級運営の工夫や授業以外の仕事など、大学の講義だけでは感じられないことを日々学んでいます。子どもたちと触れ合う中で、「わかった！」や「楽しい！」という言葉や笑顔が出てきた時が一番のやりがいです。また、大学の講義で学んだことと現場で体験したことを結びつけて考えられることもこの仕事の魅力です。私はこのアルバイトを通して自分の進路について真剣に考えるようになりました。学業や趣味の時間も大切ですが、自分の将来と向き合うとても良い機会になっています。

ボランティア

Volunteer

ボランティア活動経験割合



（令和元年度 学生生活実態調査より）

大阪教育大学では
学生に各種ボランティア活動を
推奨しています

学校サポート活動　今しかできない体験！現場がわかる！子どもがわかる！

自らの問題意識に応じて主体的に学校の教育に参画していくサポート活動を通して、児童・生徒や教職に対する理解を深め、指導力の向上を図ります。

SAS（Study After School）　大阪教育大学と柏原市が連携して行う放課後学習支援事業

放課後に小学校の空き教室を利用し、学生が子どもたちの学習補助をしながら、実践的な経験ができる取組です。

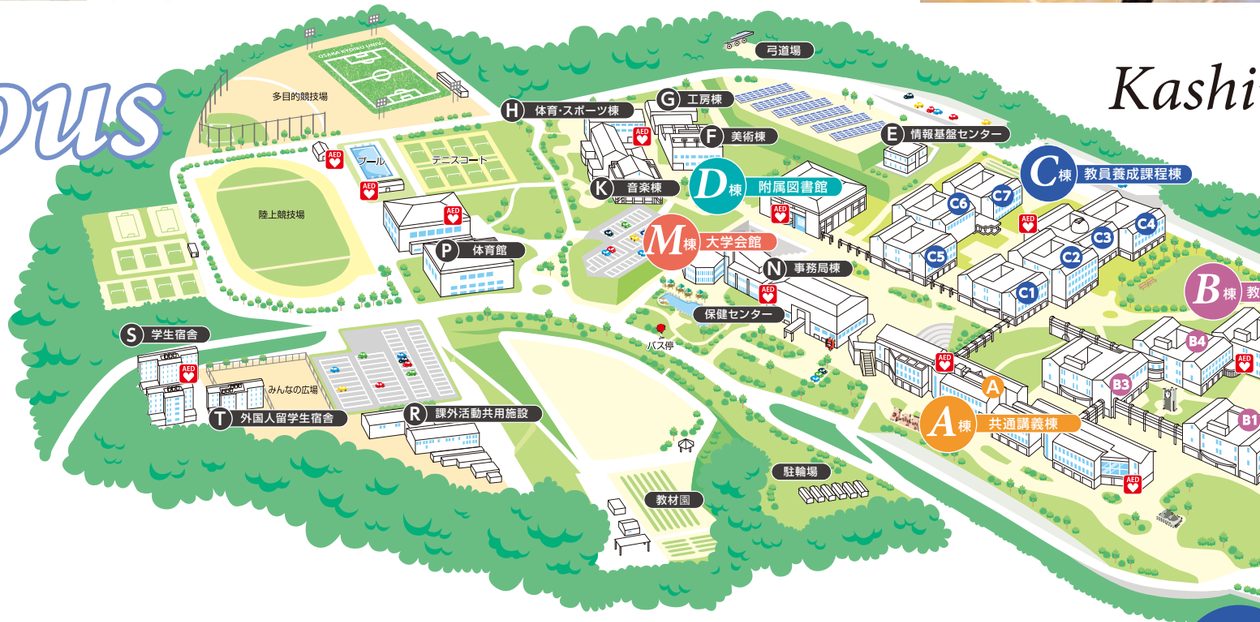
森林体験学習　子どもとふれあい自然に対する理解を深める

本学・柏原市・柏原市教育委員会が連携して支援しています。学生リーダーとして柏原市小学校での森林体験学習の実施（森のビンゴゲーム、植物のなかま分け、リース作り、竹細工などのアクティビティ）をサポートします。

Campus Map

キャンパスマップ

大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡の広さを誇るメインキャンパスを配置。豊かな自然の中に優れた教育・研究を実現するための様々な施設が整備されています。エスカレーター上からは、美しい夜景を眺めることもできます。



A棟 共通講義棟

大小の講義室、実験教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。

共通講義棟

ICT教育支援ルーム

外国語学習支援ルーム(GLC)

大講義室

図工室

講義室

スポーツ施設

メインアリーナ、サブアリーナ、器械運動場、第一武道場、第二武道場、ダンスルーム、トレーニングルーム等があります。また体育館の隣には、テニスコート、プール、陸上競技場、サッカー・ラグビー場、野球場などスポーツ施設が充実しています。

体育館

ダンスルーム

トレーニングルーム

メインアリーナ

人工芝グラウンド

剣道場

柔道場

AED
Automated External Defibrillator
自動体外式除細動器

学内10箇所設置!

私たちの心臓は、規則的に正しく動き、全身へ血液を送るポンプの役目を負っています。AED(自動体外式除細動器)とは、心臓が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す機器です。2004年7月から一般市民による使用が認められました。本学では保健センター、体育館及び附属図書館等各所に設置しています。

Sky Escalator(駅からのエスカレーター)
※Sky株式会社とネーミングライツパートナー契約を結んでいます。

B棟 教育協働学科棟

主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。

教育協働学科棟

レモンルーム

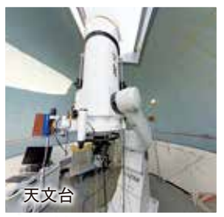
ガリレオボード

C棟 教員養成課程棟

主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「メロンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。

教員養成課程棟

メロンルーム


天文台

障がい学生修学支援ルーム

Kashiwara Campus
柏原キャンパス

D棟 附属図書館本館

地上3階、地下2階、5階建ての附属図書館です。90万冊以上の蔵書には、教育系の専門書や教科書を揃え、教職をめざす学生の“学び”をサポートしています。また、館内には、グループ学習やアクティブラーニングを目的とした施設も備えており、様々な学習の形に対応しています。

閲覧室

館内中央には吹き抜けがあり、光を取り込んだ明るい閲覧室です。小中高で使用されている教科書も利用でき、実習や教員採用試験に役立てることができます。また、15台のパソコンが設置されており自由に利用できます。貸出用にも9台のノートパソコンを用意しており、レポート作成等に利用されています。

グループ学習室

8～16人用の個室が5室あり、グループでの学習や研究活動に利用できます。教育実習や教員採用試験に向けて、模擬授業の練習もできます。

サイレントルーム

会話やパソコンの使用が禁止されている部屋で、閲覧室より静かな環境です。座席も一席ずつに区切られているため、個人学習に最適です。

たまごギャラリー

本学の学生の作品の展覧会が行われるスペースです。年間を通じて、美術や書道専攻の学生や写真部等が多くの展覧会を開催しています。

まなびを共有する賑わいスポット!

まなびのひろば

学習のために人が集まり、「まなび」を共有する場所です。黒板や電子黒板も設置され、友達とディスカッションしながらの学習や、模擬授業、ゼミ・グループでの討論に利用できます。

柏原キャンパスには、授業の登録など修学上の諸手続きを行う事務局棟、ホールや実習室の他に練習室が約60室設置された音楽棟、美術や工芸の力を磨く美術棟・工房棟、体育・スポーツの理論を学ぶ体育・スポーツ棟など、様々な建物があります。また、サークル活動が行われる課外活動共用施設、さらに学生宿舎も配置されています。

保健センター

学生・教職員の心身の健康保持・増進を目的としています。健康診断をはじめ、保健管理に関する専門的業務を行っています。

[センター長] 宮前 雅見

情報基盤センター

E棟にあり、教育研究のサポートとして、全学情報基盤システムの維持管理や情報実習室の管理を行っています。また、本学の情報セキュリティインシデント対応チーム（OK-CSIRT）も設置しています。そのほか、学生の皆さんの相談窓口としてA棟312室にICT教育支援ルームを設置しています。

[センター長] 佐藤 隆士

ICT教育支援ルーム（情報基盤センター）

A棟312室において、ICT教育全般の技術的なサポートを行っています。

地域連携・教育推進センター

グローバルな問題意識のもと、ボーダーを超えて大学と地域を結びます。今日の学校教育や地域の生涯学習の課題を研究し、教員養成および現職教育の充実・発展に貢献します。人権や社会正義、共同活動や多様性尊重といった原理は本センターの活動の中核に据えられています。

[センター長] 高橋 登

グローバルセンター

学生交流及び学術交流の企画・立案、留学生の受入れ・派遣の推進及び教育研究面での国際活動の充実を図ることを目的としています。

[センター長] 箱﨑 雄子

外国語学習支援ルーム（GLC）

外国語のコミュニケーション能力の向上をめざす学生の、自律的な学習を支援しています。また、英語教員とラーニングアドバイザーによる個別相談も行っています。

教育イノベーションデザインセンター

学校教育から大学教育に関して、学内外と連携し、Society5.0の社会に向けて、ICTや科学技術に基づいたこれまでにない未来志向の新たな教育を研究・開発し、実践することを目的としています。

[センター長] 鈴木 剛

キャリア支援センター

キャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と進路、職業選択を支援することを目的としています。指導教員と連携しながら、学生一人一人の適性・進路に合わせたきめ細かい支援を行っています。

[センター長] 手取 義宏

[キャリアアドバイザー]
中務 高俊、浦部 孝英、山下 吉信、吉田 文一、小磯 久美子、近藤 一江、林原 伊美

学校安全推進センター

平成13年6月8日、本学の教育学部附属池田小学校において23名の児童および教員が殺傷される事件が発生し、精神的に大きな傷を受けた児童・保護者・教員に対し長期にわたるケアが必要とされています。本センターは、このような学校危機の発生に対して、専門的に対応できる組織的・包括的な活動を支援する研究・教育機関として設置され、その後、学校安全の推進に関する研究領域を充実し、国立大学の教員その他でこの分野の研究に従事する者の利用に供することを目的としています。

[センター長] 藤田 大輔

修学支援センター

大学における学生相談、障がいのある学生の修学支援その他の学生の支援を行っています。カウンセリングルームと障がい学生修学支援ルームがあります。

[センター長] 大内田 裕

・カウンセリングルーム

学生生活上のさまざまな悩みについて、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）が心理的なサポートをしています。

[専任カウンセラー] 奥田 紗史美

・障がい学生修学支援ルーム

障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が自らの能力を最大限に発揮し自己実現できるよう、修学支援に取り組んでいます。

【問合せ先】
072-978-3479（平日9:00～17:00）
sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
障がい学生修学支援ルームはC6棟2階北西角にあります。

教育実践支援ルーム

教育実践支援ルームでは、教育現場や子どもたちの教育や生活を直接的・間接的に支えている現場で活動する学生の支援に取り組んでいます。元校長や教育委員会関係者など学校教育等に精通したスタッフが活動を支援します。

[教育実践アドバイザー]
上野 祐美子、水本 哲也
[教育協働コーディネーター] 吉原 孝

大学会館

M棟

Dining TERRA、第2食堂、レストランFORET、喫茶（SUN CAFE）、Shopアイリス（書籍・購買・旅行・サービス）などがあり、学生の憩いの場となっています。全ての食堂で日替わりや週替わりのメニューもあり、飽きのこない食事を提供しています。

おもわず外で
食べたくなる！
開放感あふれる
大教大キャンパス。

ほっと一息SUN CAFEで

学校教育教員養成課程
中等教育専攻 数学教育コース

辻 拓夢さん

SUN CAFEはスイーツメニューとドリンクメニューが豊富で楽しい食後が過ごせます。日替わりで二種類のサンドセットがあり毎日内容が楽しみです！セットにはポテトやドリンクもついています。夏場にはソフトクリームもおすすめで、チョコソースのトッピングもできます！ぜひSUN CAFEで楽しいカフェタイムを過ごしてみてください！

人気MENU

日替わりサンドセット

ベルギーチョコケーキ

白桃のタルト

いちごパフェ

SUN CAFE

場　所　大学会館3階
営業時間　平日11:30～13:30／土日祝休業

日替わりサンドセットを中心にスイーツメニューやポテトフライなど、他の店舗にはないメニューを食べることができます。軽食・デザートが充実しているカフェレストランです。

Restaurant FORET　大学会館2階

営業時間：平日11:45～14:00／土日祝休業
スタッフが席まで料理を運んでくれるフルサービス形式。落ち着いた雰囲気で食事ができます。

テイクアウトショップ　大学会館3階

営業時間：平日11:45～13:00／土日祝　休業
あったかいお弁当のテイクアウト専門店です。

Shop IRIS　大学会館2階

営業時間：平日8:20～16:45／土日祝休業

お弁当やお菓子などの食料品から、書籍、文具、生活用品、国内海外旅行、教習所紹介、各種レンタル物品など幅広く取り扱っています。

※記載の営業時間は大学の授業、課外活動等が通常通り行われる場合の営業時間です。
感染症等の状況によって、営業時間や店舗の形式が変更になる場合があります。

Dining TERRA

場　所　大学会館1階
営業時間　平日11:30～13:30／土日祝休業

ごはん・おかず・惣菜・麺類・カレー・丼など、お好みのメニューを自由に組み合わせることができるカフェテリア形式。学内で1番広い食堂です。

人気MENU

ササミチーズ
タルタルソース

麻婆豆腐

豚塩おろしうどん

プルコギ丼

照り焼きチキン

推しメニューを見つけよう！

教育協働学科 理数情報専攻
数理情報コース

鎌田 亮太さん

Dining TERRAは学内で一番広い食堂です。メインのおかずだけでなく、小鉢やデザートなどもバラエティー豊かなメニューが揃えられているため、自分好みに組み合わせられるところが魅力です。友達と一緒に食べたい人や、栄養バランスにこだわりたい人、食べる量を細かく調節したい人にもオススメです。メニューから料理を選ぶ時間が、お昼の楽しみになるかもしれません。皆さんも自分にぴったりの組み合わせを見つけてみてはいかがでしょうか？

その日の気分でMy定食

学校教育教員養成課程
中等教育専攻 家政教育コース

坂本 空美さん

第２食堂は唯一土曜日も営業している食堂です！私のように、サークルで土曜日も学校に来る人にとってはありがたい存在です。丼物や麺類だけでなく、メインのおかずなどもあるので、自分好みの定食を食べることもできます。「スピードレーン」も用意されているので、急いでお昼ご飯を食べたい人にもおすすめです。また、11時から営業しているので早めにお昼ご飯を食べたいときにもよく利用しています。

第２食堂

場　所　大学会館2階
営業時間　平日土11:00～14:00／日祝 休業
※2024年4月から夕食営業（17:00～）再開予定。

麺類・カレー・丼などの単品メニューを注文する形式と、待たずにおかずやご飯を食べられるスピードレーンがあります。急いでいるときも安心して利用できる食堂です。

人気MENU

担々麺

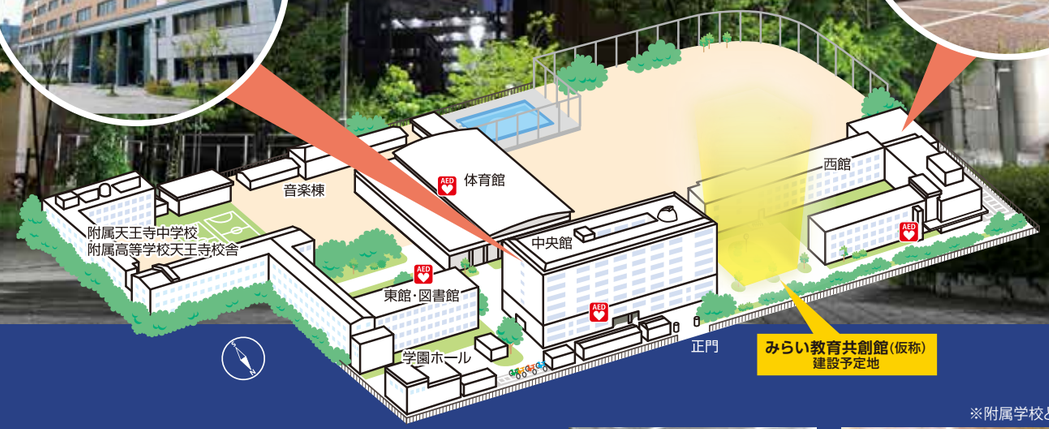
チキン南蛮丼

ジューシー唐揚げ

天王寺キャンパス
TENNOJI CAMPUS

アクセス抜群！都市型キャンパス

日本有数の高層ビル「あべのハルカス」をはじめ、観光やショッピングスポットとして注目を集める大阪市の阿倍野・天王寺エリア。
このエリアに、1901年以来の歴史をはぐくむ「天王寺キャンパス」は、今も昔も大阪の教育を支えています。JR寺田町駅から徒歩5分、JR天王寺駅から徒歩10分という抜群の交通アクセス。
さらに、2024年4月には、幼児教育と小学校教育の接続を踏まえた視点を持った教員を養成する「幼小教育専攻（4年制）」と、小学校の全教科にわたる教科指導に必要となる知識・技能を有する教員を養成する「小学校教育（夜間）5年専攻」に改組。附属学校が隣接する環境で教育実践力の高い人材を育てています。
また、天王寺キャンパスは、関西大学・近畿大学との連合による専門職大学院「連合教職実践研究科（連合教職大学院）」及び2021年4月に大幅な改組を行った大学院「教育学研究科」を有し、平日夜間に展開するコースを設置しています。この2つの大学院では、主として現職教員・社会人を対象に、現場の実態に基づく「理論」と「実践」を往還する学びを展開しており、大阪の教育拠点とも言えるキャンパスです。



※附属学校と共用

食堂
学園ホール1Fにある食堂は、おいしいと評判のうどん、カレー、どんぶりその他豊富なメニューで学生の食生活をサポートします。

附属図書館天王寺分館
図書約8万冊・雑誌・電子資料が利用でき、2015年リニューアルにより、グループ学習室等を新設しています。

西館ホール
170席（最大200席）の多目的ホールです。観覧席は電動式で、収納すれば広々としたフロアになります。

ミレニアムホール
中央館1Fにある多目的ホールです。講演会やコンサートなど、様々なイベントに対応できます。

マロンルーム
自習に利用できる落ち着いた雰囲気のオープンスペースです。

附属学校統括機構
附属学校園

本学は、令和2年度に、大学と附属学校園をつなぐ組織として、附属学校統括機構を設け、その機構のもとに高等学校3校舎を含む11の附属学校園（小学校：3校、中学校：3校、高等学校：1校3校舎、特別支援学校：1校、幼稚園：1園）を設置する体制へと改革しました。附属学校統括機構は、円滑な学校園の運営、指導、教育、研究及び学校安全等の充実を図るとともに、さらに大学部局との連携強化に取り組んでいます。また、附属学校園にあっては、大学の教育研究・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとにテーマを持って研究に取り組み、連絡進学をはじめとする相互連携も行っています。

附属学校統括機構

天王寺地区	附属天王寺小学校
	附属天王寺中学校
	附属高等学校天王寺校舎
池田地区	附属池田小学校
	附属池田中学校
	附属高等学校池田校舎
平野地区	附属幼稚園
	附属平野小学校
	附属平野中学校
	附属高等学校平野校舎
	附属特別支援学校

天王寺地区

研究テーマ

人間と科学の調和を拓くリテラシー教育（平成22年度～）

物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざしています。

特色ある取組

小中高連携による生徒の資質育成

天王寺地区では小中高の生徒の協働活動を通じて、将来につながる資質の育成に努めています。教員志望の高校生が小学校に出向いて行う支援活動や、小中高連携の宿泊型避難訓練など、実際的な活動の場を作っています。

附属天王寺小学校

本校は、長年教科研究を深めるべく、校内研修・校内研究を推進し、その成果を毎年授業研究会で、全国の先生方・教員をめざす学生たちに広く公開しています。また、平成30年度には、文部科学省の事業委託を受け、働きやすい環境づくりをめざして、業務改善を進めました。さらに令和2年度、3年度には、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として「教科横断的な学習としてのSTEAM教育」を推進し、令和元年度から設置している「ぼうさい科」も含めた汎用性の高いカリキュラムの開発に力を注いでいます。

附属天王寺中学校

「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。

附属高等学校天王寺校舎

生徒の自主的な創意工夫を尊重した、協働的な学習・教育環境を作っています。本物・実物の体験を重視し、生徒の自治会活動なども含め、多様な知的好奇心に応える活動の場を提供しています。スーパーサイエンスハイスクール（SSH）第3期がはじまり、国際的に協働する文理融合型学習者の育成をめざし、姉妹校である米国・タイの理数科高校との交流も積極的に進めています。

池田地区

研究テーマ

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成（令和５年度～）

持続可能な社会の実現に向けて、「安全」等の様々な課題を自分のこととして捉えられるよう、そして、多面的な視点で論理的・批判的に考え、主体的に学び続けることで、VUCAの未来を自主・自律の精神をもって生きてゆくことができる資質・能力の育成をめざしています。

特色ある取組

「グローバル市民性が育つ学び」に向けて

「グローバル市民性とは何か」を子どもの姿から見出し、12年間の教育活動において、発達の段階に応じた学習目標の設定・評価方法の構築をめざします。さらに、それらを教科学習に還元し、池田地区（小中高）が一体となって、新しい社会の創造に貢献できる資質・能力を追究していきます。

附属池田小学校

学校安全の取組が認められ、平成27年３月に日本で最初のセーフティプロモーションスクールに認証されました。「安全教育」「道徳教育」「協働活動」を通じて、自他の命や考えを大切にし、共によりよい社会を築こうとする資質を養う教育を行っています。また、教育研修会を開催し全国の教員の方々と交流して、よりよい授業づくりを研究を推進しています。

附属池田中学校

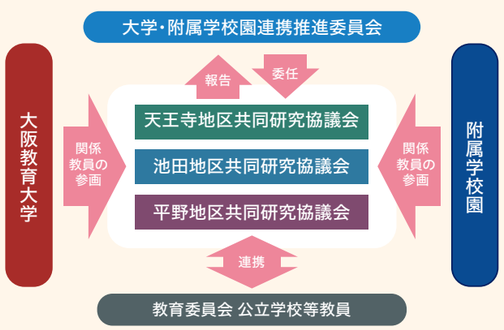
自主・自律の精神のもと、コミュニケーション力、探究力を重視し、「安全教育」「道徳教育」「地域活動」を通じて、世界や社会の課題に向き合い、多様な人々と共に生きる豊かな心を育む教育を行っています。また、平成27年３月にセーフティプロモーションスクールに認証され、令和２年１月に国際バカロレアワールドスクールに認定されました。

附属高等学校池田校舎

自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、「安全教育」「国際教育」「創造活動」を通じて、持続可能な社会の実現に向けた課題を世界の人々と協働して創造的に解決する力を養う教育を行っています。令和２年度からWWLコンソーシアム構築支援事業の共同実施校となり、令和４年３月にはセーフティプロモーションスクール認証校となりました。

大学・附属学校園との共同研究

大学・附属学校園連携推進委員会の下に設置した各地区（天王寺、池田、平野）共同研究協議会において、地区ごとに共同研究テーマを設定し、学校教育の充実と発展に寄与する共同研究を行い、国の拠点校、地域のモデル校となるよう、附属学校園を活用した教育研究の推進をめざしています。中期計画・年度計画にも共同研究の推進が謳われており、地区ごとに設定した共同研究テーマを３～４年計画で推進するための取組が進められています。



平野地区

研究テーマ

生涯発達的視点に基づいた校種間連携型一貫教育（平成28年度～）

すべての校種が近接する地区の特色を生かし、五校園が日常的に連携して子どもたちの交流・共同学習や教員の協働と研究を進めています。なかでも、幼稚園から高校まで学び続ける環境と特別な支援を得ながら育つ環境に基づく、全国的にもめずらしい「五校園共同研究」に取り組み、長期的な子どもの成長の視点にたった主体性の育成や探究的な学びの指導など、今日的な教育課題に焦点をあてた研究に邁進しています。

特色ある取組

地域との連携・地域への発信　―平野の学びを子どもたち・教員へ―

国内外の様々な人たちと創る新しい学びを積極的に組み入れ、多様性の理解に基づく多文化共生社会の実現をリードするイノベーティブなグローバル人材の育成をめざしています。「ステップアップ研修」や「オープンカフェ」「課題研究研修会」等の教員研修会や、地域及び支援学校等に向けた特別支援に関する相談・支援事業をとおし、各校園の研究成果を積極的に発信しています。

附属幼稚園

「すこやかに、あたたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境（実のなる木、様々な動物等）、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。

附属平野小学校

教育目標「ひとりで考え　ひとと考え　最後までやりぬく子」を基盤とし、平成28年度から文部科学省研究開発学校に指定され、新教科「未来そうぞう科」を設立した後、現在も教育課程特例校として「未来をそうぞうする子ども」を育成する研究を進めています。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかなる成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

附属平野中学校

本校では、学び続けるための基礎基本として、「自ら気づく力」「深める力」「創造する力」を育むことをめざしています。学校・家庭・地域が一体となり、さらに平野地区の五つの校園の叡智を集結しながら教育実践を重ねています。また、「附中生は行事で育つ」と言われるように、授業だけでなく、特色のある学校行事も活かしながら、自律への意志や協働への意欲を高めています。

附属高等学校平野校舎

スーパーグローバルハイスクール（SGH）に続き、令和２年度よりワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業（WWL）・拠点校に指定され、国内・海外の大学・高校・協働機関、平野五校園等と連携し、多文化・多様性を理解し主体的に探究するグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。また、独自に開発した「探究的な学習の指導法（平野メソッド）」の普及にも力を注いでいます。

附属特別支援学校

本校は、知的発達障害のある児童生徒が学んでいる学校です。一人ひとりの存在と個性を尊重した教育支援を日々実践しています。小学部から中学部、そして高等部まで一貫したキャリア教育の視点を取り入れ、自ら考え行動できること（自立）、仲間と支え合い共に活動できること（相互依存）、主体的に社会に関われること（社会参加）を目標として、子ども・保護者・地域にとって魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

就職 DATA

就職実績

令和4年度 卒業・修了生就職状況

※平成29年度に行いました学部改組以降の入学生について記載しています。

本学は、全ての学校種別と教科を網羅する
西日本最大の教員養成大学として、
毎年約1,000人の卒業生を輩出しています。
近年は、正規教員採用試験合格者数
全国トップクラスの実績を誇る教員のみならず、
公務員や一般企業の就職においても
高い評価を得ています。

EMPLOYMENT RECORD

教育学部

（令和5年5月1日現在）

課程・専攻コース			就職者 教員 公立学校 小学校	義務教育学校	中学校	中等教育学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼保連携こども園	公立学校以外の教員	小計	自営業	保育所等	農業・林業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉（保育所等を除く）	サービス業	小計	公務員（教員・保育士を除く）	進学	未就職 教員志望	教員以外志望	大学・短大等	その他	不明者	合計
教員養成課程	初等教育教員養成課程	幼児教育							7 (2)	6 (0)	13 (2)									1						1		2		2						17 (2)
		小学校教育 昼間コース	37 (5)								37 (5)									2								2	4	1	2		1				45 (5)
		小学校教育 夜間5年コース	20 (6)							1 (1)	21 (7)					1		2	1							2		3	9	1	5						36 (7)
		小学校教育 夜間5年コース（3年次編入学）	11 (9)							1 (1)	12 (10)								2										2	1	2						17 (10)
		特別支援教育	5 (0)					25 (3)			30 (3)									1	1							2	4	4	3						41 (3)
	学校教育教員養成課程 小中教育	学校教育	18 (4)								18 (4)							1										4		2	7	1				1	27 (4)
		国語教育	15 (3)			4 (1)			4 (0)		1 (1)	24 (5)	1								1		1						1	4	4	1						33 (5)
		英語教育	8 (2)					2 (0)				10 (2)						1												1		1					12 (2)
		社会科教育	17 (8)			4 (2)					2 (1)	23 (11)					1			1		1					2	1	2	8	6			1			38 (11)
		数学教育	9 (2)			2 (2)		6 (2)			2 (2)	19 (8)								1							1			2		1		1			23 (8)
		理科教育	14 (4)	1 (1)		8 (4)		1 (1)			3 (3)	27 (13)								2							2			4		1		1			33 (13)
		家政教育	7 (0)			1 (1)					1 (1)	9 (2)					1													1	1	1					12 (2)
		保健体育	10 (0)			1 (0)		1 (1)	1 (1)			13 (2)					1			1		2		5				1	10	1	4	1					29 (2)
		音楽教育	6 (1)			1 (0)						7 (1)								1								1	2		3						12 (1)
		美術・書道教育	4 (0)			2 (0)						6 (0)					2					1		1					4	1	3	1					15 (0)
	学校教育教員養成課程 中等教育	国語教育				2 (0)		4 (3)			2 (2)	8 (5)								1									1								9 (5)
		英語教育				5 (0)		2 (0)			2 (2)	9 (2)															1		1	1	1		1				13 (2)
		社会科教育				2 (2)		1 (0)			3 (3)	6 (5)								2							2			4	1	1						12 (5)
		数学教育				8 (1)		3 (1)			3 (3)	14 (5)				1													1	2		4					20 (5)
		理科教育				6 (0)					4 (4)	10 (4)									2							1		3	1	7					21 (4)
		技術教育				2 (0)		2 (1)				4 (1)					1													1	1	1		1			8 (1)
		家政教育				4 (0)						4 (0)					1						1							2	1			1			8 (0)
		保健体育	1 (0)			3 (2)		1 (1)				5 (3)						1	1									1	1	4		2					11 (3)
		音楽教育				7 (3)					1 (1)	8 (4)																	1	1		2					11 (4)
		美術・書道教育				6 (1)		1 (1)			1 (1)	8 (3)																1		1		2			1		12 (3)
	養護教諭養成課程		11 (7)	1 (1)		2 (2)		5 (4)		5 (5)	24 (19)										1		1					3	1	1						29 (19)
	小計		193 (51)	2 (2)		70 (21)	0 (0)	33 (15)	26 (4)	7 (2)	38 (31)	369 (126)	1	0	1	2	8	0	12	3	12	1	8	1	1	0	18	4	15	87	27	50	2	7	0	2	0	544 (126)

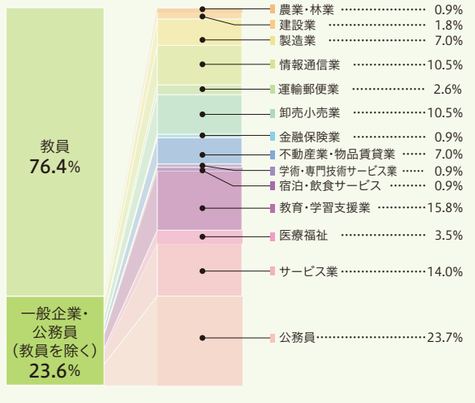
教育学部

（令和5年5月1日現在）

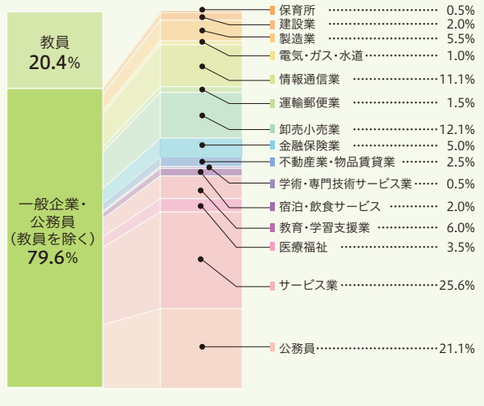
課程・専攻コース		就職者 教員 公立学校 小学校	義務教育学校	中学校	中等教育学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼保連携こども園	公立学校以外の教員	小計	自営業	保育所等	農業・林業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉（保育所等を除く）	サービス業	小計	公務員（教員・保育士を除く）	進学	未就職 教員志望	教員以外志望	大学・短大等	その他	不明者	合計
教育協働学科	教育心理科学																2		2	1		1	2		3	1	6	18	9	8		3				38 (0)
	健康安全科学	4 (2)		1 (1)				1 (1)	1 (0)	7 (4)				1	3		1		4	2					1	1	5	18	5	4		2			1	37 (4)
	理数情報 数理情報			7 (3)		6 (2)				13 (5)							9			2	2						3	16		8		1				38 (5)
	理数情報 自然科学			3 (1)		1 (1)				4 (2)				1	3	2	5	1	5	1	1				1	1	7	28	10	14		1				57 (2)
	グローバル教育 英語コミュニケーション			2 (0)		2 (0)			1 (1)	5 (1)		1			1		3	1	3						1		5	15	3	4						27 (1)
	グローバル教育 多文化リテラシー			4 (1)		1 (1)				5 (2)					1		2		2	1			1		1	3	7	18	5	6		3				37 (2)
	芸術表現 音楽表現	1 (1)		7 (1)		1 (1)			1 (1)	10 (4)	5							1	5	1	2		1		1		6	22	3	8	1	1				45 (4)
	芸術表現 美術表現					1 (0)			1 (1)	2 (1)					1				1						0		2	4		3						9 (1)
	スポーツ科学			3 (1)		1 (1)			1 (1)	5 (3)				2	2				3						4	1	6	18	7	15		1				46 (3)
	小計	5 (3)	0 (0)	27 (8)	0 (0)	13 (6)	0 (0)	1 (1)	5 (4)	51 (22)	5	1	0	4	11	2	22	3	24	9	5	1	4	0	12	7	47	157	42	70	1	12	0	0	1	334 (22)
教育学部合計		198 (54)	2 (2)	97 (29)	0 (0)	46 (21)	26 (4)	8 (3)	43 (35)	420 (148)	6	1	1	6	19	2	34	6	36	10	13	2	5	0	30	11	62	244	69	120	3	19	0	2	1	878 (148)

注）1（ ）内は、期限付講師等で内数　　注）2 教員志望及び教員以外志望は就職希望であり、未内定者　　注）3 その他は、アルバイト・就職不志望等

教員養成課程



教育協働学科



就職DATA「3つのPOINT」

POINT 01

教員志望者における教員就職率 99.5%（講師含む。令和4年度末学部卒業者）

教員に就職するには、都道府県等もしくは私立学校が実施する教員採用試験を受ける方法が一般的です。
教員採用試験の内容は各自治体の教育委員会によって異なりますが、一般的には次のような試験が実施されています。

第1次選考	面　接	個人面接、集団面接、集団討論など
	筆答試験（択一式）	教職教養（教育心理、教育法規など） 思考力・判断力 ※大阪府4地区のみ 一般教養 ※大阪府以外
第2次選考	面　接	個人面接、模擬授業、場面指導など
	筆答試験（記述式）	専門科目
	実　技	水泳、器械運動、音楽など

POINT 02

大学院進学者もそのほとんどが国公立の大学院に

もっと知識・技能を身に付けてから、社会に貢献したいと考えて大学院に進学する学生も多くいます。
学部卒の大学院（専攻科含む）進学者のうち95人が国公立の大学院（専攻科含む）に進学しています。
令和4年度の主な進学実績は以下のとおりです。

大学院名	人　数
大阪教育大学大学院、連合教職大学院、特別専攻科	57人
奈良先端科学技術大学院大学	9人
大阪大学大学院	5人
京都大学大学院、神戸大学大学院	各4人

POINT 03

就職支援行事は年間 174回開催（令和4年度実績）

教員・企業・公務員就職希望者それぞれを対象とした多種多様な就職支援行事を、年間を通じ計画的に実施しています。
各就職相談室のアドバイザーによる面接指導や個別相談は、進路に応じたきめ細やかなサポートを行い、
学生の皆さんの夢の実現を力強くバックアップします。

区　分	主な行事	回　数
教員就職支援	教採対策講座、教育委員会・私学学校の 採用担当者を招いた説明会 など	111回
企業・公務員就職支援	面接講座、職種・業界研究セミナー、企業等の 採用担当者を招いた合同企業セミナー など	63回

令和4年度の教員就職支援の講座利用件数は2,491件、企業・公務員就職支援の講座利用件数は1,538件
（ともに延べ数）でした。

学生DATA

学生数

（令和5年5月1日現在）

NUMBER OF STUDENTS

教育学部　第一部

注　（　）内は外国人留学生で内数

課程・学科			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	男	女	計
教員養成課程	平成28年度以前入学生	幼稚園教員養成課程	—	—	—	—	—	—	—	—
		学校教育教員養成課程	—	—	—	5	—	4	1	5
		特別支援教育教員養成課程	—	—	—	2	—	2	0	2
		養護教諭養成課程	—	—	—	1	—	0	1	1
	平成29年度以降入学生	初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	17	17	17	18（1）	—	6	63（1）	69（1）
		初等教育教員養成課程 小学校教育専攻（昼間コース）	46	46	47	45	—	39	145	184
		初等教育教員養成課程 小学校教育専攻（夜間5年コース）	38	38	43	41	42	98	104	202
		初等教育教員養成課程 小学校教育専攻（夜間5年コース 3年次編入学）	—	—	23	25	30	37	41	78
		学校教育教員養成課程	430	425	443（2）	496（4）	—	880（2）	914（4）	1794（6）
		養護教諭養成課程	31	30	31	32	—	0	124	124
	合　計		562	556	604（2）	665（5）	72	1066（2）	1393（5）	2459（7）
教養学科	平成28年度以前入学生	人間科学専攻	—	—	—	1	—	1	0	1
		文化研究専攻	—	—	—	1	—	0	1	1
		数理科学専攻	—	—	—	1	—	1	0	1
		自然研究専攻	—	—	—	2	—	1	1	2
		情報科学専攻	—	—	—	2	—	2	0	2
		健康生活科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—
		スポーツ専攻	—	—	—	—	—	—	—	—
		芸術専攻	—	—	—	1	—	1	0	1
	合　計		0	0	0	8	0	6	2	8
教育協働学科	平成29年度以降入学生	教育心理科学	41（8）	36（7）	43（10）	43（9）	—	55（17）	108（17）	163（34）
		健康安全科学	35（3）	36（3）	36（2）	35（4）	—	17（6）	125（6）	142（12）
		理数情報	95（6）	108（8）	97（13）	115（9）	—	298（23）	117（13）	415（36）
		グローバル教育	87（24）	71（18）	76（17）	93（23）	—	112（42）	215（40）	327（82）
		芸術表現	50	48	52	60（1）	—	46	164（1）	210（1）
		スポーツ科学	53（3）	50	54	59	—	134（3）	82	216（3）
	合　計		361（44）	349（36）	358（42）	405（46）	0	662（91）	811（77）	1473（168）

教育学部　第二部（小学校教員養成5年課程）

区　分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	男	女	計
1年次入学	—	—	—	—	1	0	1	1
3年次編入学	—	—	—	—	2	1	1	2
合　計	0	0	0	0	3	1	2	3

大学院教育学研究科

注　（　）内は外国人留学生で内数

専　攻		1年次	2年次	男	女	計
平成30年度以前入学生	学校教育専攻	—	—	—	—	—
	国語教育専攻	—	—	—	—	—
	社会科教育専攻	—	—	—	—	—
	数学教育専攻	—	—	—	—	—
	理科教育専攻	—	—	—	—	—
	英語教育専攻	—	—	—	—	—
	家政教育専攻	—	—	—	—	—
	音楽教育専攻	—	—	—	—	—
	美術教育専攻	—	—	—	—	—
	保健体育専攻	—	—	—	—	—
	特別支援教育専攻	—	—	—	—	—
	技術教育専攻	—	—	—	—	—
	養護教育専攻	—	—	—	—	—
	実践学校教育専攻（夜間）	—	—	—	—	—
令和2年度以前入学生	健康科学専攻（夜間）	—	5	2	3	5
	総合基礎科学専攻	—	—	—	—	—
	国際文化専攻	—	—	—	—	0
	芸術文化専攻	—	3	2	1	3
令和3年度以降入学生	高度教育支援開発専攻	54（17）	52（12）	41（11）	65（18）	106（29）
合　計		54（17）	60（12）	45（11）	69（18）	114（29）

連合教職実践研究科

専　攻	1年次	2年次	男	女	計
高度教職開発専攻	104（2）	112	124	92（2）	216（2）

特別支援教育特別専攻科

専　攻	男	女	計
特別支援教育専攻	10	20	30

令和5年度 学部入試結果（志願者数等）

この頁に記載の内容は昨年度実施の令和５年度学部入試結果になります。
今年度に実施する令和６年度学部入試の入学者選抜方法については、
令和6年度入学者選抜要項にてご確認ください。

課程・学科	専　攻	コース	共通テストの利用教科・科目パターン	日　程	個別学力検査等	募集人員（●）	志願者数	受験者数（■）	合格者数	受験倍率（■÷●）	配　点		配点合計	合格者の共通テスト平均	合格者の総合平均	合格者の総合最高	合格者の総合最低
											共通テスト	個別					
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		A〈文理〉	課す推薦（※）	音楽実技、面接、活動報告書等	3	19	19	3	6.3	900	560	1460	※	※	※	※
				前　期	面接、活動報告書等	12	31	27	14	2.3	900	360	1260	609.1	896.3	985	829
	小学校教育専攻	昼間コース	A〈文理〉	課す推薦	面接、活動報告書等	15	47	47	16	3.1	900	390	1290	※	※	※	※
				課す推薦（特別枠）（※）	面接、活動報告書等	5	13	13	1	2.6	◆	390	390◆	※	※	※	※
				前　期	小論文、活動報告書等	15	41	30	20	2.0	900	360	1260	566.4	800.8	1013	733
				後　期	面接、活動報告書等	10	68	26	10	2.6	900	510	1410	610.8	1009.2	1094	939
		夜間５年コース	A〈文理〉	前　期	小論文、活動報告書等	25	60	56	27	2.2	900	360	1260	501.2	748.8	814	716
				後　期	面接、活動報告書等	15	92	40	16	2.7	900	510	1410	488.6	896.2	983	857
	初等教育教員養成課程　小　計					100	371	258	107	2.6							
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		B〈文系〉	課す推薦	面接	7	14	14	8	2.0	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	小論文	30	47	38	31	1.3	900	300	1200	530.2	741.0	865	615
				後　期	小論文、面接	8	56	10	7	1.3	900	450	1350	498.9	833.3	934	719
	小中教育専攻	学校教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面接	8	18	17	8	2.1	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	小論文	17	55	47	19	2.8	900	300	1200	593.7	790.5	849	761
		国語教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面接	7	7	7	7	1.0	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	国語、面接	23	49	45	24	2.0	900	600	1500	586.8	875.7	952	807
				後　期	小論文、面接	10	62	26	10	2.6	900	600	1500	590.5	992.5	1114	860
		英語教育コース	A〈文理〉	課す推薦	面接	4	8	8	4	2.0	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	英語	11	21	15	12	1.4	1000	400	1400	675.3	966.0	1065	781
		社会科教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面接	10	25	25	10	2.5	1100	350	1450	※	※	※	※
				前　期	小論文	25	57	48	27	1.9	900	300	1200	623.2	804.7	886	762
		数学教育コース	C〈理系〉	前　期	数学、理科	15	31	31	16	2.1	900	650	1550	608.7	1032.8	1137	963
				後　期	数学	10	47	22	10	2.2	900	600	1500	608.9	799.4	961	676
		理科教育コース	C〈理系〉	課す推薦	面接	5	20	20	5	4.0	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	理科	25	64	60	28	2.4	1100	600	1700	719.6	1187.4	1308	1084
				後　期	面接	5	34	12	5	2.4	1300	600	1900	※	※	※	※
		家政教育コース	A〈文理〉	課す推薦	面接	2	1	1	1	0.5	900	600	1500	※	※	※	※
				前　期	小論文	8	29	27	10	3.4	900	300	1200	559.3	767.6	807	742
		保健体育コース	D〈文理〉	前　期	体育実技	20	50	49	22	2.5	700	560	1260	451.3	898.0	1032	832
				後　期	体育実技	10	66	24	10	2.4	700	400	1100	453.5	751.5	838	699
		音楽教育コース	D〈文理〉	課す推薦	音楽実技	3	10	10	3	3.3	700	560	1260	※	※	※	※
				前　期	音楽実技	7	16	14	7	2.0	700	560	1260	448.9	930.3	1052	883
		美術・書道教育コース	D〈文理〉	前　期	美術実技、面接／書道実技、面接	10	9	9	8	0.9	700	550	1250	385.5	863.0	936	749
				後　期	美術実技／書道実技	5	28	6	5	1.2	700	550	1250	※	※	※	※
	中等教育専攻	国語教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面接	3	8	8	4	2.7	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	国語、面接	7	22	20	7	2.9	900	600	1500	634.7	947.9	987	910
		英語教育コース	A〈文理〉	課す推薦	面接	4	15	15	5	3.8	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	英語	11	22	20	12	1.8	1000	400	1400	726.3	1002.7	1076	950
		社会科教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面接	4	23	23	5	5.8	1100	350	1450	※	※	※	※
				前　期	小論文	6	20	17	7	2.8	900	300	1200	657.3	830.9	891	797
		数学教育コース	C〈理系〉	前　期	数学、理科	10	28	28	10	2.8	900	650	1550	649.8	1066.6	1138	1002
				後　期	数学	15	72	36	16	2.4	900	600	1500	632.6	888.3	991	763
		理科教育コース	C〈理系〉	課す推薦	面接	3	21	21	4	7.0	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	理科	18	51	44	18	2.4	1100	600	1700	758.4	1229.4	1459	1164
				後　期	面接	4	44	22	4	5.5	1300	600	1900	※	※	※	※
		技術教育コース	—	課さない推薦（※）	小論文、面接	4	3	3	3	0.8	-	500	500	※	※	※	※
			C〈理系〉	前　期	小論文、面接、調査書、志望理由書	6	12	10	6	1.7	900	510	1410	※	※	※	※
		家政教育コース	A〈文理〉	課す推薦	面接	3	2	2	1	0.7	900	600	1500	※	※	※	※
				前　期	小論文	5	11	10	7	2.0	900	300	1200	555.6	762.1	820.0	709.0
				後　期	面接	2	17	4	2	2.0	900	600	1500	※	※	※	※
		保健体育コース	D〈文理〉	課す推薦	体育実技、面接、証明書	5	5	5	4	1.0	700	560	1260	※	※	※	※
				前　期	体育実技	5	16	14	7	2.8	700	560	1260	479.1	901.0	952	858
		音楽教育コース	D〈文理〉	課す推薦	音楽実技	3	5	5	3	1.7	700	560	1260	※	※	※	※
				前　期	音楽実技	7	11	8	7	1.1	700	560	1260	357.0	830.4	859	797
		美術・書道教育コース	—	課さない推薦【美術分野のみ】	小論文、美術実技、面接、志望理由書	3	5	5	4	1.7	-	500	500	※	※	※	※
			D〈文理〉	前　期	美術実技、面接／書道実技、面接	7	8	7	5	1.0	700	550	1250	※	※	※	※
	学校教育教員養成課程　小　計					420	1,245	912	438	2.2							
養護教諭養成課程			A〈文理〉	前　期	小論文	25	50	48	25	1.9	900	300	1200	610.0	840.5	928	807
				後　期	面接	5	60	19	6	3.8	900	300	1200	※	※	※	※
教員養成課程　合　計						550	1,726	1,237	576	2.2							
教育協働学科	教育心理科学専攻		A〈文理〉	前　期	小論文	20	48	47	25	2.4	900	450	1350	602.8	943.2	1004	903
				後　期	小論文	10	123	45	11	4.5	900	650	1550	642.4	1142.0	1220	1098
	健康安全科学専攻		A〈文理〉	前　期	小論文	25	41	39	30	1.6	900	400	1300	556.9	854.0	945	795
				後　期	面接	6	58	14	6	2.3	900	400	1300	※	※	※	※
	理数情報専攻	数理情報コース	C〈理系〉（注7）	前　期	数学、理科	19	65	64	20	3.4	900	650	1550	572.1	1001.7	1085	949
				後　期	数学	16	129	70	21	4.4	900	600	1500	621.8	906.5	1066	788
		自然科学コース	C〈理系〉（注7）	前　期	数学、理科	34	71	67	42	2.0	900	600	1500	557.7	911.2	1149	808
				後　期	面接	20	100	45	21	2.3	900	500	1400	613.5	970.7	1056	888
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	B〈文系〉	課す推薦	面接	5	13	13	5	2.6	1100	600	1700	※	※	※	※
				前　期	英語	12	62	55	20	4.6	1100	600	1700	743.3	1229.7	1292	1189
		多文化リテラシーコース	E〈文理〉	課す推薦	面接	10	11	11	11	1.1	500	300	800	※	※	※	※
				前　期	小論文	26	44	33	31	1.3	500	300	800	344.6	533.5	612	419
	芸術表現専攻	音楽表現コース	—	課さない推薦	小論文、音楽実技、証明書、志望理由書	9	26	26	10	2.9	-	500	500	※	※	※	※
			E〈文理〉	前　期	音楽実技、志望理由書	25	46	46	27	1.8	500	500	1000	271.9	717.9	806	※
				後　期	音楽実技、志望理由書	6	53	24	6	4.0	500	480	980	※	※	※	※
		美術表現コース	E〈文理〉	前　期	美術実技	5	18	17	6	3.4	500	460	960	※	※	※	※
				後　期	美術実技	5	40	22	5	4.4	500	500	1000	※	※	※	※
	スポーツ科学専攻		—	課さない推薦	小論文、体育実技、面接、証明書	20	40	39	21	2.0	-	500	500	※	※	※	※
			E〈文理〉	前　期	体育実技	17	110	100	22	5.9	500	500	1000	330.4	761.2	814	※
				後　期	体育実技	10	157	82	10	8.2	500	450	950	353.8	734.2	756	※
教育協働学科　合　計						300	1,255	859	350	2.9							
私費外国人留学生	教育協働学科	教育心理科学専攻	—	日本留学試験・個別試験（小論文・面接）		10	18	14	9	1.4							
		健康安全科学専攻	—	日本留学試験・個別試験（小論文・面接）		4	5	5	3	1.3							
		理数情報専攻	—	日本留学試験・個別試験（数学・面接／小論文・面接）		11	15	14	8	1.3							
		グローバル教育専攻	—	日本留学試験・個別試験（英語・面接／小論文・面接）		22	39	30	25	1.4							
		芸術表現専攻	—	日本留学試験・個別試験（音楽実技・面接／美術実技・面接）		若干人	-	-	-	-							
		スポーツ科学専攻	—	日本留学試験・個別試験（体育実技・面接）		3	6	6	3	2.0							
教育学部　総　計						900	3,064	2,165	974								

※課さない推薦：大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜を表しています。
　課す推薦：大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を表しています。
　課す推薦（特別枠）：大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）を表しています。

※ 学校推薦型選抜及び合格者数が６人以下の募集区分については、合格者の成績情報は公開していません。
※ 一部の専攻の合格者の総合最低点は公開していません。

パターン	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科目名等	
A〈文理〉 5教科7～8科目 又は 6教科7～8科目	国	国	必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓	から1
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1又は2
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	から1
	理	〔地歴公民から2科目選択した場合〕 A：物基、化基、生基、地基 から2 B：物、化、生、地 から1	A又はB
		〔地歴公民から1科目選択した場合〕 C：物基、化基、生基、地基 から2 並びに 物、化、生、地 から1（注6） D：物、化、生、地 から2	C又はD
B〈文系〉 5教科7～8科目 又は 6教科7～8科目	国	国	必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓	から1
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から2
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	から1
	理	A：物基、化基、生基、地基 から2 B：物、化、生、地 から1	A又はB
C〈理系〉 5教科7～8科目	国	国	必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓	から1
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	から1
	理	C：物基、化基、生基、地基 から2 並びに 物、化、生、地 から1（注6） D：物、化、生、地 から2	C又はD
D〈文理〉 5教科5～6科目	国	国	必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓	から1
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	
	理	A：物基、化基、生基、地基 から2 B：物、化、生、地 から1	A又はB
E〈文理〉 3教科3～4科目	国	国	必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓	から1
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	
	理	A：物基、化基、生基、地基 から2 B：物、化、生、地 から1	A又はB

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注１）教科・科目名は次のように略しています。
「国語」→国、「外国語」→外、「地理歴史」→地歴、「数学」→数、「理科」→理
「英語（リスニング含む）」→英（リ）、「ドイツ語」→独、「フランス語」→仏
「中国語」→中、「韓国語」→韓、「世界史Ａ」→世Ａ、「世界史Ｂ」→世Ｂ
「日本史Ａ」→日Ａ、「日本史Ｂ」→日Ｂ、「現代社会」→現社、「倫理」→倫
「政治・経済」→政経、「倫理、政治・経済」→倫・政経、「数学Ⅰ」→数Ⅰ
「数学Ⅰ・数学Ａ」→数Ⅰ・数Ａ、「数学Ⅱ」→数Ⅱ、「数学Ⅱ・数学Ｂ」→数Ⅱ・数Ｂ
「簿記・会計」→簿、「情報関係基礎」→情報、「物理基礎」→物基
「化学基礎」→化基、「生物基礎」→生基、「地学基礎」→地基、「物理」→物
「化学」→化、「生物」→生、「地学」→地
（注２）指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴、公民から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合、又は理科（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第１解答科目、後半60分で受験した科目を第２解答科目とし、第１解答科目の成績を用います。
（注３）大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）また、英語以外を受験した場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま使用します。
（注４）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等において当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。
（注５）地理歴史及び公民については、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史Ａ」と「世界史Ｂ」、「日本史Ａ」と「日本史Ｂ」、「地理Ａ」と「地理Ｂ」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せをいいます。
（注６）理科については、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の４科目から２科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の４科目から１科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。
（注７）理数情報専攻数理情報コース及び理数情報専攻自然科学コースの後期の理科は、D：物、化、生、地から2のみになります。

【大学入学共通テストを課す推薦（特別枠）について】

◆ 大学入学共通テストを課す推薦（特別枠）については、個別試験の総合判定で、合格内定者を決定し、その合格内定者が大学入学共通テストにおいて、本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60％に達した場合、最終合格者となります。

入学料・授業料について

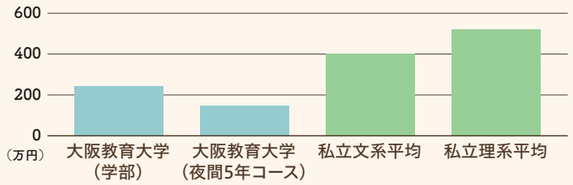
令和5年度入学	入学料	授業料（年額）	初年度納付金
学部	282,000	535,800	817,800
学部（夜間5年コース）	141,000	267,900	408,900
学部（3年次編入学）	141,000	267,900	408,900
大学院	282,000	535,800	817,800
大学院（長期履修学生制度の適用者）	282,000	357,200	639,200
特別支援教育特別専攻科	58,400	273,900	332,300

※上記金額は、令和5年度入学者の金額であり、令和6年度入学者については、変更される場合があります。
　また、このほか、大阪教育大学校友会費、テキストや英語能力測定試験、実習及び課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

■ 他大学との比較（卒業までにかかる金額）

学部4年間の納付金は、
私立文系平均の59.5%
私立理系平均の44.0%
夜間5年コースの納付金は、
私立文系平均の36.3%
となっています。

卒業までの納付金



※文部科学省「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」
　私立大昼間部の平均額より。

■ 授業料・入学料免除制度

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生などに授業料や入学料などの免除制度があります。
（令和2年度以降入学の学部・学部（夜間）入学者については、高等教育の修学支援新制度による授業料免除・入学料免除となります。）
※詳細は本学募集要項や合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

（参考）令和4年度授業料免除実績（経済的理由による）　（※）高等教育の修学支援新制度による免除との併用者含む

区　分	免除率	前　期		後　期		免除額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
学部	高等教育の修学支援新制度による免除	−	368	−	362	155,560,700
	全額免除（※）	65	19	68	29	8,930,000
	半額免除（※）		34		33	7,947,700
学部（夜間）	高等教育の修学支援新制度による免除	−	55	−	55	11,609,900
	全額免除（※）	8	4	13	7	1,116,150
	半額免除（※）		3		2	245,575
大学院・専攻科	全額免除	65	54	63	54	26,775,350
	半額免除		5		5	1,339,500
合　計						213,524,875

奨学金について

学業が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。
一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金があります。

参考　令和5年度入学者　日本学生支援機構の奨学金月額例

■ 給付奨学金

奨学金の種類	給付月額	
	自宅	自宅外
給付奨学金	29,200円（第Ⅰ区分） 19,500円（第Ⅱ区分） 9,800円（第Ⅲ区分）	66,700円（第Ⅰ区分） 44,500円（第Ⅱ区分） 22,300円（第Ⅲ区分）

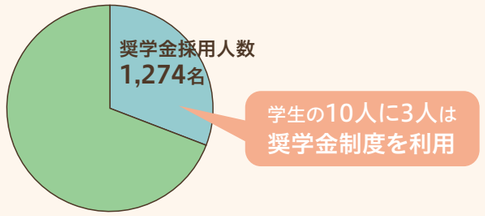
■ 貸与奨学金

奨学金の種類	貸与月額	
	自宅	自宅外
第一種奨学金（無利子）	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金（有利子）	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円	

参考　令和4年度日本学生支援機構奨学金支給実績（令和5年3月末時点）

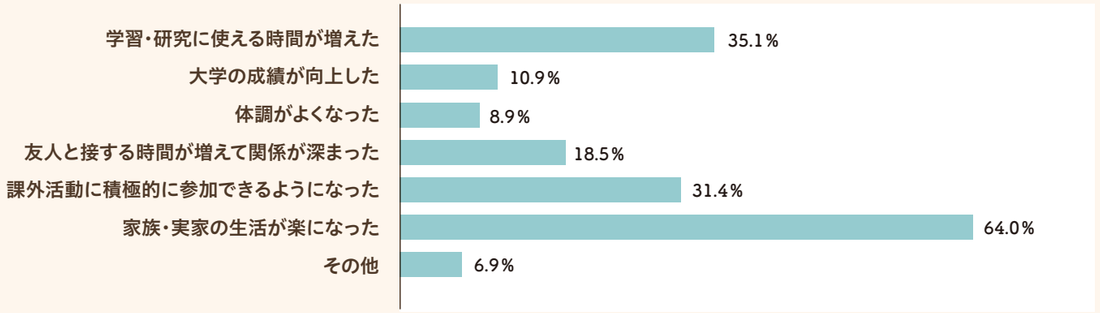
区分	日本学生支援機構奨学金					
	給付	第一種	第二種	合計	左記の内併用者（内数）	奨学金利用者数
学部	411	606	458	1,475	365	1,110
学部（夜間）	60	50	39	149	32	117
大学院・専攻科	−	40	12	52	5	47
合計						1,274

本学学生数［4,317名］



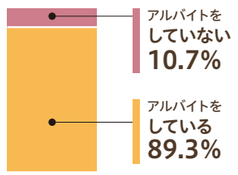
学生アンケート

授業料免除・奨学金を受けることで役に立ったと思うこと（令和元年度 学生生活実態調査より）　（複数回答可）



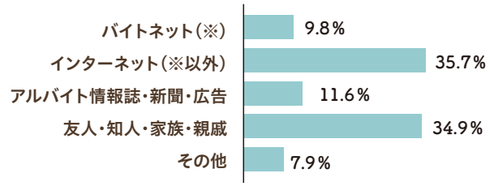
Column　大教生のアルバイト・お財布事情（令和元年度 学生生活実態調査より）

アルバイトしている割合



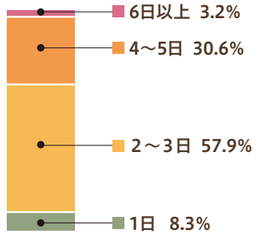
学生のアルバイト体験記は P.70 に掲載

主なアルバイト紹介元

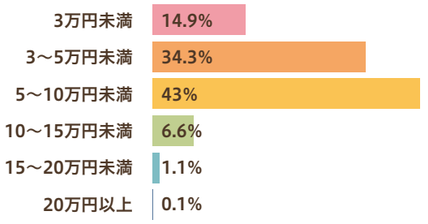


※バイトネット（学生アルバイト情報ネットワーク）は、
　学生へのアルバイト・家庭教師紹介業務を委託しているシステム

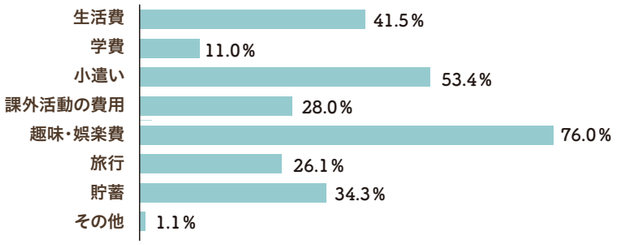
1週間のアルバイト日数



1ヶ月のアルバイト収入



アルバイトで得たお金の使い道　（複数回答可）



アドミッション・ポリシー　Admission Policy　【 入学者受入れの方針 】

【大阪教育大学教育学部】

❶ 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- 子どもの未来への関心があり、教職への強い意欲と関心、探究心を持つ人
- 教職に必要な知識と技能、教科に関わる専門分野への関心がある人
- 広く豊かな教養と多様性理解、協調性の修得をめざす人
- 現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- 一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- 日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

❷ 入学者選抜の基本方針

各課程・学科が求める学生を受け入れるために、学力の３要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価して入学者を選抜するため、一般入学者選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第３年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

【学校教育教員養成課程】

❶ 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- 教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

❷ 入学者選抜の基本方針

教員養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の３要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- 総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- 論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- 十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「志望理由書」の提出を求めます。
- 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「調査書及び志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- 総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- 論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- 総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- 論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

❸ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。

【養護教諭養成課程】

❶ 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- 養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

❷ 入学者選抜の基本方針

養護教諭養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の３要素を別表のとおり評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。

- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。

- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「面接」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。

❸ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学についての力を身に付けてください。学修していることを前提として講義を行います。

【教育協働学科】

❶ 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- 自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
- 自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い愛情を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- 一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- 日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

❷ 入学者選抜の基本方針

教育協働学科が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の３要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- 「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- 「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- 「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力や創作力を評価します。
- 「志望理由書」では、芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- 「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- 「志望理由書」では、芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- 「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- 「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- 「志望理由書」では、芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

❸ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

【大学院教育学研究科】

❶ 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として次に掲げる人材を広く求めます。

【高度教育支援開発専攻】

- 学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有している人
- 特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画する意欲を有している人
- 教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担う意欲を有している人

（心理・教育支援コース）

①学士課程において公認心理師国家試験受験資格に必要なすべての科目を修めており、修士課程において必要とされる科目を修める強い意志のある人

②心理支援に関する高度な知識とスキルを身につけ、社会に貢献しようとする強い意欲を有している人

③スクールカウンセラーや教育相談員等の専門職の立場から教育を支援する意欲を有している人

（国際協働教育コース）

①学士課程で学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的な知識と強い関心を有している人

②各国・地域の日本型教育システムに関する実践研究に取り組み、その成果を教育現場に反映させ、教育課題の解決の一翼を担う意欲を有している人

③日本語教育支援に関する実践研究に取り組み、教育を通して多文化共生社会の実現と持続に貢献しようとする意欲を有している人

④日本型教育システムや日本語教育支援についての研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有している人

（教育ファシリテーションコース）

①学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有している人

②以下のいずれかの専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有している人

- AI・ICT 等の先端技術、または、教育行政等に関する領域
- 社会教育や福祉、または、美術や音楽などの芸術活動に関する領域
- 医療や保健、スポーツなどの健康・安全に関する領域

❷ 入学者選抜の基本方針

大学院教育学研究科が求める学生を受け入れるために、次の大学院入学者選抜を実施します。

（一般選抜）

本選抜では、外国語科目と専門科目によって、大学院で学ぶために必要な外国語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します（教育ファシリテーションコースでは、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な読解力、思考力、文章表現力、専門的知識・技能を有しているかを評価します）。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。

（外国人留学生等選抜）

国際協働教育コースでは、外国人留学生を広く受け入れるために、外国人留学生等選抜を実施します。

本選抜では、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な日本語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な日本語能力、専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。

❸ 入学前に学習しておくことが期待される内容

（学部卒学生等）

- 大学卒業レベルと同等の基礎学力
- 専門分野に関する基本的な知識・技能

（社会人等）

- 教育現場や地域が抱える教育課題への強い関心と理解
- 専門分野に関する知識・技能・実践経験

（外国人留学生等）

- 大学卒業レベルと同等の基礎学力
- 母国における教育課題の理解
- 専門分野を学ぶための日本語能力

【大学院連合教職実践研究科】

❶ 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として次に掲げる人材を広く求めます。

- 学校や地域が抱える教育課題の解決において指導的・中核的な役割を果たすために求められる高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員及び教育委員会関係者
- 新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

❷ 入学者選抜の基本方針

大学院連合教職実践研究科が求める学生を受け入れるために、次の大学院入学者選抜を実施します。

［推薦選抜］

大学院入学者推薦選抜では、「課題レポート」・「口述試験」・「学修計画書」を課します。

- 「課題レポート」では、教職に必要とされる読解力、思考力、文章表現力を特に評価します。
- 「口述試験」において
  学部卒学生等では、教員として学び続ける意欲、教職に関わる実践的な知識・技法・大学院での学修計画を特に評価します。
  現職教員等では、教員として学び続ける意欲を持ち、自らの教員としてのキャリアと学修計画を関連づける思考力、判断力、表現力を特に評価します。
- 「学修計画書」において
  学部卒学生等では、学部での学修を踏まえ、教員として自らが身につけるべき資質・能力を明確にし、それを学校等における教育課題と関連づけた具体的な学修計画を特に評価します。
  現職教員等では、所属する組織の課題を把握し、その解決のために教員として自らが高めるべき資質・能力を明確にしている学修計画を特に評価します。

［一般選抜］

大学院入学者一般選抜では、「小論文」・「口述試験」・「学修計画書」を課します。

- 「小論文」では、教職に必要とされる読解力、思考力、文章表現力を特に評価します。
- 「口述試験」において
  学部卒学生等では、教員として学び続ける意欲、教職に関わる実践的な知識・技法・大学院での学修計画を特に評価します。
  現職教員等では、教員として学び続ける意欲を持ち、自らの教員としてのキャリアと学修計画を関連づける思考力、判断力、表現力を特に評価します。
- 「学修計画書」において
  学部卒学生等では、学部での学修を踏まえ、教員として自らが身につけるべき資質・能力を明確にし、それを学校等における教育課題と関連づけた具体的な学修計画を特に評価します。
  現職教員等では、所属する組織の課題を把握し、その解決のために教員として自らが高めるべき資質・能力を明確にしている学修計画を特に評価します。

❸ 入学前に学習しておくことが期待される内容

（学部卒学生等）

- 大学卒業レベルと同等の基礎学力
- 教職への基本的な知識・技能

（現職教員等）

- 教育全体や所属する組織の課題を理解し、課題解決をする力
- 組織の一員として協働して取り組む力
- 子ども一人ひとりを理解し、授業づくり、集団づくりを指導する力

【特別支援教育特別専攻科】

❶ 求める学生像

修了認定の方針に定める資質能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- 特別支援教育を担う教員をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- 特別支援教育の教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 障がいのある子どもたちの成長にかかわることにやりがいと使命を感じることができる人
- 人とコミュニケーションを図る優れた能力や個性を備えている人
- これまでの生活体験をとおして、学校や教育への親しみや関心を強く抱いている人

❷ 入学者選抜の基本方針

特別支援教育特別専攻科が求める学生を受け入れるために、入学者選抜を実施します。入学者選抜では、「小論文」・「面接」・「研究計画書」を課します。

- 「小論文」では、特別支援教育を担う教員として必要とされる読解力、理解力、思考力、文章構成力や表現力を特に評価します。
- 「面接」では、特別支援教育に関する幅広い知識や関心、特別支援教育に従事し貢献したいという強い意欲・使命感・責任感を特に評価します。
- 「研究計画書」では、特別支援教育に関する現状と課題を明確に理解した上で、多角的な視野から具体的な問題解決の見通しを有した研究計画を特に評価します。

❸ 入学前に学習しておくことが期待される内容

- 大学卒業レベルと同等の基礎学力
- 取得した教員免許状に基づく基本的な知識・技能及び教職実践力
- 特別支援教育及び関連分野に関する基本的な知識・技能
- 特別支援教育を担う一員として協働して取り組む力
- 特別なニーズを有する子どもたちの能力や可能性を最大限に引き出すための柔軟な思考力・行動力

			選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲
					知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
学校教育教員養成課程※	幼小教育専攻	幼児教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接			○	◎
				活動報告書			◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎			◎
		小学校教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書			◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		○
	次世代教育専攻	教育探究コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書			◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	○	○
				活動報告書			◎	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書			◎	○
		ICT教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
				小論文	○	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
				面接	○	◎	○	◎
	教科教育専攻	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接		○	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査		◎		
				面接			◎	◎
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文		◎		
				面接			◎	◎
		英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
		社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	○	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	△
		数学教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
		理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	◎
		技術教育コース	学校推薦型	小論文	○	◎		
				面接	○	○	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	◎	◎		
				面接	○	○	○	◎
				調査書及び志望理由書	△	△	○	◎
		家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	○	◎
		保健体育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	○		○
				実技検査	◎			
				競技成績に関する証明書	○			
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎			
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎			
		音楽教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎	○	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎	○	

			選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲
					知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
学校教育教員養成課程※	教科教育専攻	美術・書道教育コース	学校推薦型【美術】	小論文	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接	△	○	○	◎
				志望理由書		○	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接	△	○	○	◎
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査・美術	◎	◎	△	○
				実技検査・書道	◎	◎		
	特別支援教育専攻		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	◎	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	◎	◎	○	○
				面接	○	◎	◎	◎
	小学校教育（夜間）5年専攻		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		○
				活動報告書			◎	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書			◎	○
	養護教諭養成課程※		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
教育協働学科	教育心理科学専攻		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	
	健康安全科学専攻		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	
	理数情報専攻	数理情報コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
		自然科学コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	○	
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	
		多文化リテラシーコース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	○	
	芸術表現専攻	音楽表現コース	学校推薦型	小論文	○	◎		
				実技検査	◎	◎		
				演奏能力・創作力に関する証明書	◎		○	
				志望理由書		○	○	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	◎		
		美術表現コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	○	◎	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	○	◎	○	
	スポーツ科学専攻		学校推薦型	小論文	◎	○	○	
				実技検査	◎	○	○	
				面接	○	◎	○	
				競技成績に関する証明書	○	○	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	○	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	○	○	

※学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程については、教職に就く強い意欲を特に評価するために志望理由書を課します。
ただし、志望理由書は、教科教育専攻技術教育コースを除いて他の出願書類と同様に総合判定の際の資料として活用します。
（得点化は行いません。）

ディプロマ・ポリシー　Diploma Policy　【 卒業認定・学位授与の方針 】

【教育学部】

グローバル化、情報化の進展など変化の激しい予測困難な時代が到来し、教育現場では様々な対応が求められています。教員養成大学は、教育のデジタル化や新たなニーズへの対応など、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、探究心を持って自律的に新しい知識・技能を学び続け、子ども一人一人の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たし、多様な教育課題に対応して教育現場を担うことができる人材を養成することや、学校教員と連携し、協働して学校教育を支えることができる人材を育成することが社会から期待されています。

このような状況の下、本学教育学部では、実践的な教職能力を養う優れた教員養成教育を推進し、子どもの多様性の理解の下、幼児・児童・生徒一人一人の学びに寄り添い、子どもを自律的な学習者へと導くことができる学校教員を養成するとともに、教育への深い理解と高い専門的知識・技能をもって、様々な職業分野において他者と協働して、多様な教育的課題の解決を図ることができる人材を育成することを目標とします。

この目標に基づき、所定の単位を修得することによって、これらの人材に必要とされる資質・能力を身に付け、豊かな教養と知性とともに、優れた教職能力を持つ教諭・養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者、又は教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に学士（教育学）の学位を授与します。

【学校教育教員養成課程】

豊かな教養と知性とともに、優れた教職能力を持つ教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

（1）豊かな教養と広い視野
- 人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次教育を学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）教職に必要な素養
- 教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
- 教職員や校外の専門家、家庭や地域等を含めた他者と連携し、協働して課題を解決することの重要性を理解している。
- 人権意識を有し、学校教育に関する社会的、制度的、経営的事項、学校安全に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- 幼児・児童・生徒を自律的な学習者として導くことの意義を理解している。

（3）指導内容の理解と実践力
- 幼稚園の保育又は小学校の各教科及び所属するコースに対応する中学校・高等学校の教科や教科外の指導に必要な専門的知識・技能の基本を身に付けている。
- 学校教育における教育課程編成の意義と基本原理を理解し、教職員の配置や施設の維持管理の観点や教科横断的な視点をもって組織的に教育課程を編成の上、実施するとともに、学校の実態に応じてカリキュラムマネジメントを行うことの重要性を理解している。
- 子どもの興味・関心を引き出す教材研究を行いながら、学習指導や授業の設計、実践、評価、改善を行う仕組みを構想することができる。
- 学習環境の整備ができ、また、アクティブ・ラーニングを取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者を中心とする指導計画の立案や授業づくりができる。

（4）子どもへの対応の理解
- 生徒指導の意義や理論を理解し、他の教職員や専門家等と連携し、児童生徒に応じた指導や集団指導を実践することができる。
- 教育相談の意義や理論と幼児・児童・生徒を支援するために必要となる基礎的知識を有し、組織的な取り組みや学外の専門家等と連携する重要性を理解している。
- 進路指導やキャリア教育の意義を理解し、これらの視点からの授業改善やカウンセリングの充実に必要となる基礎的な知識を身に付けている。
- 子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
- 外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解したうえで、学校教員として対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けている。
- 道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法について理解している。

（5）ICTや教育データを利活用する力
- 学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを活用するとともに、幼児・児童・生徒のICT活用能力を育成するための授業を構想することができる。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、幼児・児童・生徒の学習の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。

（6）教職力量を自らひらく力
- 実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- 自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲を身に付けている。
- 生涯にわたる教師の成長の特性と学習のあり方を理解の上、学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

【養護教諭養成課程】

豊かな教養と知性とともに、優れた教職能力を持つ養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

（1）豊かな教養と広い視野
- 人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次教育を学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）教職に必要な素養
- 教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
- 教職員や校外の専門家、家庭や地域等を含めた他者と連携し、協働して課題を解決することの重要性を理解している。
- 人権意識を有し、学校教育に関する社会的、制度的、経営的事項、学校安全に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- 幼児・児童・生徒を自律的な学習者として導くことの意義を理解している。

（3）養護実践力
- 養護の理念や思想、養護学、学校保健や学校安全に係る基礎理論・知識を学び、養護教諭の役割を明確に理解している。
- 健康観察や健康診断の意義や方法、保健室の役割やその機能について理解している。
- 子どもの心身の健康に関して、健康相談や救急処置に係る基礎的な知識・技能を身に付けている。
- 学校におけるICTの活用の意義を理解し、保健管理や保健教育等の実践や校務等にICTを活用することができる。

（4）子どもへの対応の理解
- 生徒指導の意義や理論を理解し、他の教職員や専門家等と連携し、児童生徒に応じた指導や集団指導を実践することができる。
- 教育相談の意義や理論と幼児・児童・生徒を支援するために必要となる基礎的知識を有し、組織的な取り組みや学外の専門家等と連携する重要性を理解している。
- 進路指導やキャリア教育の意義を理解し、これらの視点からの授業改善やカウンセリングの充実に必要となる基礎的な知識を身に付けている。
- 子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
- 外国にルーツのある子どもや障がいのあるこどもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解したうえで、社会的包摂の理念を基盤とする学校として対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けている。
- 道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法について理解している。

（5）教職力量を自らひらく力
- 実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- 自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲を身に付けている。
- 生涯にわたる教師の成長の特性と学習のあり方を理解の上、学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性とともに、教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

（1）豊かな教養と広い視野
- 人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次教育を学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）教育理解
- 社会や教育現場のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
- 教育の理念や歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論、及び学校安全に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

（3）協働力
- 他者と協働して問題を分析し、その課題を整理することができる。
- 他者と協働して問題解決に向けてのプランを策定することができる。
- 課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

（4）専門的知識・技能
- 所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
- 専門的知識・技能を用いて、専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる。
- 専門的知識・技能を主体的に活用し、行動することができる。

（5）教育協働実践力

教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる。

カリキュラム・ポリシー　Curriculum Policy　【 教育課程編成・実施の方針 】

【教育学部】

教育学部の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学として、指定大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとします。

教養教育については、大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識の獲得とアカデミックライティングなどの大学生活を送る上で必要な資質・能力やキャリア教育も含めた教養教育の質的充実を図ります。

教員養成教育では、教育職員免許法を踏まえながら、学校教育の基礎的知識を修得し、指導内容と子どもへの対応の理解を深め、実践的な力量を育成するため、教育課程を編成します。

また、養務教育学校や教科担任制への対応として、複数の免許状取得に力点を置いた教職課程の編成を行うものとします。

教育・学習支援人材のための教育では、教育の基礎的知識と専門的知識・技能を修得し、他者と連携し、協働して諸課題の解決を図ることができる力量を育成することを目的として教育課程を編成します。

さらに、副専攻制度を拡充し、資格やその他の教育課題に対応するプログラムを編成し、学習者の主体的なキャリア志向に応じた履修を可能とするとともに、修了者には学修証明書等を授与し、学びを可視化します。

教育課程の編成にあたっては、卒業認定・学位授与の方針に定める「卒業時に必要とされる資質・能力」と授業科目との関連性について、教員と学生間で共有することを目的として、シラバスに明示するとともに、カリキュラムマップやナンバリングを活用して、その体系性を可視化します。

また、学生の実践的な力量を育成する取り組みとして、インターンシップ活動やサービスラーニングを導入するとともに、その活動を支援する体制の充実を図ります。

学生が学修を進める過程においては、履修登録科目の登録上限数（CAP制）を設定し、単位の実質化の取り組みを充実させます。

特に、学生の主体的な学修の促進を目的として、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れた授業を拡大し、ラーニング・コモンズなどの環境整備を推進するとともに、電子ポートフォリオを活用して、学修のふりかえりと指導教員からの指導・助言を踏まえた、学生自身による主体的な学びを支援します。

各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。

指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組むものとします。

成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとするとともに、それらがどのように成績に反映されるか、シラバスに明記するものとします。

評価基準の明確化や厳格な成績評価の実現に寄与することを目的として、GPA制度を導入し、その算定方法や活用方法を明示することによって、学習への意欲の増進や指導教員による履修指導の促進を図ります。

学生の学修成果については、履修カルテにおいて、「卒業時に必要とされる資質・能力」への到達度を把握するとともに、学生、教員及び就職先などからのアンケートを通じて、教育課程の編成及び実施についての評価・改善に取り組みます。

【学校教育教員養成課程】

学校教育教員養成課程の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学として、指定大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野

大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識の獲得とアカデミックライティングなどの大学生活を送る上で必要な資質・能力やキャリア形成に向けた語学運用能力、ICT活用能力の育成などを盛り込む教養教育の質的充実を図る。

（2）教職に必要な素養

教育の理念や教職の意義、教員の役割、学校の役割、学校安全などに関する基本的知識と子どもを自律的な学習者へと導くことの意義を学ぶために教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（3）指導内容の理解と実践力

保育内容や、教科や教科外指導に必要となる専門的知識と技能や教育課程編成の意義、アクティブ・ラーニングを取り入れた学習者を中心とする指導計画の立案や授業づくりのための資質・能力を育成するため、コース専門科目と教職専門科目、並びにフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（4）子どもへの対応の理解

生徒指導や教育相談の意義や理論、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法、特別な配慮や支援を必要とする子どもに対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（5）ICTや教育データを利活用する力

ICTや教育データを学校教育に活用する意義や方法に関する基礎的な知識と技能を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（6）教職力量を自らひらく力

目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を育成するため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（7）授業の実施・成績評価・授業改善
- 各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
- 成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとするとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

【養護教諭養成課程】

養護教諭養成課程の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学として、指定大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野

大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識の獲得とアカデミックライティングなどの大学生活を送る上で必要な資質・能力やキャリア形成に向けた語学運用能力、ICT活用能力の育成などを盛り込む教養教育の質的充実を図る。

（2）教職に必要な素養

教育の理念や教職の意義、教員の役割、学校の役割、学校安全などに関する基本的知識と子どもを自律的な学習者へと導くことの意義を学ぶために教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（3）養護実践力

養護の理念や思想、養護学、学校保健や学校安全、子どもの心身の健康に関する健康相談や救急処置に係る基礎理論・知識を学び、養護教諭の役割を明確に理解するとともに、健康観察や健康診断の意義や方法、保健室の役割やその機能について理解し、ICT活用の実践を盛り込む養護教育専門科目を体系的に編成する。

（4）子どもへの対応の理解

生徒指導や教育相談の意義や理論、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法、特別な配慮や支援を必要とする子どもに対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（5）教職力量を自らひらく力

目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を育成するため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

（6）授業の実施・成績評価・授業改善
- 各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
- 成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとするとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性とともに、教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育課程は以下のとおり編成し、実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野

大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識の獲得とアカデミックライティングなどの大学生活を送る上で必要な資質・能力やキャリア形成に向けた語学運用能力、ICT活用能力の育成などを盛り込む教養教育の質的充実を図る。

（2）教育理解

社会のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や、学校安全の学修を通して、学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため、教育基礎科目における「教育基礎セミナー」や「ダイバーシティと教育」、「現代社会と子どもの権利」、「教育総論」、「学校の役割と経営」や「学校安全」などにより体系的に編成する。

（3）協働力

他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため、専門教育科目に教育協働科目を開設し、「教育協働概論Ⅰ・Ⅱ」、「教育協働実践デザイン演習」などの協働共通科目、各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目を体系的に編成する。

（4）専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力や、主体的に物事を考え、行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため、専門教育科目において各自が所属する専攻に対応する専攻分野科目を体系的に編成する。

（5）教育協働実践力

教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため、専門教育科目における教育協働科目「教育コラボレーション演習」、「外国語実践演習」、課題解決型学習（PBL）科目であるプロジェクト演習科目などにより体系的に編成する。

（6）授業の実施・成績評価・授業改善
- 各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- 成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとするとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

全国から集まる大教大生たち

全国から学生が集まる大教大！
地元を離れて学んでいる人もたくさんいます。
彼らがなぜ大教大を選んだのか、
そして友達づくりのきっかけも話してもらいました。

近畿地方以外の出身学生は約20％

大阪府以外の出身学生は約50％

ほとんど全国から志願者・入学者が！

志願者数	入学者数
8,727名	2,653名

高卒認定試験・外国人留学生等を除く
（過去3年〈令和3～5年度〉）

HIROSHIMA

出身地
広島県
教育協働学科
グローバル教育専攻
多文化リテラシーコース
西本 千咲さん

大教大を選んだ理由は？
教育のことはもちろん、それ以外の分野も幅広く学ぶことができるという点に魅力を感じたからです。海外の文化に興味がある私に高校のときの担任の先生が勧めてくださったことと、多文化リテラシーコースで学べる内容に魅力を感じて、大教大を選びました。

友達づくりのきっかけは？
入学当初はコロナウイルスの影響でオンライン授業ばかりだったので、友達づくりに不安がありました。最初のガイダンスで出会った友達と連絡先を交換し、交流するという感じでした。対面の授業が始まると自然と話す友達も増えていき、個性豊かで温かい仲間に出会えたなと感じています。

TOKUSHIMA

出身地
徳島県
教育協働学科
理数情報専攻
自然科学コース
松永 瑞貴さん

大教大を選んだ理由は？
教員をめざしていたことと、理科に興味があり、専門的な研究もしたいと思い、どちらにも力を入れている大教大の自然科学コースを選びました。実際に、教員をめざしながら研究の毎日で充実した大学生活を過ごしています。また都会に出てみたかったことも理由の一つです。

大教大の魅力は？
教育大学ですが様々なコースが展開されているので、多様な人たちと関わることができるところです。いろいろな人たちと関わり、刺激を受けて「自分も頑張ろう!」と思えます。職員の人たちの指導も手厚く、教員をめざしている人にとって、とてもいい環境です。

OKINAWA

出身地
沖縄県
学校教育教員養成課程
中等教育専攻
理科教育コース
上原 敬大さん

大教大を選んだ理由は？
大阪教育大学は教員採用実績が良く、一度は都会暮らしをしてみたいという思いと、教員になりたいという自分の思いが両方叶えられるので選びました。また全国から多くの人が来ているため、自分の見聞を広げることができると思いました。

大教大の魅力は？
一番の魅力は教育法の授業の豊富さだと思います。指導法や指導案のつくり方、授業の実践はもちろん、実際に教室から出る体験型の授業も実践できたのはいい経験でした。また教員になりたい人が多く、教育について語り合えるのも魅力的です。

HYOGO

出身地
兵庫県
学校教育教員養成課程
小中教育専攻
家政教育コース
寺西 華鈴さん

大教大を選んだ理由は？
教師になりたいという思いが強くて、大教大を選びました。同じ目標に向かって頑張っている友達と切磋琢磨し、情報共有しながら勉強している先輩に憧れの気持ちがあって大教大をめざすようになりました。

大教大の魅力は？
優しい人や人間性が高く思いやりのある人が多くて、恵まれた環境で学生生活を送ることができています。大教大に通っている学生は、一緒にいて楽しく、話が弾む人が多い印象です。また自分の将来のことを明確に考えている人も多くて、勉強や将来のこと、プライベートも充実した生活を送ることができる環境です。

OSAKA

出身地
大阪府
学校教育教員養成課程
小中教育専攻
理科教育コース
雨越 晴香さん

大教大を選んだ理由は？
教員になる夢を叶えるために最善の環境であると考えたからです。大阪教育大学では、卒業時に教員免許を取得でき、教員採用試験の合格率も非常に高くなっています。また、家から近く、短い通学時間で済むことや、出身校が大学と連携していることも魅力的でした。

大教大の魅力は？
同じ志をもった仲間と共に学ぶことができる点です。私は現在、教員採用試験に向け、同じ自治体・校種を志望する仲間たちとともに、日々試験対策に励んでいます。先輩方や仲間たちから多くの情報を得られることも大きな魅力であると感じます。

HOKKAIDO

出身地
北海道
教育協働学科
グローバル教育専攻
英語コミュニケーションコース
岡村 萌実さん

大教大を選んだ理由は？
学生がみんな良い人なのが一番の魅力です。教師をめざす人が多いからこその特長かなと思います。人のことを尊重し、思いやれる人ばかりです。立地面では、大阪の大都会から離れていることは、地方出身の学生にとって落ち着くポイントかなと思います。

友達づくりのきっかけは？
部活やサークルに入ることをおすすめします!サークルだと週に一回程度なので参加しやすいです。友達もたくさん作れますし、先輩・後輩とも友達のように仲良くなれるのは、大学特有かなと思います。友達と全国を旅することが私の大学生活の楽しみです。

AICHI

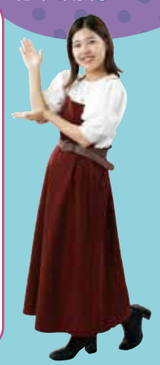
出身地
愛知県
養護教諭養成課程
西岡 甘菜さん

大教大を選んだ理由は？
環境を変えて視野を広げ、新しいことに挑戦したいと思ったことと、関西に住んでいる祖父母の協力もあり、大教大を受けることにしました。受験前日に下見に行き、自然豊かなキャンパスを体感し、大教大に行きたいという気持ちがより一層強くなりました。

大教大の魅力は？
四季折々の自然に触れられることと、同じ夢を持つ仲間に出会えることです。四季の中でも私は、鳥の鳴き声がよく聞こえる春と、紅葉がきれいな秋が特に好きです。同じ夢を持っていても経験や考えはそれぞれ違うので、いつも刺激をもらっています。

KANAGAWA

出身地
神奈川県
初等教育教員養成課程
小学校教育専攻
昼間コース
北中 陽満里さん



大教大を選んだ理由は？
小学生の頃から教師になりたいという夢があったので、それを叶えるために最適な大学だと思ったからです!小学校教育専攻は、小学校で学習する全教科はもちろん、幼小連携やICT教育など多岐にわたって総合的な実践力を養うことができる学科であることに魅力を感じました。

友達づくりのきっかけは？
多種多様な専攻・コースがあり、1つ1つが小規模の人数なので、同じ専攻の中で交流を深めやすいです。他専攻の学生とも、同じ授業を履修した際にグループワークなどを通して関わりを持つことができました。

志望者・入学者数

中国地方	鳥取	島根	岡山	広島	山口
志願者数	74名	28名	144名	205名	68名
入学者数	21名	13名	50名	63名	20名

近畿地方	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
志願者数	90名	198名	3981名	1493名	702名	228名
入学者数	29名	53名	1212名	470名	230名	74名

九州地方	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
志願者数	110名	21名	30名	35名	24名	30名	42名	38名
入学者数	30名	8名	11名	9名	4名	6名	12名	5名

四国地方	徳島	香川	愛媛	高知
志願者数	70名	118名	101名	55名
入学者数	24名	36名	26名	20名

関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
志願者数	13名	12名	11名	19名	14名	55名	20名
入学者数	1名	2名	2名	4名	0名	13名	5名

東北地方	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
志願者数	7名	4名	11名	5名	8名	11名
入学者数	0名	1名	4名	2名	3名	1名

中部地方	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
志願者数	24名	36名	58名	63名	3名	43名	35名	74名	157名	120名
入学者数	4名	10名	15名	23名	1名	4名	9名	21名	41名	50名

北海道地方	北海道
志願者数	39名
入学者数	11名

アクセス
ACCESS

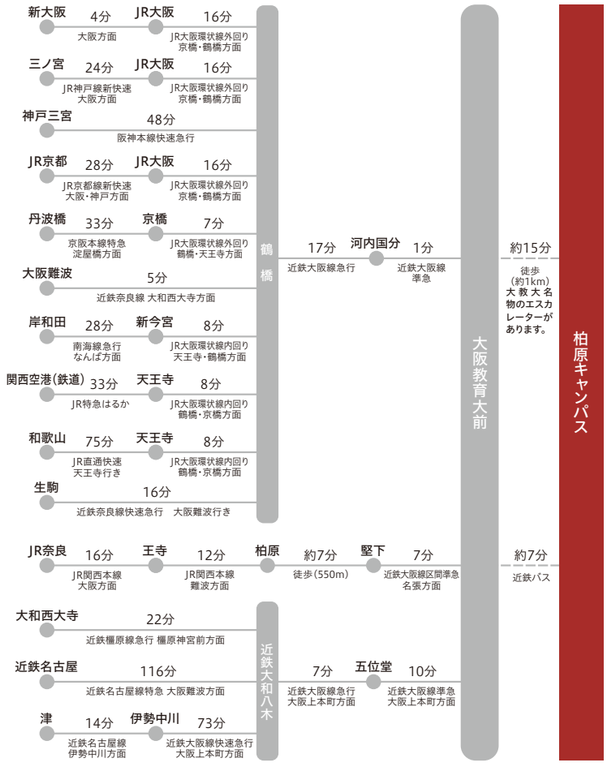
天王寺キャンパス

柏原キャンパス

※このアクセスマップはすべての路線が記載されているものではありません。

柏原キャンパス

※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

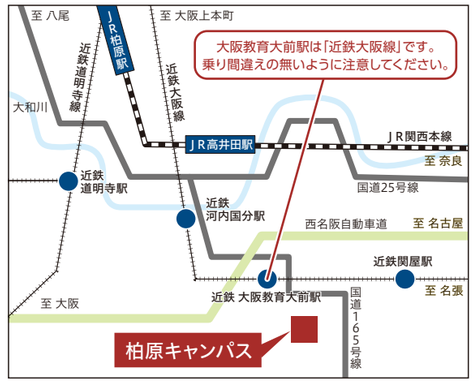


意外と近いかも！

キャンパスまでのルートを最寄りの駅から調べてください。

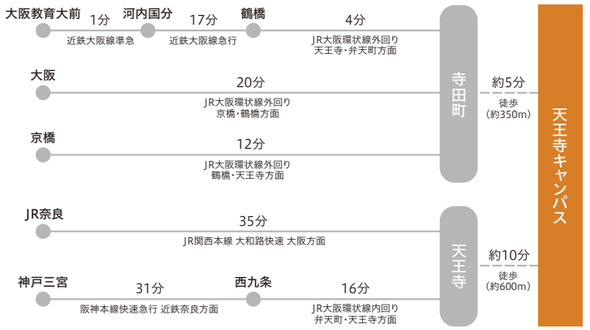
大阪上本町駅から
大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23**分

JR大阪環状線鶴橋駅から
大阪教育大前駅までなら**19**分



天王寺キャンパス

※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。



大阪市内中心地　天王寺駅から約600m（寺田町駅から350m）

国立大学法人
大阪教育大学

大阪教育大学　学務部入試課
〒582-8582　大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
TEL072-978-3324
https://osaka-kyoiku.ac.jp/

企画・編集・発行／総務部総務課広報室

公式
SNS

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。